講義名	9050006700 基礎演習						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	柏葉　英美			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです、
1. 文章の読み方。まとめ方について身につけることができる。
2. 資料(文献)の収集とその利用方法を身につけることができる。
3. レポートの作成方法を身につけることができる。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとなる科目である。授業を通し、各自が大学で学ぶことの目的を明確にし、学生としての自覚(自立した学習意欲)を持ち、日々の学びに必要な学習スキル(聴く・読む・調べる・書く・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える)を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポートを作成し、提出していただきます。レポート、クラスごとの課題に加え、毎回の授業への出席状況と学習態度についても評価の対象となる。

課題に対するフィードバック

レポートや感想文の提出を求め、次の講義においてフィードバックする。

参考文献

講義の進行に合わせて紹介する

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き
必要時応じて別途資料を配布する

資格との関連

学生へのメッセージ

・高校から大学生に脱皮して、短期大学生としての学びを深め、有意義な学生生活を送るための基本的なスキルをしっかり身につけるよう、講義に主体的に参加すること。
・レポート作成のための課題設定を行うので、時事問題度に普段から目を向けておくこと。
・学習スキルを身につけることは、実務場面において課題を発見し、的確に解決するためのスキルを身につけることにつながるものであり、単に在学中の学習のみではなく、実務者として技能の向上にも大きく貢献するものである。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション(短期大学で学ぶことの意義、授業の受け方、講義の進め方、グループ編成等) ※全体で行います、2日目から各クラスに分かれます	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
2	資料(文献)の収集とその活用①ーインターネットの活用と情報収集について学ぶ。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
3	資料(文献)の収集とその活用②ー大学図書館の活用スキルについて学ぶ。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)ー課題図書等の文章を読み、要約する。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)ー前回引き続き、課題図書等の文章を読み、要約する。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
6	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)ー映像教材を見て、その内容を文章にまとめる。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
7	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)ー映像教材を見て、その内容を文章にまとめる。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
8	レポートの書き方①ーレポートの構成について学ぶ。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
9	レポートの書き方②ーレポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
10	レポートの書き方③ー図書館を利用して、レポートに必要な情報取集を行う。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
11	レポートの書き方④ー文献情報の整理の仕方について学ぶ。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
12	レポートの書き方⑤ー資料の読み込み、収集した文献を整理し、レポート作成をする。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
13	レポートの書き方⑥ーレポート作成をする。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
14	レポートの書き方⑦ーレポート作成をする。	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。
15	レポート提出	テキストの該当箇所を読む	配布資料、ノートによる振り返りを行う。

講義名	9050006800 プレゼンテーション						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	柏葉　英美			

学習目標(到達目標)

「プレゼンテーション」の学習目標(到達目標)は以下の通りである。
1. プレゼンテーションを行うに必要な資料の作成方法を身につける。
2. プレゼンテーションの方法を身につける。
3. 討論の方法を身につける。

授業概要(教育目的)

前期の基礎演習での学びを受け、大学で学ぶことの目的を明確にし、大学生としての自覚(自立した学習意欲)を持ち、学習スキル(聴く・読む・調べる・書く・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える)を身につけ、自らが設定したテーマに関してレポート作成、プレゼンテーションを行う。また、ゼミの場で、特定のテーマについて発表者の説明を聞き、質問し、意見を出し合うなど、ディスカッションの方法についても学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

・春学期・前期の「基礎演習」におけて、各自作成、提出したレポートを、他のメンバー、担当教員のアドバイスを受け修正してレポート提出
・レポート(修正版)をもとに、プレゼンテーションを行うに必要な資料(レジュメ、スライド)を作成し提出
・ゼミごとに随時設定される課題に取り組み提出
・レポート(修正版)、プレゼンテーション資料(レジュメ・スライド)、ゼミでの発表、発表者への質問、アドバイス、ゼミごとの課題に加え、毎回のゼミへの出席状況、および学習態度について総合的に評価する

課題に対するフィードバック

レポートやレジュメ、スライド等の提出を求め、次の講義においてフィードバックする。

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを参考書として使用

参考文献

別途配布する

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員指導のもと、それぞれのテーマに基づいてレポート作成、発表媒体の作成、討論など実践していきます。そのため、ゼミへの毎回の出席はもちろん、講義に主体的に参加してください。
・学習スキルを身につけていることは、実務場面において課題を発見し、的確に解決するためのスキルを身につけることにつながるものであり、単に在学中の学習のみではなく、実務者としての技術の向上にも大きく貢献するものである。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	プレゼンテーションについて(全体講義) ・「プレゼンテーションとは」 　プレゼンテーションの意義・目的・方法	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
2	レポートの修正に向けて① ・講義内容、スケジュール、進め方 ・「レポート評価シート」の記入方法	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
3	レポートの修正に向けて②(各自発表) ・春学期・前期に作成したレポートの発表 ・発表者以外のメンバーによる「レポート評価シート」の記入とフィードバック	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
4	レポートの修正に向けて③(各自発表) ・春学期・前期に作成したレポートの発表 ・発表者以外のメンバーによる「レポート評価シート」の記入とフィードバック	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
5	レポートの(修正版)完成、提出 ・アドバイスに基づきレポートを修正し提出	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
6	レジュメの作成方法 ・レジュメとは、作成方法について ・レジュメの作成	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
7	スライドの作成方法 ・パワーポイントを使用し発表媒体の作成 ・「プレゼン評価シート」の記入方法について	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
8	発表の方法 ・聞き手にわかりやすい、効果的な発表方法 ・発表に際しての注意すべき点 ・第9回～第11回における、発表者と順番	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
9	ゼミメンバーによるプレゼンテーション① ・発表者がプレゼンテーションをする ・発表者以外のメンバーは「プレゼン評価シート」に必要事項を記入の上、発表者にフィードバックする	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
10	ゼミメンバーによるプレゼンテーション② ・発表者がプレゼンテーションをする ・発表者以外のメンバーは「プレゼン評価シート」に必要事項を記入の上、発表者にフィードバックする	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
11	ゼミメンバーによるプレゼンテーション③ ・発表者がプレゼンテーションをする ・発表者以外のメンバーは「プレゼン評価シート」に必要事項を記入の上、発表者にフィードバックする	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
12	討論の方法 ・討論の方法について、注意すべき点	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
13	「プレゼンテーション」発表会の準備 ・「プレゼンテーション」発表会に向けての準備	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
14	「プレゼンテーション」発表会①(全体)	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する
15	「プレゼンテーション」発表会②(全体)　まとめ	テキストの該当箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する

講義名	9050005700 情報処理法						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。
本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

課題の提出状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。

参考文献

授業用Webサイトにて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

学生へのメッセージ

1.実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

システムエンジニアとして、コンピュータシステム会社に勤務。技術者としての経験を活かして、社会で必要とされる情報技術を解説します。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.コンピュータとネットワークの基礎知識	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
2	2.キャンパスグループウェアの利用方法	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
3	3.情報セキュリティとネチケット	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
4	4.文書処理(1)－Wordの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
5	5.文書処理(2)－書式の設定	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
6	6.文書処理(3)－表作成、図の挿入	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
7	7.文書処理(4)－表現力アップ機能の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
8	8.文書処理(5)－長文レポート編集と文書校閲	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
9	9.表計算(1)－Excelの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
10	10.表計算(2)－数式、関数の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
11	11.表計算(3)－グラフ作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
12	12.表計算(4)－WordとExcelの連携	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
13	13.プレゼンテーション(1)－PowerPointの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
14	14.プレゼンテーション(2)－スライド作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
15	15.プレゼンテーション(3)－プレゼンテーション	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。

講義名	9050006900 日本語リテラシー　川口クラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	川口　正人			

学習目標(到達目標)

日本語で適切に表現する能力と伝えあう力を高め、思考力を伸ばす
1 日本語の語彙力を高め、「読む」「書く」「話す」ことがバランスよくできる。
2 日本語の基礎的知識を介護の場で活用することができる。
3 日本語による表現が進んでできる。

授業概要(教育目的)

「読む」、「書く」、「話す」の3領域について、演習問題や新聞コラム欄等を活用して講義を進め、自分の考えを的確な文章や言葉で表現できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

課題の提出・小テスト・授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績(提出物・小テスト等)を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『大学生のための日本語表現トレーニング　ドリル編』(安部朋世　福嶋健伸　橋本修編著　三省堂)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

社会に出ると国語力が常に問われる。言葉によるコミュニケーション能力を身に付けるために真剣に取り組むこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	語彙力演習① 【アカデミックワードと日常語・仮名遣い・送り仮名】	日本語の基礎知識を整理確認する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
2	語彙力演習② 【句読点・四字熟語・ことわざ・慣用句】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
3	語彙力演習③ 【漢字の読み方・漢字の使い分け】 要約演習①	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
4	要約演習② 会話表現演習 【聞き取りやすい話し方の基本・あいさつ・自己紹介】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
5	敬語演習 【尊敬語・謙譲語・丁寧語】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
6	日本語表現演習① 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
7	日本語表現演習② 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
8	日本語表現演習③ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
9	日本語表現演習④ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
10	日本語表現演習⑤ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
11	日本語表現演習⑥ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
12	日本語表現演習⑦ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
13	日本語表現演習⑧ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
14	日本語表現演習⑨ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
15	日本語表現演習⑩ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。

講義名	9050006901 日本語リテラシー　楊クラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	楊　麗栄			

学習目標(到達目標)

日本語で適切に表現する能力と伝えあう力を高め、思考力を伸ばす
1 日本語の語彙力を高め、「読む」「書く」「話す」ことがバランスよくできる。
2 日本語の基礎的知識を介護の場で活用することができる。
3 日本語による表現が進んでできる。

授業概要(教育目的)

「読む」、「書く」、「話す」の3領域について、演習問題や新聞コラム欄等を活用して講義を進め、自分の考えを的確な文章や言葉で表現できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

課題の提出・小テスト・授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績(提出物・小テスト等)を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『大学生のための日本語表現トレーニング　ドリル編』(安部朋世　福嶋健伸　橋本修編著　三省堂)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

社会に出ると国語力が常に問われる。言葉によるコミュニケーション能力を身に付けるために真剣に取り組むこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	語彙力演習① 【アカデミックワードと日常語・仮名遣い・送り仮名】	日本語の基礎知識を整理確認する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
2	語彙力演習② 【句読点・四字熟語・ことわざ・慣用句】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
3	語彙力演習③ 【漢字の読み方・漢字の使い分け】 要約演習①	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
4	要約演習② 会話表現演習 【聞き取りやすい話し方の基本・あいさつ・自己紹介】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
5	敬語演習 【尊敬語・謙譲語・丁寧語】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
6	日本語表現演習① 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
7	日本語表現演習② 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
8	日本語表現演習③ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
9	日本語表現演習④ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
10	日本語表現演習⑤ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
11	日本語表現演習⑥ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
12	日本語表現演習⑦ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
13	日本語表現演習⑧ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
14	日本語表現演習⑨ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
15	日本語表現演習⑩ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。

講義名	9050006902 日本語リテラシー　中村クラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	中村　蘭			

学習目標(到達目標)

日本語で適切に表現する能力と伝えあう力を高め、思考力を伸ばす
1 日本語の語彙力を高め、「読む」「書く」「話す」ことがバランスよくできる。
2 日本語の基礎的知識を介護の場で活用することができる。
3 日本語による表現が進んでできる。

授業概要(教育目的)

「読む」、「書く」、「話す」の3領域について、演習問題や新聞コラム欄等を活用して講義を進め、自分の考えを的確な文章や言葉で表現できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

課題の提出・小テスト・授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績(提出物・小テスト等)を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『大学生のための日本語表現トレーニング　ドリル編』(安部朋世　福嶋健伸　橋本修編著　三省堂)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

社会に出ると国語力が常に問われる。言葉によるコミュニケーション能力を身に付けるために真剣に取り組むこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	語彙力演習① 【アカデミックワードと日常語・仮名遣い・送り仮名】	日本語の基礎知識を整理確認する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
2	語彙力演習② 【句読点・四字熟語・ことわざ・慣用句】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
3	語彙力演習③ 【漢字の読み方・漢字の使い分け】 要約演習①	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
4	要約演習② 会話表現演習 【聞き取りやすい話し方の基本・あいさつ・自己紹介】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
5	敬語演習 【尊敬語・謙譲語・丁寧語】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
6	日本語表現演習① 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
7	日本語表現演習② 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
8	日本語表現演習③ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
9	日本語表現演習④ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
10	日本語表現演習⑤ 【文章の構成・文体・慣用表現・文章訂正】)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
11	日本語表現演習⑥ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
12	日本語表現演習⑦ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
13	日本語表現演習⑧ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
14	日本語表現演習⑨ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。
15	日本語表現演習⑩ 【新聞コラム欄書写・要約・感想文作成】	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する	授業の内容を整理して確認する。不明な点があれば、調べておく。

講義名	9050000600	英語（会話・文章）					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

基本的な英語コミュニケーション力を身につけ、日常会話を運用できる程度の英語を話せる。
介護福祉の現場で使われる基本用語の英語での表現ができるようになる。

授業概要(教育目的)

基本的かつ総合的な英語力の向上を目指し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の基礎を学び、それを応用・実践できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業中の発言や参加態度、小テスト・課題・定期試験の成績により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験や課題の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

日頃から英語を聞き、耳を慣らしておくとよい。暮らしの中における英語表記を、注意して見るようにしておく。

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Greeting Self introduction (Group Work,Discussion)	自分自身について簡単に英語で説明できるようにしておく。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
2	2. My family and friends My favorites(Group Work,Discussion)	自分自身について簡単に英語で説明できるようにしておく。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
3	3. Weather Shopping(Group Work,Discussion)	自分自身について簡単に英語で説明できるようにしておく。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
4	4. Ordering food Playing English Games (Group Work,Discussion)	自分自身について簡単に英語で説明できるようにしておく。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
5	5. Unit 1: Four Keys Keys to Successful Caregiving (Group Work,Discussion)	教科書Unit1のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
6	6. Unit 2:Using Mobility and Lifting Aids (Group Work,Discussion)	教科書Unit2のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
7	7. Unit 3:Helping People with Meals (Group Work,Discussion)	教科書Unit3のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
8	8. Unit 4:Helping People Use the Toilet (Group Work,Discussion)	教科書Unit4のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
9	9. Unit 5:Helping People with Their Bath (Group Work,Discussion)	教科書Unit5のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
10	10.Unit 6;:Helping People with Dressing and Grooming (Group Work,Discussion)	教科書Unit6のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
11	11.Unit 7:Helping People Change Their Position (Group Work,Discussion)	教科書Unit7のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
12	12.Unit 8:Helping with Recreational Activities (Group Work,Discussion)	教科書Unit8のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
13	13.Unit 9:Helping People to Communicate (Group Work,Discussion)	教科書Unit9のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
14	14.Unit 10:HelpingPeople Suffering from Disease and Illness (Group Work,Discussion)	教科書Unit10のわからない単語について調べておく。 授業内容の関連テーマについて、インターネットや文献等で事前に調べる。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。
15	15.Words Related to Social Welfare	教科書巻末の用語のまとめを見てわからない単語について調べておく。	授業の内容や配布資料・ノートを整理し、実践で活用できるようにする。

講義名	9050005800 宗教学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	石原　良明			

学習目標(到達目標)

1. 学校法人光星学院と八戸学院大学・短期大学部の建学の精神を理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
2. 旧約聖書を通して人間と社会、世界にについて考えることを通して、人間の真のニーズをつかむ。
3. キリスト教の根幹を理解することによって、国際社会で通用する教養を身に着ける。

授業概要(教育目的)

宗教を学問として扱う方法論には様々な方法論やアプローチが考えられるが、世界の様々な諸宗教を客観的に考察する比較宗教学的な方法論には、実はあまり大きな意味はない。むしろ、本学も建学の精神とするカトリシズムやキリスト教の根幹にある、聖書という一つの普遍的な書物に対して学問的に真剣に向き合い理解を深めることで、21世紀の現代社会でも通用する気付きを得ることができるものである。
　本講義では、聖書の中でもその大部分を占め、様々な文学ジャンルを収録する『旧約聖書』を取り扱う。旧約聖書は、古代人たちの著作でありながら、極めて過酷な環境と壮大な歴史を背景のために、大変深い人間理解を持ち、また人間社会に対する鋭いまなざしを持ち合わせている。このような文学に学ぶことは、今日なお有意義であり単に「宗教学」に触れる以上の意味がある。真の目標は、聖書を学ぶのみならず、聖書を通して人間について考え、これからの日本の社会に必要なことを考えるための補助線を得ることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

学期末に短いレポートを課す。さらに、授業におけるリアクションペーパー、質疑応答など授業参加態度などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

参考文献

『聖書　聖書協会共同訳』または『聖書　新共同訳』
雨宮慧『図解雑学　聖書』ナツメ社、2009年。
雨宮慧『旧約聖書のこころ』女子パウロ会、1989年。
佐久間勤『四季おりおりの聖書』女子パウロ会、2002年。
月本昭雄監修『図説　一冊で学び直せるキリスト教の本』学研プラス、2020年。
その他、有用な書籍は授業時に随時紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業にあたっては、学生も教員も適切な緊張感を持って臨みたい。必ずしも細かな注意事項は列挙しないが、授業妨害、集中不足、非常識な行動や態度などは、取ることのないように願いたい。

実務との関連

カトリック教会の週刊誌で連載執筆した記事を授業内で用いることがある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	キリスト教を概観する	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	建学の精神について	創立者ヨゼフ中村由太郎について、自分なりに調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	旧約聖書とは何か。背景となるパレスチナの歴史と地理	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	旧約聖書の世界観(創世記1章を分析する)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	旧約聖書の人間論(アダムとエバ、カインとアベル　創世記2~4章)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
6	旧約聖書の人間論II（ノアの方舟と世界刷新　創世記6-9章）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	バベルの塔(創世記11章)、「原初史」と現代を照らし合わせて考える人間の可能性	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	アブラハムの「召命」と人間の現実 「イスラエル民族」I	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	ヤコブ物語とヨセフ物語に見る、神と人間 「イスラエル民族」II	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	参考文献の関連個所を読む
10	物語としての「出エジプト」: 解放か救済か 「イスラエル民族」III	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	荒れ野の40年と律法授与:イスラエル誕生の史実と真実	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	イスラエル統一王国:権力の現実と理想の平和	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	分裂王国時代:預言者の社会批判と、「あるべき社会」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	詩編と知恵文学から考える、「人間とは何か」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	聖書が示す、人間の希望とは:新約聖書が与える「回答」	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する

講義名	9050005900 キャリアデザイン					
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子		

学習目標(到達目標)

1. 将来の目標や目指す自分を認知し、主体性と創造性をもってライフデザインを構築する力を養う。
2. 職業観や就労意識を高め、働く意味や仕事のしくみを知り、キャリアを形成する力を養う。
3. 社会人、企業人として必要となる基礎的マナー、社会人基礎力(組織で働く力、考える力、伝える力)を身につけることができる。

授業概要(教育目的)

専門職者として働くことを通して、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場と役割との関連を踏まえ、主体的にキャリア形成する力を養うことを目指す。また現代社会における地域及び家族や家庭の変化を踏まえつつ、自らのライフステージを様々な社会資源を適切に選択・活用し、創造していくことができるよう学びを深めるものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

ワークや課題などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点の上返却する。

参考文献

講義内で随時紹介する。

講義時使用テキスト

講義ごとにレジュメを配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「社会人・企業人」とは	授業内容についてインターネットで調べる	配付資料を読み直す
2	「働く」ということ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	自己を知る・自己分析ワーク	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	ライフプランニング・ワーク	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	コミュニケーショントレーニング	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	ビジネスマナートレーニング	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	目指すビジネスパーソン像の掘り起し	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	ライフデザイン―明日からの自分―	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	9050007000 地域文化論Ⅰ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	柏葉　英美			

学習目標(到達目標)

①八戸市を中心とする南部地域の歴史を理解し、説明できる。
②八戸市を中心とする南部地域の文化と特性を理解し、説明できる。
③地域課題を抽出し、解決策を検討することができる。

授業概要(教育目的)

私たちの生活は、個人だけで完結するものではなく、周囲の環境や調和のもとに創出されていると考えられる。介護が必要な高齢者はもちろん生活者にはコミュニティにおける歴史的・文化的価値観や信念などがあり、そのことをよく理解した上で専門的なケアに結びつける必要がある。地域を理解することが、人を理解することにつながることを踏まえ、南部八戸地域の歴史や文化の理解を深めるための講義や地域に根付いている流し踊りなどを体験的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

グループワークの状況やレポート課題の内容を総合的に勘案し、合否判定を行う

課題に対するフィードバック

レポート課題などは個別に添削し返却する。振り返りの時間を設ける。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

地域や文化に興味を持ち、地域に住む人の理解につなげてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーリング、学内散策	シラバスの確認	講義内容の振り返り
2	地域特性の調査 ・自分が住んでいる地域の特産物、観光地、町内会の活動、防災に関する意識など様々な観点で調査し、グループごとに発表	地域調査(文献、インターネット)	講義内容の振り返り
3	八戸市の特産品と郷土食 ・せんべい汁、まめしとぎの試食	特産品や郷土食を調べる (文献、インターネット)	講義内容を振り返る
4	八戸市の歴史(八戸誕生から現代)を知る ・ゲストティーチャー　三浦忠司氏	八戸の歴史について事前学習 (文献、インターネット)	講義内容や八戸市の地図をみながら振り返る
5	昭和の生活と南部弁	南部弁について調べる (インターネット)	インターネットで関連動画を閲覧する
6	八戸小唄流し踊りを踊ってみよう ・ゲストティーチャー　泉　彩菜先生	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
7	八戸小唄流し踊りを踊ってみよう	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
8	八戸市南郷歴史資料館見学 ・昭和の八戸市の理解を深める	昭和の生活について動画を閲覧する	資料を確認し振り返り
9	八戸市南郷歴史資料館見学 ・昭和の八戸市の理解を深める	昭和の生活について関連動画を閲覧する	資料を確認しながら振り返り
10	八戸小唄流し踊り(イベントへの参加)	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
11	八戸小唄流し踊り(イベントへの参加)	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
12	八戸市の伝統芸能について	八戸市の伝統芸能について調べる(文献、インターネット)	インターネットで関連動画を閲覧する
13	八戸市の地域課題の抽出と解決策を探る① (中心街の活性化) ・グループワーク	八戸市の課題についてインターネットや地域計画などの内容を確認する	グループワークの内容を振り返る
14	八戸市の地域課題の抽出と解決策を探る② (観光と物産) ・グループワーク	八戸市の課題についてインターネットや地域計画などの内容を確認する	グループワークの内容を振り返る
15	八戸市の地域課題の抽出と解決策を探る③ (10年後の生活を見据えて) ・グループワーク	八戸市の課題についてインターネットや地域計画などの内容を確認する	グループワークの内容を振り返る

講義名	9050007100	地域文化論Ⅱ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1. 八戸を中心とする南部地域の歴史と特性を説明できる。
2. 八戸を中心とする南部地域の文化と特性を説明できる。
3. 八戸を中心とする南部地域の地域発展に貢献した先人の業績を説明できる。
4. 八戸の文化と伝統芸能を体験し、地域やそこに住む人の理解を深める

授業概要(教育目的)

近年、「地域活性化、地域創生」という言葉がクローズアップされている。各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指して、内閣総理大臣を本部長とする地域創生本部が設置され、平成26年12月には「まち・ひと・しごと創生法」が施行された。地方創生本部の3つの視点のひとつに「地域の特性に即した地域課題の解決」が挙げられている。そこで本講義では
①地域文化の歴史と特性について理解する
②地域発展に貢献した先人の事例
③地域活性化の現状と課題の解決策
などについて学修することを主たる目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

課題提出、授業アンケート等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

この講義を通して、大学のある八戸を中心とする南部地域の魅力に気づき、八戸が大好きになって欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	八戸の歴史～中世	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
2	八戸の歴史～中世から戦国時代	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
3	八戸の歴史～九戸の乱から八戸藩誕生	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	八戸の歴史～江戸中期から幕末	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	八戸の歴史～幕末から明治期 八戸藩の文化と特性	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
6	八戸の文化や伝統芸能を理解する ・八戸小唄流し踊りを体験する	関連動画を確認する	配布資料とノートを読み直す
7	八戸の文化や伝統芸能を理解する ・八戸小唄流し踊りを体験する	関連動画を確認する	配布資料とノートを読み直す
8	地域活性化の現状と課題の解決策①	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	流し踊りへの参加	関連動画を確認する	関連動画を確認する
10	安藤昌益 美濃屋乙因	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
11	櫛引弓人 前原寅吉	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	地域活性化の現状と課題の解決策②	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	地域活性化の現状と課題の解決策③	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域活性化の現状と課題の解決策④	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	地域活性化の現状と課題の解決策⑤	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9050006000 心理学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	杉山　幸子			

学習目標(到達目標)

以下の2点を到達目標とする。
1. 心理学の基礎的な概念について説明することができる。
2. 心理学の基本的な研究方法を理解し活用することができる。

授業概要(教育目的)

心理学というと、心理テストやカウンセリングを連想するかもしれないが、それらは心理学のごく一部に過ぎない。実際には人の心のはたらきを知るために、多様な角度からの研究が行われており、その中には一般的な「心理学」のイメージとはかなり違っているものもあるだろう。この授業では、心理学の基礎的な知識を学び、心理学的なものの見方を知ることによって、心理学の専門科目を学ぶための土台となる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験によって評価する。また、提出物(リアクションペーパー等)の状況を参考にする。

課題に対するフィードバック

リアクションペーパーの結果は集約して次回にフィードバックする。試験の結果(点数・内容)について知りたい学生には個別に開示するので、研究室を訪問すること。定期試験で不合格だった学生は、再試験の前に確認してほしい。

参考文献

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、心理学の流れ	シラバスを読んでおくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
2	感覚・知覚	順応について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
3	記憶	マジックナンバーについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
4	学習(1)古典的条件づけ	古典的条件づけについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
5	学習(2)オペラント条件づけ・観察学習	オペラント条件づけについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
6	動機づけ	自己実現の欲求について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
7	パーソナリティ	内向性と外向性について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
8	知能	知能テストについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
9	自我と自己	超自我について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
10	自己呈示	セルフハンディキャッピングについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
11	対人魅力	単純接触効果について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
12	援助行動	キティ・ジェノベーゼ殺人事件について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
13	ステレオタイプ	ステレオタイプの意味を調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
14	同調行動	アッシュの同調実験について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
15	リーダーシップ	リーダーシップについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと

講義名	9050007200 自然科学概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	熊谷　晶子			

学習目標(到達目標)

生命現象の基本的な仕組みの理解を深める。

授業概要(教育目的)

分子から細胞、個体、種へ連なる生命現象の全体像を基礎から学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

受講態度と中間・期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	生物の基本概念と基本構造	生物とは何かとういう基本概念と生物の基本構造について調べる。	生物の基本概念と基本構造を理解する。
2	生物の増殖	自分と同じ形をした生物体を生み出し増殖するしくみを調べる。	生物の増殖のしくみを理解する。
3	エネルギーと代謝酵素	生物は代謝により外部から物質と栄養を取り入れる。代謝の過程を調べる。	代謝は物質変換とエネルギー変換の両面があることを理解する。
4	環境応答と恒常性	生物が外界と異なる内部環境を維持するしくみを調べる。	外界の環境が変動しても、恒常性(内部環境の維持)があることを理解する。
5	生命の物質的基盤	生物を構成している物質を調べる。	生物を構成する分子(水とタンパク質、脂質、糖質、核酸などの有機化合物)について理解する。
6	細胞の構造	生物の最小単位である細胞の構造を調べる。	生物の最小単位である細胞の構造を調べる。
7	中間テスト	1～6回の講義の復習をする。	試験結果から、理解できない回の学習し直す。
8	遺伝と生物情報	遺伝子の本体を調べる。	遺伝子の本体はDNAであることを理解する。
9	遺伝情報の複製	細胞が分裂する前に遺伝情報を担うDNAが正確に複製されるしくみを調べる。	細胞が増殖するには、DNA分子が正確に複製されることを理解する。
10	遺伝情報の転写	遺伝子DNAの情報がmRNAに転写されるしくみを調べる。	遺伝子DNAのタンパク質の情報はmRNAに転写されることを理解する。
11	遺伝情報の翻訳	遺伝子の塩基配列がタンパク質のアミノ酸配列に翻訳されるしくみを調べる。	mRNAの塩基配列がタンパク質のアミノ酸配列に翻訳されることを理解する。
12	遺伝情報の発現調節	遺伝子の発現は、必要に応じて調節されていることを調べる。	遺伝子の発現は、必要に応じて調節されていることを理解する。
13	生命誕生	生命誕生について調べる。	受精から生命誕生までのしくみを調べる。
14	生物的存在としての人間	人間は周囲の環境と影響し合って生きている。	動的平衡で生体内の恒常性を保つ仕組みを整理する。
15	生物の進化と多様性	地球上の様々な環境に適応した生物を調べる。	地球上の環境に適応し進化した生物の多様性を理解する。

講義名	9050007300	権利擁護を支える法制度					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	赤羽　卓朗			

学習目標(到達目標)

①法に共通する基礎的な知識を身につけるとともに、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解し説明できる。
②権利擁護の意義と支える仕組みについて理解し説明できる。
③権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解し説明できる。
④権利擁護活動を実践する過程で直面しうる問題を、法的観点から理解し説明できる。
⑤社会福祉援助において必要となる成年後見制度について理解し説明できる。
社会福祉の理念として、個人の尊厳が大変重要になっている。日本国の基本的人権、民法、行政法の理解をし、相談援助に活用できる。また、成年後見制度の対象者や制度について理解する。授業は講義ばかりでなく、グループ活動も行うので、他者の意見も理解でき、自分の意見も述べる。到達目標は、社会福祉援助における人権擁護を理解し、実践できることである。

授業概要(教育目的)

①法の基礎、②社会福祉援助と法の関わり、③権利擁護の意義と支える仕組み、④権利擁護活動で直面しうる法的諸問題、⑤権利擁護に関わる組織、団体、専門職、⑥成年後見制度について学びを深めることにより、介護福祉士として必要な法知識を身につける。
また、介護福祉士として、援助過程において直面することとなる様々な課題などのように解決していくかを検討する。利用者の立場に立ち、利用者の意思決定の支援や権利擁護ができる知識や技能も学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

期末試験による。
原則として再試験は実施しない。

課題に対するフィードバック

双方向性のある講義とするため、講義中に復習課題を配布するので、指定する日時までに必ず提出すること。復習課題等については、学生に紙で配布するとともに、webclassにも掲載する。webclassによる提出も可能である。
全体的に理解度が低いとみられる事項については、次回の講義において解説する予定である。
なお、配布する復習課題の中から期末試験に出題する場合があるので、各自大切に保管すること。
講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

配布資料による。

資格との関連

社会福祉主事任用資格取得に必要な科目である。
介護福祉士国家資格取得に必要な科目ではないが、介護福祉士として業務をする上で必要と考えられる法知識、認知症高齢者など判断能力が不十分な人々の権利擁護支援などを中心に講義を展開する。

学生へのメッセージ

相互授業を目指しているので、質問はいつでも受け付ける。他の学生に迷惑となるので、私語は厳に慎むこと。事前に配布資料を読んでから受講すること。

実務との関連

地方公務員として福祉行政実務に携わった経験をもとに、社会福祉援助において必要となる法律知識を解説するとともに、法律を活用しながら、個々の事案について柔軟かつ的確に判断する方途について学びを深めたい。また、社会福祉士として専門職後見を受任した体験、法人後見を実施している特定非営利活動法人での活動経験から、介護福祉の現場における課題を踏まえ、社会福祉援助の一つとしての権利擁護活動にどのような役割が期待されているか、実例や実務をもとに講義を展開する予定である。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	法の基礎ーその1(①法と規範　②法の体系、種類、機能)	基本的人権保障に関連する憲法条文を確認すること	配布資料を読み直すこと
2	法の基礎ーその2(③法律の基礎知識、法の解釈　④裁判制度、判例を学ぶ意義)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと 配布する復習課題で復習すること
3	ソーシャルワークと法の関わりー憲法その1(①憲法の概要(最高法規性、日本国憲法の基本原理)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと
4	ソーシャルワークと法の関わりー憲法その2(②基本的人権(基本的人権と公共の福祉、平等性、自由権、社会権)　④幸福追求権)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと 配布する復習課題で復習すること
5	ソーシャルワークと法の関わりー民法その1(①民法総則(権利の主体・客体、権利の変動、無効と取消し)　②契約(売買、賃貸借等))	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと
6	ソーシャルワークと法の関わりー民法その2(③不法行為(不法行為の要件、不法行為の効果(損害賠償))　④親族(婚姻、離婚、親権、扶養、成年後見制度)　⑤遺産管理)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと 配布する復習課題で復習すること
7	ソーシャルワークと法の関わりー行政法その1(①行政組織(国、地方公共団体の組織、公務員)　②行政の行為形式(行政処分)　③行政上の義務履行確保(行政強制、行政罰))	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと
8	ソーシャルワークと法の関わりー行政法その2(③行政訴訟制度(行政不服申立て、行政訴訟)　④国家の責任(国家賠償)　⑤地方自治法(国と自治体の関係)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと 配布する復習課題で復習すること
9	権利擁護の意義と支える仕組みーその1(①権利擁護の意義　②福祉サービスの適切な利用　③苦情解決の仕組み)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと
10	権利擁護の意義と支える仕組みーその2(④虐待防止法の概要　⑤差別禁止法の概要　⑥意思決定支援ガイドライン)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと
11	権利擁護活動で直面しうる法的諸問題(①インフォームド・コンセント　②秘密・プライバシー・個人情報　③権利擁護活動と社会の安全)	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと 配布する復習課題で復習すること
12	権利擁護に関わる組織、団体、専門職と社会福祉士の役割	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと
13	成年後見制度ーその1(①成年後見の概要)	成年後見制度、権利擁護活動について、インターネット等で調べること	配布資料を読み直すこと
14	成年後見制度ーその2(②後見の概要　③保佐の概要　④補助の概要)	配布資料を読んで受講すること 最高裁のホームページ等から、近年の成年後見制度の利用状況について確認すること	配布資料を読み直すこと
15	成年後見制度ーその3(⑤任意後見制度の概要　⑥成年後見制度の最近の動向　⑦成年後見制度利用支援事業　⑧日常生活自立支援事業	配布資料を読んで受講すること	配布資料を読み直すこと

講義名	9050001500 社会と制度						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	赤羽　卓朗		

学習目標(到達目標)

①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解し説明できる。
②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解し説明できる。
③社会保障制度の財政について理解し説明できる。
④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解し説明できる。
⑤社会保障制度の体系と概要について理解し説明できる。
⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解し説明できる。

授業概要(教育目的)

1　近年のわが国の社会変動について理解するとともに、社会変動に対応して「セイフティネット」としての社会保障制度が、高度経済成長期以降、どのように展開されてきたか、どのような課題があるかを概観する。
2　社会保障制度の財政、制度体系について理解を深める。
3　特にも、「介護」について、従来は主に家族の役割や機能と考えられてきた分野が、どのような社会的背景や社会的目的のもとに「保険」という仕組みを採用することとなったか、また、制度の変化により、新たな制度が家族や地域社会にどのような影響を及ぼしているかについて学びを深め、社会の変化と制度の変化の関連について、説明できるようにする。

※Ⅰ年次で学習した「社会の理解Ⅰ、Ⅱ」の内容を深めることを中心に、介護福祉士実務で必要不可欠である、社会保障制度及び関連事項についての理解を高めることを目的に、講義を展開する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

〇介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。
1)あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的な支援だけではなく、心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。
2)介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、利用者や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる。

評価方法

期末試験による。
原則として再試験は実施しない。

課題に対するフィードバック

レポートや感想文の提出を求め、次回の講義でフィードバックする。

参考文献

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟最新社会福祉士養成講座「社会保障」(中央法規)
椋野美智子「はじめての社会保障〔第19版〕福祉を学ぶ人へ」(有斐閣アルマBasic)
権丈善一「ちょっと気になる社会保障　V3」(勁草書房)
香取照幸「民主主義のための社会保障」(東洋経済新聞社)

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。講義の進行に応じて資料を配付する。

資格との関連

社会福祉主事任用資格取得のための科目である。
介護福祉士資格取得のために必修となる科目ではないが、資格取得必修の「社会の理解Ⅰ、Ⅱ」に学習した内容を深堀りすることにより、介護福祉士としての実務に直接関連する社会保障制度などへの理解をさらに深める。

実務との関連

学生へのメッセージ

・　1年次に学習した制度関連科目(「社会の理解」など)の復習の意味もあるが、単に制度を理解するだけでなく、制度にどのような課題があるか、制度を活用した支援の在り方などについても理解を深めてほしい。
・　難しい用語や概念については、自己学習により積極的に調べ、理解を深めること。
・　相互授業を目指しているので、担当教員から学生に問いかける形式で講義を展開する予定である。また、質問を歓迎する。
・　受講者によるグループワーク、グループ討議を行う予定としているので、積極的に参加すること。
・　講義の進行に併せて予習や復習のためのレポート課題を課す予定であり、提出されたレポートは、評価の対象とする。
・　他の学生に迷惑となるので、講義時間中の私語は厳に慎むこと。
・　欠席回数が一定以上の学生には、期末試験の受験を認めない。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	現代社会の変化と社会保障	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
2	社会保障の歴史	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
3	社会保障の構造	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
4	社会保障の財源と費用	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
5	年金制度	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
6	医療保険制度1(保険の仕組みと財政)	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
7	医療保険制度2(医療提供の仕組み)	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
8	介護保険制度1(制度の創設、制度概要と財政)	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
9	介護保険制度2(利用の仕組み)	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
10	労働保険制度	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
11	社会福祉制度1(沿革と概要、低所得者支援)	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
12	社会福祉制度2(児童福祉、障害者福祉)	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
13	社会福祉制度3(高齢者福祉、母子・寡婦福祉、社会手当制度)	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
14	公的保険と民間保険、諸外国の社会保障制度	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す
15	社会保障制度の動向と課題	資料を事前に配布するので内容を確認すること	配布資料とノートを読み直す

講義名	9050007500 地域福祉論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦			

学習目標(到達目標)

人口減少、家族・地域社会の変容が一層進む中で、今、地域包括ケアを超える「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進んでいる。持続可能で発展的な取り組みとなるためには、子どもから高齢者、世代や分野を超えて様々な機関 と連携を図っていくことが重要である。地域において共に支え合う地域共生の基盤をつくり、地域住民によるコミュニティの再生を促し、かつ、地域資源活用による地域活性化(シャッター街の空き店舗活用など)の効果をあげている地域もあり、 その実態及び効果的な運営方法、期待される効果について理解する。また地域活動(ボランティア活動)を行うにあたり、地域活動(ボランティア活 動)に必要な心構えやルールを理解し、地域活動に積極的に取り組む。
1.地域活動の社会的役割について理解し説明できる。
2. 国内、海外における地域活動実践を知り、自身が専門職者としての役割を考える。
3. 地域活動を実践するために必要なリソースを分析し、企画をたてることができる。
4.地域活動に参加し、体験的に学習する。

授業概要(教育目的)

私たちの地域社会は、互いに助けあったり、支え合ったりという「お互い様」という精神を持つことにより成り立っている。社会の一員として社会の発展のために積極的に関与できる態度を養うことを目的とし、社会貢献の基本的意義や地域活動の役割について理解する。また、地域活動実践(国内外)を知ることで、自身のかかわり方や組織としてのあり様を模索する。更にボランティア体験や、身近な地域の現状と課題を分析し、活動を企画するなど実践的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験・課外活動状況・グループワーク状況を総合的に勘案し評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

適宜資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格取得希望者は必ず受講すること。

学生へのメッセージ

・介護福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目であることから、教科書を読んでから受講するなど、必ず事前準備を行うこと。
・相互授業を目指しているので、担当教員から学生に問いかける形式で講義を展開する予定である。また、質問はいつでも受け付ける。
・講義の進行に併せてレポート課題を課すことがり、提出されたレポートは評価の対象とする。
・欠席回数が一定以上の学生には、期末試験の受験を認めない。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域活動とは	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	日本における地域活動の歴史	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	国際的な社会貢献活動	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	地域活動「他人を思いやり命を大切にするこころを育む対話集会」事前説明	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	地域活動「他人を思いやり命を大切にするこころを育む対話集会」に参加	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	地域活動「他人を思いやり命を大切にするこころを育む対話集会」に参加	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	地域活動「他人を思いやり命を大切にするこころを育む対話集会」に参加	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	地域活動「他人を思いやり命を大切にするこころを育む対話集会」に参加	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	社会福祉法人による社会貢献活動を考える （ゲストティーチャー招聘）	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
10	身近な地域の現状と課題を調査するⅠ(グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	地域活動の企画(グループワークと発表)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	防災と危機管理	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	災害ボランティア活動について	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域活動と社会福祉協議会	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	まとめ「専門職者としてどのように地域社会と関わるか」	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する

講義名	9050001700	レクリエーション					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	高橋　英成			

学習目標(到達目標)

以下の点を到達目標とする。
1. レクリエーションの意義と手段を理解する。
2. レクリエーション活動を実施できる。
3. 参加者(加齢や障害)に応じたレクリエーションの中で必要な支援を実施し、評価することができる。

授業概要(教育目的)

レクリエーションの定義である「心を元気にすること」を目的としたさまざまなレクリエーションを体験しながらレクリエーションを行う意義を理解し、レクリエーションが個人、地域、介護現場等で果たす役割について学ぶ。
また、リーダーとしてレクリエーション活動の展開方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力および介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、課題、受講態度などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

「楽しさをとおした心の元気づくり　レクリエーション支援の理論と方法」
公益財団法人日本レクリエーション協会

資格との関連

日本レクリエーション協会認定資格「レクリエーション・インストラクター」
取得要件科目

学生へのメッセージ

テキストを必ず持ってくる事。授業では体を動かす回もあり、上靴や動きやすい服装等の指示は事前に案内する。

実務との関連

介護福祉士として介護施設でのレクリエーション活動を行なってきた経験から、利用者の心身の状態に応じた支援の一つとしてレクリエーション活動を提案する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス、レクリエーション理論	配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
2	レクリエーションの展開方法1 レクリエーション活動体験 『レクリエーション支援技術』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
3	レクリエーションの展開方法2 レクリエーション活動体験 『レクリエーションの選定』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
4	レクリエーション活動体験 『図画工作のレクリエーション1』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
5	レクリエーション活動体験 『図画工作のレクリエーション2』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
6	レクリエーション活動体験 『リラクゼーションを取り入れたレクリエーション活動』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
7	レクリエーション活動体験 『音楽を取り入れたレクリエーション活動』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
8	レクリエーション活動体験 『おやつ作りを取り入れたレクリエーション活動』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
9	レクリエーション活動体験 『運動を取り入れたレクリエーション活動1』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
10	レクリエーション活動体験 『運動を取り入れたレクリエーション活動2』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
11	レクリエーション活動体験 『運動を取り入れたレクリエーション活動3』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
12	レクリエーション活動体験 『運動を取り入れたレクリエーション活動4』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
13	レクリエーション活動体験 『運動を取り入れたレクリエーション活動5』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
14	レクリエーション支援① 『レクリエーション展開案の作成』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。
15	レクリエーション支援② 『レクリエーション展開案の検討』	事前配布資料を読む事。	授業の内容を整理する事。

講義名	9050001800 人間の尊厳と自立						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦			

学習目標(到達目標)

人間の尊厳の保持と自立支援の必要性を理解し、以下の点を到達目標とする。
1. 人間の尊厳が介護実践での人間理解の基本原理であることが理解し、説明できる。
2. 利用者が自立した生活が送れるように支援することの必要性を理解し、説明できる。
3. 権利擁護、また、人権侵害について説明できる。
4. 介護福祉の倫理的課題について、介護実践の専門職としての倫理観を持つことが必要であることが理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

人間の理解を基礎として、利用者に対する人間としての尊厳の保持について理解する。また、利用者が自立した生活が送れるように支援することの必要性を理解する。
そして、利用者への権利擁護の視点と専門職としての基盤となる倫理観を学習し、介護実践の場面での倫理的な課題について対応できるための基礎的能力を身につけることで介護福祉士として総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

レポート課題及び期末試験による。
期末試験については、原則として再試験を実施しない。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義中に紹介する。

講義時使用テキスト

介護福祉士養成講座編集委員会編「新・介護福祉士養成講座Ⅰ　人間の理解　第3版」中央法規出版

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格必修科目である。

学生へのメッセージ

①教科書を必ず読んでから出席すること。
②教科書及び配布資料を必ず持参すること。
③質問を歓迎する。講義時間に限らず、いつでも質問を受け付ける。
④レポート課題は、期限を守って提出すること。

実務との関連

介護福祉士として必要である、福祉の理念を理解し尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養うことを目的としている教科であり、対人援助職として福祉現場での倫理的な課題について対応できることをねらいとしている。

第12回にゲストスピーカーをお招きし、地域社会で活動している人の目でお話をしていただき、様々な視点から人間の自立と尊厳を考えたい。なお、ゲストスピーカーのお話について、レポートの提出を求める予定としている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 1人間の尊厳と利用者主体 ①人間を理解するということ ②人間の尊厳という理念	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
2	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 1人間の尊厳と利用者主体 ③人間の尊厳と利用者主体	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
3	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 2人権思想の潮流とその具現化 ①人権思想の潮流 ②人権思想の具現化	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
4	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 3人権や尊厳に関する日本の諸規定 ①幸福追求権 ②生存権	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
5	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 3人権や尊厳に関する日本の諸規定 ③社会福祉法、介護保険法、障害者総合支援法	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
6	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 4社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 ①エリザベス救貧法から ②劣等処遇の原則と道徳的助言(新救貧法) ③貧困の社会性の認識と社会的対応の必要性	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
7	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 4社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 ④「ケースワークの母」リッチモンドの問題提起 ⑤戦争が社会福祉に及ぼした影響	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
8	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 5社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 ①「生存権保障」と「より人間らしくいきること」 ②新たな貧困問題・人権問題のなかで	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
9	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 5社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 ③ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョン ④QOLという考え方 ⑤生命倫理	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
10	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 6人権尊重と権利擁護 ①利用者の人権と生活 ②利用者の権利侵害が起こる状況	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
11	第1節人間の尊厳と人権・福祉理念 6人権尊重と権利擁護 ③権利侵害の背景 ④権利擁護の視点	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
12	第2節自立のあり方 1自立概念の多様性(ゲストスピーカー) ①いろいろな視点から見た自立 ②いろいろな視点から見た自立と、総体としての自立 ③ライフサイクルから見た自立	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
13	第2節自立のあり方 2自立とは ①自立するのはだれか ②見える自立と見えない自立 ③自立と自己選択・自己決定、自律 ④自立の基礎となる精神的自立 ⑤自立とは	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
14	第2節自立のあり方 3介護を必要とする人々の自立と自立支援 ①介護を必要とする人の自立 ②自立のために必要なこと ③自立支援が目指すもの ④自立への意欲と動機づけ ⑤自立支援の考え方 ⑥自立と依存と選択 ⑦自立支援とICF	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。
15	第2節自立のあり方 4介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性 ①尊厳を傷つけ、損なう可能性 ②尊厳を損なう介護とは？ ③尊厳を守るための介護とは ④尊厳を守る介護の中心にある自立支援	テキストの該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業の内容を整理するとともに、レポート課題が課された場合には確実に取り組むこと。

講義名	9050006200	人間関係とコミュニケーションⅠ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	瀧澤　志穂			

学習目標(到達目標)

・コミュニケーションの基本的事項について説明できる。
・コミュニケーションの技法について説明でき、実践することができる。
・コミュニケーションの主体として自分の特徴について振り返り、説明することができる。

授業概要(教育目的)

対人援助職として利用者やその家族と良好な人間関係を築くためには、一定以上のコミュニケーション能力が求められる。それは、相手が伝えたい情報や意思を受け取る能力(聴く力)と、自分が伝えたい情報や意思を相手に伝える能力(伝える力)である。本講義では、座学および体験学習等を通して「聴く力」「伝える力」について理解を深め、実践的に活用できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力および介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけている。

評価方法

・授業ごとの理解度について、レポートにより評価する。
・コミュニケーションの基本的技能について、体験学習等への取り組みから評価する。
・終講試験により、講義全体の理解度について総合評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、講義日程終了後、コメントを付けて返却する。

参考文献

大谷佳子 「対人援助の現場で使える　聴く・伝える・共感する技術　便利帖」(翔泳社)
諏訪茂樹 「対人援助とコミュニケーション」(中央法規)

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座1 「人間の理解」(中央法規)

資格との関連

学生へのメッセージ

対人援助職に必要な「人とかかわる能力」は、講義を受動的に聞くだけで身に着くものではありません。体験を通して自ら主体的に学び、対人関係の感性を磨くなかで手にすることができます。講義では、失敗を恐れず自分から積極的に取り組むことをを心がけてください。

実務との関連

公認心理師、臨床心理士として教育・福祉領域での実務経験をもとに、援助的コミュニケーションの意義と技法について講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	対人援助とコミュニケーション	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
2	自分と他者の理解①:自己覚知とは	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
3	自分と他者の理解②:他者理解と多様性の尊重	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
4	心理学から見た人間関係①:発達心理	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
5	心理学から見た人間関係②:社会心理	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
6	心理学から見た人間関係③:ストレス	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
7	コミュニケーションの基礎①:言語コミュニケーション(1)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
8	コミュニケーションの基礎②:言語コミュニケーション(2)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
9	コミュニケーションの基礎③:非言語コミュニケーション	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
10	対人関援助関係とコミュニケーション①:互いを尊重しあうコミュニケーション	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
11	対人関援助関係とコミュニケーション②:受容と共感	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
12	対人関援助関係とコミュニケーション③:傾聴	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
13	対人関援助関係とコミュニケーション④:バイステックの7原則	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
14	対人関援助関係とコミュニケーション⑤:集団、組織でのコミュニケーション	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
15	コミュニケーションスキルの活用	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する

講義名	9050006300 人間関係とコミュニケーションⅡ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦		

学習目標(到達目標)

・コミュニケーションの技法について説明でき、実践することができる。
・場面に応じたコミュニケーション技法を用いて、専門職者としての適切なアセスメントができる。

授業概要(教育目的)

適切なケアは、支援対象者との信頼関係の構築がなされることで実践される。また、ケアの実践は相談がなされた段階から行われなければならない。このことから、あらゆるコミュニケーション技法を会得し、適切なタイミングで円滑なサービスが提供できるための技術をもって、支援ができる人材を育成する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力および介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験・課外活動状況・グループワーク状況を総合的に勘案し評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

福田あけみ・小嶋章吾　ソーシャルワーク記録［改訂版］(誠信書房)
大谷佳子　　イラストと図解でよくわかる対人援助のスキル図鑑(中央法規出版)

講義時使用テキスト

大谷佳子イラストと図解でよくわかる対人援助のスキル図鑑（中央法規出版）

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格取得希望者は必ず受講すること。

学生へのメッセージ

・介護福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目であることから、教科書を読んでから受講するなど、必ず事前準備を行うこと。
・相互授業を目指しているので、担当教員から学生に問いかける形式で講義を展開する予定である。また、質問はいつでも受け付ける。
・講義の進行に併せてレポート課題を課すことがり、提出されたレポートは評価の対象とする。
・欠席回数が一定以上の学生には、期末試験の受験を認めない。

実務との関連

福祉専門職として、地域で暮らすことでのルール、職業人としてのマナー、専門職者としてのプライドを身に着けることを目的とする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	利用者・家族とのコミュニケーション① 接遇の基本	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	利用者・家族とのコミュニケーション② コミュニケーションが取りづらい場面の対応	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	職場でのコミュニケーション① 組織人であることを意識する	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	職場でのコミュニケーション② あいさつ、立ち居振る舞いの基本	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	職場でのコミュニケーション③ 職場風土の作り方、改善方法	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	職場でのコミュニケーション④ 情報管理の方法	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	演習① 実際の場面で起きるコミュニケーション事故	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	演習② 実際の場面で起きるコミュニケーション事故	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	演習③ 信頼関係の築き方①	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	ティーチング・コーチングのあり方① ティーチングの基本	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	ティーチング・コーチングのあり方② コーチングの基本	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	コミュニケーションツールとしての記録①	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	コミュニケーションツールとしての記録②	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	コミュニケーションツールとしての記録③	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	コミュニケーションツールとしての記録③	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9050002000 社会の理解Ⅰ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦		

学習目標(到達目標)

1. 個人が自立した生活を営むということを理解するため、個人、家族、近隣、地域、社会の単位で人間を捉える視点を養い、人間の生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解する。
2. わが国の社会保障の基本的な考え方、歴史と変遷、しくみについて理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

1. 介護福祉士として職務を行う上で必要となる、サービス利用主体の生活や社会背景を理解すること、サービス利用に関わる主な法制度の仕組みを習得することを基本目的とする。
2. 社会の理解Ⅰでは、個人を構成員とする家族、地域社会、参加する組織や集団が個人とどのようにつながっているかを考え、データをもとに変化するライフスタイルについて学ぶことにより生活支援や福祉の体系を理解する。また、社会保障制度の概要を説明できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、レポート、受講態度などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

介護福祉士養成講座２ 「社会の理解」(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格取得希望者は必ず受講すること。

学生へのメッセージ

・介護福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目であることから、教科書を読んでから受講するなど、必ず事前準備を行うこと。
・相互授業を目指しているので、担当教員から学生に問いかける形式で講義を展開する予定である。また、質問はいつでも受け付ける。
・講義の進行に併せてレポート課題を課すことがり、提出されたレポートは評価の対象とする。
・欠席回数が一定以上の学生には、期末試験の受験を認めない。

実務との関連

介護福祉士として必要である、日本の社会保障の基本的な考え方やしくみについて理解し、支援対象者の生活と社会の関係性を体系的に捉え、福祉制度等のあらゆる選択を補助する知識を深めることを目的としている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	私たちの生活の構造	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
2	家族とは(家族の構造、形態、役割、機能、多様化する家族)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
3	地域社会と個人	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
4	人と社会、組織	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
5	現代におけるライフスタイルの変化	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
6	社会構造の変化(産業化、都市化、地域社会の変化)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
7	生活支援と福祉の体系1(社会福祉と社会保障、社会福祉と福祉サービスの理念)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
8	生活支援と福祉の体系2(社会福祉の法制度と実施体制、自助・共助・公助、福祉の多元化)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
9	社会保障の基本的な考え方(役割と意義、目的と機能、範囲と対象)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
10	わが国の社会保障制度の発達1(20世紀後半の動き)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
11	わが国の社会保障制度の発達2(21世紀以降の動き)	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
12	わが国の社会保障制度の体系	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
13	社会保障の財源	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
14	少子高齢化の進展と社会保障制度	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する
15	持続可能な社会保障制度への道、共生社会	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する

講義名	9050002100 社会の理解Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦		

学習目標(到達目標)

1. 介護実践に必要な介護保険制度、障害者自立支援制度を理解し、用語を適切に使用することができる。
2. 要介護者、障害者の生活上のニーズや課題について、どのような仕組みで支援がなされているか説明できる。
3. 保健医療、公的扶助などの介護実践に関連する分野について理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

1. 介護福祉士として職務を行う上で必要となる、サービス利用主体の生活や社会背景を理解すること、サービス利用に関わる主な法制度の仕組みを習得することを基本目的とする。
2. 社会の理解Ⅱでは、介護保険制度や障害者支援制度など、介護の仕事に携わるうえでの基本的な仕組みやその運用について理解し説明できるようにする。また、保健医療などの介護実践に必要となる関連分野についての理解を深め、説明できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、レポート、受講態度などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

介護福祉士養成講座2 「社会の理解」(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目である。

学生へのメッセージ

・介護福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目であることから、教科書を読んでから受講するなど、必ず事前準備を行うこと。
・相互授業を目指しているので、担当教員から学生に問いかける形式で講義を展開する予定である。また、質問はいつでも受け付ける。
・講義の進行に併せてレポート課題を課すことがり、提出されたレポートは評価の対象とする。
・欠席回数が一定以上の学生には、期末試験の受験を認めない。

実務との関連

介護福祉士として、介護現場で必要とされる日本の高齢者福祉・障害者福祉に関する権利擁護等の制度・施策、医療との制度的な関わりについて理解することを目的としている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	介護保険制度創設の目的と動向	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	介護保険制度の仕組み	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	介護保険制度にかかわる組織とその役割	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	介護保険制度における専門職の役割	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	介護保険制度を取り巻く現況と今後の動向	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	障害と障害者の概念、障害者の自立	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	障害者自立支援制度創設の目的と動向	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	障害者自立支援制度の仕組み	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	障害者自立支援制度にかかわる組織とその役割	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	障害者福祉の今後の課題	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	人々の権利を擁護する諸制度	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	保健医療に関連する諸制度	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	医療に関連する法と諸制度	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	公的扶助等、生活を支える諸制度	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	高齢者・障害者の生活を支援する諸制度	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する

講義名	9050002200 介護の基本Ⅰ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	高橋　英成			

学習目標(到達目標)

1. 介護に関係した福祉の歴史的変遷や介護が社会的課題となっている背景を認識し、介護が必要とされている社会状況を理解できる。
2. 超高齢社会のなか、介護の社会化を担う専門職として、介護福祉士に求められる社会的使命を理解する。
3. 介護が必要な人の尊厳を守る倫理観から、権利擁護や社会的弱者の選択意思の尊重を理解できる。
4. ノーマライゼーションの理念に基づく介護実践における主体性の尊重や選択意思の尊重の大切さを認識し、要介護者や障害者を支援する制度と具体的な取り組みについて理解できる。
5. 社会福祉士及び介護福祉士法などの法律などから介護福祉士の定義を理解する。
6. 介護保険制度と障害者の自立支援における介護サービスが具体的に理解できる。

授業概要(教育目的)

“尊厳の保持”や“自立支援”などの介護に必要な考え方を理解するとともに、介護を必要とする人を生活の観点から捉えて多職種協働で支援が図れるための学習とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、レポート課題、演習の取り組み状況を踏まえ総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座第3巻　介護の基本Ⅰ(第2版)」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験の出題科目となっている。

学生へのメッセージ

この科目は、介護福祉に関する総論的な内容となっており、「社会の理解」など介護福祉士養成課程の中で履修する専門科目と重なっている。そのため、関連する科目での学びと合わせて理解を深めてほしい。

実務との関連

この科目は、テキストの内容を読み込んでいく学習となるが、概念的な内容が多く、理解しにくいことが見込まれる。そのため、介護福祉士、社会福祉士として活動してきた実務経験から、具体的な事例を提示しながら指導していきたい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	介護福祉を取り巻く状況①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
2	介護福祉を取り巻く状況②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
3	介護福祉を取り巻く状況③	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
4	介護福祉を取り巻く状況④	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
5	介護福祉の歴史①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
6	介護福祉の歴史②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
7	介護福祉の歴史③	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
8	介護福祉の歴史④	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
9	介護福祉の歴史⑤	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
10	介護福祉の歴史⑥	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
11	介護福祉の歴史⑦	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
12	介護福祉の歴史⑧	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
13	介護福祉の基本理念①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
14	介護福祉の基本理念②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
15	社会福祉士及び介護福祉士法①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
16	社会福祉士及び介護福祉士法②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
17	介護福祉士の活動①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
18	介護福祉士の活動②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
19	介護福祉士に求められる役割①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
20	介護福祉士に求められる役割②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
21	介護福祉士の養成①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
22	介護福祉士の養成②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
23	介護福祉士を支える職能団体①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
24	介護福祉士を支える職能団体②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
25	介護福祉士の倫理①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
26	介護福祉士の倫理②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
27	日本介護福祉士会の倫理綱領①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
28	日本介護福祉士会の倫理綱領②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
29	日本介護福祉士会の倫理綱領③	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
30	日本介護福祉士会の倫理綱領④	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。

講義名	9050002300 介護の基本Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	高橋　英成		

学習目標(到達目標)

1. QOLの意味を理解し、利用者ひとりひとりがその人らしい生活を継続するために介護が重要なことを理解できる。
2. 介護を必要とする人および家族が生活の上で抱える介護課題を理解する。
3. 介護が必要な人とその家族が抱える生活上の課題解決のために、必要なサービスや社会資源の活用を理解する。
4. 多職種との連携や地域における連携について理解できる。
5. 多職種との情報共有のために、ICF概念の理解とその活用ができる。
6. 自立に向けた介護の視点から、介護が必要な人の生きる力を引き出し、自らの人生に積極的に関わることの意義を理解する。

授業概要(教育目的)

“尊厳の保持”や“自立支援”などの介護に必要な考え方を理解するとともに、介護を必要とする人を生活の観点から捉えて多職種協働で支援が図れるための学習とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。
利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力および介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけている。

評価方法

筆記試験、レポート課題、グループワークの取り組み状況を踏まえ総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)
「最新・介護福祉士養成講座第3巻　介護の基本Ⅰ(第2版)」
「最新・介護福祉士養成講座第4巻　介護の基本Ⅱ(第2版)」

資格との関連

介護福祉士国家試験の出題科目となる。
また、日本レクリエーション協会認定のレクリエーション・インストラクター資格の取得要件科目となっている。

学生へのメッセージ

この科目は、介護福祉に関する総論的な内容となっており、介護福祉士養成課程の中で履修する「社会の理解」などの専門科目と重なっている。そのため、関連する科目での学びと合わせて理解を深めてほしい。

実務との関連

この科目は、テキストの内容を読み込んでいく学習となるが、概念的な内容が多く、理解しにくいことが見込まれる。そのため、介護福祉士、社会福祉士として活動してきた実務経験から、具体的な事例を提示しながら指導していきたい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	介護福祉における自立支援①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
2	介護福祉における自立支援②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
3	ICFの考え方①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
4	ICFの考え方②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
5	ICFの考え方③	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
6	ICFの考え方④	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
7	自立支援とリハビリテーション①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
8	自立支援とリハビリテーション②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
9	自立支援と介護予防①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
10	自立支援と介護予防②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
11	介護予防における介護福祉士の役割①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
12	介護予防における介護福祉士の役割②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
13	「生活」とは何か	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
14	介護福祉を必要とする人たちの暮らし	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
15	「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
16	生活のしづらさの理解とその支援①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
17	生活のしづらさの理解とその支援②	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
18	生活のしづらさの理解とその支援③	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
19	生活のしづらさの理解とその支援④	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
20	利用者の生活を支えるしくみ	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
21	生活を支えるフォーマルサービス①	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
22	生活を支えるフォーマルサービス②	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
23	生活を支えるインフォーマルサービス①	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
24	生活を支えるインフォーマルサービス②	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
25	地域連携①	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
26	地域連携②	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
27	介護における安全の確保①	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
28	介護における安全の確保②	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
29	リスクマネジメント①	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
30	リスクマネジメント②	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。

講義名	9050002400	介護の基本Ⅲ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	高橋　英成			

学習目標(到達目標)

1. 介護サービスの特徴、チームアプローチによるサービスの提供、多職種の専門性の理解と実習現場のイメージが図れる(介護サービスの概要、介護サービス提供の場の特性など)
2. 安全の概念を予防・自立の点から考察し、セーフティマネジメントのあり方を理解し説明できる。
3. 観察・予測ができ、分析する力を高め、個別事例に即した提案ができる。
4. 受療援助や感染時対応、災害時やコミュニティでの役割を認識し、必要な知識・技術を習得する。
5. 介護従事者の安全・健康管理に関する知識、技術を活用できるよう理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的な支援だけではなく、心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。
利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力及び介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、レポート課題、グループワークの取り組み状況を踏まえ総合的に判断する。

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座第4巻　介護の基本Ⅱ」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験の出題科目となる。

実務との関連

この科目は、テキストの内容を読み込んでいく学習となるが、概念的な内容が多く、理解しにくいことが見込まれる。そのため、介護福祉士、社会福祉士として活動してきた実務経験から、具体的な事例を提示しながら指導していきたい。

授業概要(教育目的)

介護従事者自らの健康や安全が保障されるべきであることへの認識を深め、演習や実習、職においても実践できるようになることを目指す。
介護における安全を確保するための知識・技術、事故防止や安全の対策、感染対策、緊急時対応、介後従事者の健康管理等について施設や事業等での具体例・実習体験をもとに展開する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

学生へのメッセージ

この科目は、介護福祉に関する総論的な内容となっており、「社会の理解」など介護福祉士養成課程の中で履修する専門科目と重なっている。そのため、関連する科目での学びと合わせて理解を深めてほしい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	多職種連携・協働の必要性	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
2	社会的要請としての多職種連携・協働	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
3	多職種連携・協働を阻むもの	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
4	多職種連携・協働の効果	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
5	介護実践につながる多職種連携・協働	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
6	多職種連携・協働のためのチームづくり	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
7	多様な視点と受容を必要とする協働	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
8	課題解決に対する多職種の関わり	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
9	多職種協働を成功させるための介護技術と知識①	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
10	多職種協働を成功させるための介護技術と知識②	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
11	多職種協働とホスピタリティ視点	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
12	多職種協働に求められるコミュニケーション能力	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
13	保健・医療・福祉職の役割と機能①社会福祉士、精神保健福祉士	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
14	保健・医療・福祉職の役割と機能②介護支援専門員、サービス提供責任者	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
15	保健・医療・福祉職の役割と機能③医師、歯科医師、歯科衛生士	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
16	保健・医療・福祉職の役割と機能④看護師、保健師	テキストの該当箇所を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
17	保健・医療・福祉職の役割と機能⑤理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
18	保健・医療・福祉職の役割と機能⑥管理栄養士、栄養士	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
19	保健・医療・福祉職の役割と機能⑦薬剤師	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
20	多職種における地域での連携・協働	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
21	健康管理の意義と目的	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
22	働く人の健康や生活を守る法制度	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
23	介護労働の特性と健康問題	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
24	健康に働くための健康管理	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
25	ストレスとこころの健康	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
26	職場で取り組むこころの健康	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
27	介護従事者の身体の健康障害	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
28	介護従事者の労働条件	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
29	介護従事者の労働災害	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。
30	けがの予防のための労働環境の整備	関連資料を通読し、概要を把握しておくこと。	授業の内容を振り返り、要点を整理すること。

講義名	9050002500	コミュニケーション技術Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ			

学習目標(到達目標)

1. 対人援助活動に携わる専門職となるための基礎として、事例を用いて、自己覚知・他者理解を解説できる。
2. グループワークでの体験を、傾聴、受容、共感などの技法や言語・非言語コミュニケーション手段で解説できる。
3. 多職種とのチームケアの事例を基に、どんなコミュニケーション技術や留意点が必要か説明できる。

授業概要(教育目的)

対人援助における面接の基本的なスキルを身に付けるため、自己覚知や他者理解を前提とした基本的なかかわり技法について、演習を通して学習する。介護に必要なコミュニケーションの基本(意義・目的・役割)、介護を展開する際に必要なコミュニケーション技能などについて理解を深めるとともに、実践的な演習やロールプレイを繰り返すことで学びを深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力の習得に向けて取り組む。

評価方法

定期試験や提出物や授業での発言など学習への取り組みを総合的に勘案する

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　5「コミュニケーション技術」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。

学生へのメッセージ

コミュニケーションは、人間関係の基本である。是非、学生の皆さんには、日頃のコミュニケーションにおける自分の言葉や表情、態度などを学習した知識を用いて考える習慣をつけてほしい。その積み重ねを自身の言動に活かせることができれば、真の学びとなるでしょう。
また、「人間関係とコミュニケーション」科目との関連性が高いので、確認しておきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	介護におけるコミュニケーションの意義と目的	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	介護におけるコミュニケーションの対象 (プレゼンテーション)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	援助関係とコミュニケーション (プレゼンテーション)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	自己覚知と他者理解1 (プレゼンテーションとグループワーク)	「人間関係とコミュニケーション」で重ねる部分を読んでくる。	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	自己覚知と他者理解2 (グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	コミュニケーションの基本技術1(傾聴) (グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	課題のレポートを作成する
7	コミュニケーションの基本技術2(受容) (グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	課題のレポートを作成する
8	コミュニケーションの基本技術3(共感) (グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	課題のレポートを作成する
9	コミュニケーションの基本技術4(距離) (グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	課題のレポートを作成する
10	コミュニケーションの基本技術5(言語コミュニケーション) (グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	課題のレポートを作成する
11	コミュニケーションの基本技術6(非言語準言語コミュニケーション) (グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	課題のレポートを作成する
12	目的別のコミュニケーション技術1(動機づけ) (プレゼンテーション)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	目的別のコミュニケーション技術2(ものの見方に変化を生み出す技術) (プレゼンテーションとグループワーク)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	目的別のコミュニケーション技術3(意志決定を支援するためのコミュニケーション) (プレゼンテーションとグループワーク)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	集団におけるコミュニケーション技術 (プレゼンテーションとグループワーク)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 課題のレポートを作成する

講義名	9050002600	コミュニケーション技術Ⅱ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

1. 介護場面で協働する関係者と情報を共有し、関連多職種への協力・記録報告書の必要性を活用できるようにする。
2. 記録の種類・管理について理解する。

授業概要(教育目的)

利用者の特性に応じたコミュニケーションを理解し、ロールプレイングのディスカッションを通して介護におけるコミュニケーションのあり方を考える。また、介護のかかわる多職種とのチームとのコミュニケーションの意義を理解し、記述・文書によるコミュニケーションの意義についても理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力及び介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけている。

評価方法

課題・レポート、定期試験を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)の模範解答を示す。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

諏訪　茂樹　編「人間関係とコミュニケーション」 建帛社
星野　欣生　著「人間関係作りトレーニング」 金子書房

講義時使用テキスト

コミュニケーション技術5　中央法規

資格との関連

学生へのメッセージ

介護過程を通して障害の程度・種別による生活支障の状況把握をすることにより適切なコミュニケーションの実践を理解できる。文書(記録、報告)を通して介護実践に必要とされる情報伝達技術・個人情報の扱い方、情報の共有、管理の仕方を実践できるように学習する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	介護におけるさまざまなコミュニケーション場面1	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
2	介護におけるさまざまなコミュニケーション場面2	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
3	利用者の特性に応じたコミュニケーション1	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
4	利用者の特性に応じたコミュニケーション2	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
5	利用者の特性に応じたコミュニケーション3	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
6	利用者の特性に応じたコミュニケーション4	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
7	利用者の特性に応じたコミュニケーション5	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
8	介護におけるチームのコミュニケーション1(会議)	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
9	介護におけるチームのコミュニケーション2(会議)	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
10	介護におけるチームのコミュニケーション3(報告)	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
11	介護におけるチームのコミュニケーション4(報告)	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
12	記述文書によるコミュニケーションの意義1	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
13	記述文書によるコミュニケーションの意義2(情報の共有化)	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
14	記述文書によるコミュニケーションの意義3(情報の共有化)	前回の配布資料とノートを読み直す	教科書と配布資料を振り返り、論点の整理と専門用語について理解する。
15	コミュニケーション支援のツール	前回の配布資料とノートを読み直す	配布された国家試験対策問題に取り組むこと。

講義名	9050002700	生活支援技術Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　絵美			

学習目標(到達目標)

1. 利用者の自立した移動の在り方について理解し、介助における基本的視点を持つことができる。
2. 利用者の身体状態に応じた安全で的確な移乗・移動の介助法を行うことができる。
3. 安全な移乗・移動を行うための環境とその整備について説明することができる。
4. 移動に関連した福祉機器や福祉ロボットの活用方法について説明することができる。

授業概要(教育目的)

介護を必要とする人々が人間の尊厳をもって、その人らしく生きるための自立・自律を尊重し潜在能力を引き出しつつ、適切な安全・安楽な介護技術を援助できるための知識、技術を習得する。また、ICFの視点を生活支援に活かすことの意識を理解し、生活の豊かさや心身の活性化のための支援につながることを理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

1. 筆記試験　60%
2. 実技試験　20%
3. 授業態度　20%

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)の模範解答を示す。

参考文献

適宜配布する

講義時使用テキスト

生活支援技術Ⅰ　介護福祉士養成講座6　　中央法規

資格との関連

学生へのメッセージ

授業は介護実習室にて行います。
毎回演習があるため実習着に着替え、身だしなみを整えて臨むこと。
分からないことはそのままにせず、ぜひ積極的に質問してください。

実務との関連

介護老人保健施設での通所リハビリテーション、及び有料老人ホームにて介護職として勤務。他に支援相談員、介護支援専門員の職歴あり。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	生活支援の基本的な考え方① 生活支援とは何か ライフサイクルと生活の豊かさ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	生活支援の基本的な考え方② 生活支援のポイント	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
3	根拠に基づく生活支援技術とは	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
4	利用者主体の生活支援技術の実践に向けて① 利用者の生活を理解するとは	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
5	利用者主体の生活支援技術の実践に向けて② 利用者の生活を理解するとは	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
6	生活支援における福祉用具の重要性① 福祉用具とは 福祉用具の種類 公的制度における福祉用具サービス	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
7	生活支援における福祉用具の重要性② 適切な福祉用具を選ぶための視点	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
8	生活支援と介護過程① 事例を通して生活支援を考える 生活支援とチームアプローチ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
9	生活支援と介護過程② 事例を通して生活支援を考える 生活支援とチームアプローチ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
10	生活支援と介護過程③ 事例を通して生活支援を考える 生活支援とチームアプローチ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
11	災害における生活支援① 介護福祉職の役割	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
12	災害における生活支援② 災害時における生活支援の実際	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
13	災害時における生活支援③ 八戸市の災害事情を知る	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	災害時における生活支援④ 八戸市の災害事情を知る	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	オリエンテーション 移動・移乗の意義と目的 移動・移乗における基本的な介護の視点	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
16	移乗・移動におけるアセスメント ボディメカニクス 福祉用具使用にあたっての注意点	テキストの該当箇所を読む	課題のレポートを作成する
17	確認テスト「ボディメカニクス」 自立に向けた移動・移乗の介護 ・ベッド上での上方移動、水平移動	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
18	自立に向けた移動・移乗の介護 ・仰臥位から側臥位の介助	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
19	確認テスト「実技：ベッド上での上方移動、水平移動」 自立に向けた移動・移乗の介護 ・仰臥位から側臥位への介助と起き上がりから端座位への介助	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
20	自立に向けた移動・移乗の介護 ・端座位から立位の介助 ・応用編「仰臥位から端座位を経て立位まで」	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
21	確認テスト「実技：仰臥位から端座位を経て立位までの介助」 安楽な姿勢・体位を保持する介助 ・褥瘡の原因と予防のポイント ・仰臥位、側臥位、半座位、起座位の体位保持	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
22	安楽な姿勢・体位を保持する介助の実際 車椅子の基本構造 正しい座位姿勢の観察ポイントと基本的な使い方	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
23	確認テスト「車椅子の基本構造」 自立に向けた移動・移乗の介護 ・車椅子からベッド、ベッドから車椅子への移乗介助①	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
24	自立に向けた移動・移乗の介護 ・車椅子からベッド、ベッドから車椅子への移乗介助②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
25	自立に向けた移動・移乗の介護 ・車椅子の移動介助①	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
26	自立に向けた移動・移乗の介護 ・車椅子の移動介助②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
27	確認テスト「車椅子からベッド、ベッドから車椅子への移乗介助」 自立に向けた移動・移乗の介助 ・歩行の介助を行うにあたって ・杖歩行介助	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
28	自立に向けた移動・移乗の介助 ・転倒事故予防のための環境と整備 ・グループワーク「危険予測と対処法」 次回の実技試験について詳細発表	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
29	実技試験「散歩に行くためベッド臥床の利用者を車椅子へ移乗する」	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
30	福祉機器、介護ロボットの種類と役割 移動の介護における多職種との連携 筆記テストのガイダンス	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9050002800	生活支援技術Ⅱ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

1. 健康の維持・増進の為の食事の意義と目的を考える。
2. 利用者の身体状態・状況に応じた口腔ケアの技術の演習を通して習得する。
3. IADLの視点に注目し「している」能力と「できる能力」に着目し、家事への参加と自立支援に向けた介護実践、技術を習得する。
4. 栄養と食事の基礎知識について学習する。
5. 身体機能低下や咀嚼・嚥下障害・認知障害等の食事介護が必要とする利用者の状態に応じた適切な食事介助の技法を演習でシュミレーションしながら学習する。
6. 自立に向けた家庭生活と家庭経営の支援を習得する。
7. 自立に向けた掃除・ゴミ捨て・買い物・衣類・寝具の衛生管理・買い物の支援について習得する。

授業概要(教育目的)

利用者の状況・状態に応じて安全・快適でおいしい食事の自立に向けた介護を実践できる。ICFの視点に基づいた介護過程を展開し、利用者の状態・状況に応じた自立に向けた家事の介助ができる。
高齢者・障害者の日常生活に欠かせない家事援助の知識技術学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

1. 受講態度　50%
2. 課題・レポート(含むグループワーク参加度)　50%

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

・視聴覚教材「嚥下のメカニズムと嚥下障害」

講義時使用テキスト

・生活支援技術Ⅱ７　中央法規
・生活支援技術Ⅲ８　中央法規

資格との関連

学生へのメッセージ

わからないことをそのままにせず、常にポジティブに取り組むこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	食事の自立に向けた介護(「美味しく食べる」を支えるための介護者の役割)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
2	食事の意義と目的(食欲のしくみ・食べ物と空気の通り道のしくみ)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
3	栄養に関する基礎知識(食事摂取における栄養素の働きの理解)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
4	食事の介護の基本(食べるしくみについて気管と食道の位置関係について)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
5	食事に関するアセスメントの目標設定1(一部介助を要する利用者の介助)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
6	食事に関するアセスメントの目標設定2(脱水の原因と予防)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
7	食事に関するアセスメントの目標設定3(誤嚥・窒息の防止に向けた介助)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
8	食生活の基本知識:座学	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
9	利用者の状態・状況に応じた介助:実習 ・一汁三菜、刻み食、ソフト食	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
10	食事の支援における他職種の役割と協働(含、自助具)・連携:実習① ・嚥下と咀嚼	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
11	食事の支援における他職種の役割と協働(含、自助具)・連携:実習② ・嚥下と咀嚼	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
12	食事の支援における他職種の役割と協働(含、自助具)・連携:実習③ ・嚥下と咀嚼	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
13	食事の支援における他職種の役割と協働(含、自助具)・連携:実習④ ・嚥下と咀嚼	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
14	食事の支援における他職種の役割と協働(含、自助具)・連携:実習⑤ ・嚥下と咀嚼	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
15	家事の意義と目的	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
16	食生活と栄養素	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
17	掃除・ゴミ捨て① ①和室の掃除の仕方　②ゴミのまとめ方　③ゴミ出しの方法	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
18	掃除・ゴミ捨て② ①和室の掃除の仕方　②ゴミのまとめ方　③ゴミ出しの方法	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
19	被服生活(繊維について)① ①繊維の種類　②繊維の特徴	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
20	被服生活(繊維について)② ①繊維の種類　②繊維の特徴	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
21	裁縫の基本① ①基礎縫い(並縫い・返し縫・まつり縫い)　②基礎縫い(玉結び・ボタン付け)　③課題提出	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
22	裁縫の基本② ①基礎縫い(並縫い・返し縫・まつり縫い)　②基礎縫い(玉結び・ボタン付け)　③課題提出	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
23	被服生活(洗濯の支援)① ①洗濯方法　②洗剤　③漂白剤　④染み抜き	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
24	被服生活(洗濯の支援)② ①洗濯方法　②洗剤　③漂白剤　④染み抜き	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
25	衣類・寝具の衛生管理① ①衣類の収納　②防虫剤の種類　③寝具の保管方法　④寝具の天日干しの仕方	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
26	衣類・寝具の衛生管理② ①衣類の収納　②防虫剤の種類　③寝具の保管方法　④寝具の天日干しの仕方	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
27	家計と消費生活① ①高齢者の家計　②金銭管理　③悪質商法・振り込め詐欺　④クーリングオフ制度	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
28	家計と消費生活② ①高齢者の家計　②金銭管理　③悪質商法・振り込め詐欺　④クーリングオフ制度	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
29	食事・家事調理の授業をを振り返る 事例を通して、状態に応じた利用者の介助について考える。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。
30	食事・家事調理の授業を振り返る 事例を通して、状態に応じた利用者の介助について考える。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。

講義名	9050002900	生活支援技術Ⅲ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　絵美			

学習目標(到達目標)

利用者のよりよい自立に向けた排泄、身じたくに関するICFの視点に基づくアセスメント、利用者の状態・状況に応じた自立に向けた介護を実施できるように学習する。

授業概要(教育目的)

1. 個人のプライバシーや人間の尊厳を重視しながら、自立に向けた排泄の支援を考え、実践できる能力を養う。
2. 身じたくの自立に向けて、利用者の状態・状況に応じた介助の留意点を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

1. 受講態度　50%
2. 課題・レポート(含むグループワーク参加度)50%

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)の模範解答を示す。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

講義時使用テキスト

介護福祉士養成講座編集委員会編 「最新　介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ」 中央法規出版株式会社　2020年

参考文献

壬生尚美・佐分行子編 「事例で学ぶ　生活支援技術習得　新カリ対応」日総研出版　2008年
古澤章良編 「福祉施設における危険予知訓練(KYT)」筒井書房　2013年

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自立に向けた排泄の介護、排泄の意義・目的①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
2	自立に向けた排泄の介護、排泄の意義・目的②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
3	ICFに基づいたアセスメント①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
4	ICFに基づいたアセスメント②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
5	安全・的確な排泄介助の技法(トイレ介助)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
6	安全・的確な排泄介助の技法(トイレ介助)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
7	安全・的確な排泄介助の技法(ポータブルトイレ介助)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
8	安全・的確な排泄介助の技法(ポータブルトイレ介助)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
9	安全・的確な排泄介助の技法(尿器・便器介助)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
10	安全・的確な排泄介助の技法(尿器・便器介助)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
11	安全・的確な排泄介助の技法(おむつ交換)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
12	安全・的確な排泄介助の技法(おむつ交換)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
13	安全・的確な排泄介助の技法(自己導尿・座薬・ストーマ)	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
14	排泄の介護における多職種との連携	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
15	身じたくの意義と目的①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
16	身じたくの意義と目的②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
17	自立に向けた身じたくの介護①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
18	自立に向けた身じたくの介護②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
19	自立に向けた身じたくの介助(洗顔・整髪・ひげの手入れ)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
20	自立に向けた身じたくの介助(洗顔・整髪・ひげの手入れ)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
21	自立に向けた身じたくの介助(爪切り・耳の清潔・化粧)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
22	自立に向けた身じたくの介助(爪切り・耳の清潔・化粧)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
23	自立に向けた身じたくの介助(口腔ケア)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
24	自立に向けた身じたくの介助(口腔ケア)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
25	自立に向けた身じたくの介助(口腔ケア)③	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
26	自立に向けた身じたくの介助(衣服の着脱)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
27	自立に向けた身じたくの介助(衣服の着脱)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
28	自立に向けた身じたくの介助(衣服の着脱)③	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
29	排泄・身じたくの授業を振り返る。 事例を通して利用者の状態に応じた介護について考える。	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
30	排泄・身じたくの授業を振り返る。 事例を通して利用者の状態に応じた介護について考える。	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。

講義名	9050003000	生活支援技術Ⅳ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分		対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

利用者のよりよい自立に向けた入浴と清潔保持に関するICFの視点に基づくアセスメント、状態・状況に応じた自立に向けた入浴の介護を実施できる。快適な住環境整備の支援について習得する。

授業概要(教育目的)

1. 個人のプライバシーや人間の尊厳を重視しながら、自立に向けた排泄の支援を考え、実践できる能力を養う。
2. 自立に向けた入浴と清潔保持について、実践できる能力を養う。
3. 自立に向けた入浴と清潔保持について利用者の状態・状況に応じた介助の留意点を理解する。
4. 生活環境の概念、居住環境整備の意義と目的について理解する。
5. 住宅改修の必要性の判断について理解できる。
6. バリアフリー・ユニバーサルデザインについて習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

1. 受講態度　50%
2. 課題・レポート(含むグループワーク参加度)　50%

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

生活支援技術Ⅱ7　中央法規
生活支援技術Ⅲ8　中央法規

資格との関連

学生へのメッセージ

演習科目のため、常に実習着を準備しておいて下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自立に向けた入浴の介護　意義・目的①	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	自立に向けた入浴の介護　意義・目的②	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
3	ICFに基づいたアセスメント1 (入浴におけるICFの理解と活用)①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
4	ICFに基づいたアセスメント1 (入浴におけるICFの理解と活用)②	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
5	安全・的確な部分浴介助の技法1 (手浴介助)①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
6	安全・的確な部分浴介助の技法1 (手浴介助)②	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
7	安全・的確な部分浴介助の技法2 (足浴介助)①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
8	安全・的確な部分浴介助の技法2 (足浴介助)②	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
9	安全・的確な部分浴介助の技法3 (洗髪介助)①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
10	安全・的確な部分浴介助の技法2 (洗髪介助)①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
11	安全・的確な清拭介助の技法 (全身清拭)①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
12	安全・的確な清拭介助の技法 (全身清拭)②	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
13	安全・的確な入浴・清潔保持の介助の技法 (家庭浴槽・個浴・リフト浴・機械浴)①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
14	安全・的確な入浴・清潔保持の介助の技法 (家庭浴槽・個浴・リフト浴・機械浴)②	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
15	居住環境整備の意義と目的①	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
16	居住環境整備の意義と目的②	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
17	住まいの役割と機能について	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
18	バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
19	快適な生活空間と室内環境	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
20	障害者・高齢者に必要な安全な町づくり	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
21	障害者・高齢者に多い住宅での事故	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
22	安全に暮らすための生活環境	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
23	社会参加できるための居住環境整備	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
24	ケアマネジメント機能における居住環境整備	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
25	介護保険における住宅改修	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
26	生活支援における福祉用具の重要性	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
27	福祉用具の種類	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
28	適切な福祉用具を選ぶための視点	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
29	居住環境の国家試験対策	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
30	居住環境の国家試験対策	テキストの該当箇所を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す

講義名	9050003100	生活支援技術Ⅴ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分		対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

1. 睡眠が生活リズムに及ぼす影響について理解する。
2. 睡眠のリズムパターンを理解し、また高齢者の睡眠の特徴や習慣などを理解し、睡眠行動のアセスメントができる。
3. 個別的アセスメントを基に環境づくり、ベッドメーキング、不眠対策、安全・安楽な体位等を工夫できる。
4. 延命治療、緩和ケア、リビングウィル等尊厳の保持とは何かを学び、自分自身の死生観を深めることができる。
5. 終末期の心身状況を理解し、QOLを高める身体・生活援助と共感し、利用者及び家族の精神的サポートができる。
6. 在宅・施設ターミナルケアでの他職種との連携、臨終時の介護技術グリーフケア等介護福祉士の役割を理解する。

授業概要(教育目的)

安楽な睡眠の願いが果たされない高齢者や障害者の生理、心理を十分に理解する。また、利用者の心身の状態・状況に
応じ、睡眠のリズム、不眠の原因、安眠のための環境を整える。人生の終末期の意義を考えあい、死生観を鍛える。
また個別の利用者の終末期を理解し、QOLを高める身体・生活援助やコミュニケーション技術を身につける。チームアプローチの中で介護福祉士の役割を自覚し、援助と連携できる能力を養い支援技術を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

1　受講態度　10%
2　課題・レポート(含むグループワーク参加度)　60%
3　試験　30%

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は採点して返却する。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

講義時使用テキスト

生活支援技術Ⅱ　7　　中央法規

参考文献

・E.キューブラ・ロス「死ぬ瞬間、死とその過程について」 中央文庫
・宮崎　利加子「死ぬまでわがままですか」 ちくま文庫
・スーザン・バーレイ「わすれられないおくりもの」　　評論社
・折田　國夫　編著「家で死ぬための医療とケアの在宅看取り学の実践」医歯薬出版
・宮林　幸江　著「流れるままに涙を流しましょう」ソニーマガジンズ

資格との関連

学生へのメッセージ

睡眠の生理を理解し、睡眠が生活全般に及ぼす影響を理解してください。どのような状態・状況においても安楽な睡眠を援助できる能力を養う。ICFの視点で利用者の尊厳を保持しながら終末期の介護のあり方、共感を通して身体的・精神的支援技術を学習してください。また、グリーフケアについても理解する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	睡眠の意義・目的と個別性①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	''自分自身の睡眠観察をしてみよう''次回提出課題のレポートを作成して下さい。
2	睡眠の意義・目的と個別性②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
3	睡眠に関する利用者のアセスメント①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
4	睡眠に関する利用者のアセスメント②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
5	不眠の理由・不眠事への対応、安眠への介護①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
6	不眠の理由・不眠事への対応、安眠への介護②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
7	安眠を促すための環境づくり、工夫①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
8	安眠を促すための環境づくり、工夫②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
9	安眠を促す介助の技法①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
10	安眠を促す介助の技法②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
11	利用者の状態・状況に応じた介助の留意点① (疾病別、安楽な体位の工夫)①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
12	利用者の状態・状況に応じた介助の留意点① (疾病別、安楽な体位の工夫)②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
13	利用者の状態・状況に応じた介助の留意点② (夜間せん妄、感覚機能低下、認知機能低下など)①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
14	利用者の状態・状況に応じた介助の留意点② (夜間せん妄、感覚機能低下、認知機能低下など)②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	これまでの教科書と配布資料を振り返り、国家試験対策問題に取り組むこと。
15	人生の最終段階にある人の介護の意義目的①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
16	人生の最終段階にある人の介護の意義、目的②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
17	人生の最終段階にある人のアセスメント①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
18	人生の最終段階にある人のアセスメント②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
19	死が近づいた時の身体症状の対応①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
20	死が近づいた時の身体症状②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
21	死をむかえる人の介護①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
22	死をむかえる人の介護②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
23	死をむかえる人の介護③ ターミナルケア	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
24	死をむかえる人の介護④ ターミナルケア	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
25	死をむかえた人の介護① グリーフケア	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
26	死をむかえた人の介護② デスカンファレンス	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
27	エンゼルケア①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
28	エンゼルケア②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
29	介護福祉士のあり方を考える①	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。
30	介護福祉士のあり方を考える②	教科書の該当箇所を事前に読んで出席すること。	授業内容の復習をしてください。

講義名	9050003200 介護過程Ⅰ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ			

学習目標(到達目標)

1. 利用者の生活を支援することの基本的視点について、介護過程を通して理解する。
2. 科学的根拠に基づいた介護過程を展開するため観察・確認視点を整理し、実践の場で活用できる。
3. 介護過程のプロセスを学習し、実践に向けた思考過程を身に付ける。

授業概要(教育目的)

介護過程を展開するための4つのプロセスについて学び、専門的な視点と実践に向けた知識・技術を習得する。根拠に基づく介護実践に向けた思考プロセスを展開するため、まず介護過程1では、専門職者としての観察確認視点を身に付け、利用者の全人的な理解と課題分析につなげる技能を習得する。ゲーム教材を用いる、映像を活用する等体験型学習を取り入れることで、観察・確認視点の基礎理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、介護過程を展開できるようになることを目指す。

評価方法

定期試験・グループワークの状況・レポート課題を総合的に評価する

課題に対するフィードバック

計画書などは、添削をし個別に評価し、対応する。

参考文献

参考資料は、授業の際紹介する

講義時使用テキスト

「最新　介護福祉士養成講座　9　介護過程」　第2版　中央法規出版

資格との関連

介護福祉士資格取得に向けた専門科目

学生へのメッセージ

介護過程は、科学的な根拠に基づいた介護実践に向け、中核となる科目である。主体的に学ぶことを意識し、講義やワークに参加してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	尊厳を守るケア・個別ケアの実践に向けて (概要説明)	尊厳をまもることについて、インターネットや文献で調べたり、自分の意見をまとめたりする	資料を参照し、課題や演習に取り組む
2	尊厳を守るケア・個別ケアの実践に向けて (グループワーク)	尊厳をまもることについて、インターネットや文献で調べたり、自分の意見をまとめたりする	資料を参照し、課題や演習に取り組む
3	生活支援の考え方と介護過程の必要性	該当テキスト箇所を読ん進める	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするとともに課題や演習に取り組む
4	人の「生活」の理解を深める	介護の基本Ⅰで学習した内容を振り返る	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするとともに課題や演習に取り組む
5	介護過程とは何か 、介護過程の意義・目的	テキスト第1章を読み、理解できない語句をチェックする	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするとともに課題や演習に取り組む
6	介護過程とは何か 、介護過程の意義・目的	テキスト第1章を読み、理解できない語句をチェックする	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするとともに課題や演習に取り組む
7	介護過程の展開とプロセス(概要説明)	テキストを読み、介護過程とは何かまとめる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返る
8	介護過程の展開とプロセス(事例を用いて理解を深める)	テキストを読み、介護過程とは何かまとめる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返る
9	介護過程とケアマネジメントの共通点と相違点解説	テキスト第4章を読み、介護過程とケアマネジメントについて共通点や相違点について考えてみる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返り課題や演習に取り組む
10	介護過程とケアマネジメントの共通点と相違点 (グループワーク)	テキスト第4章を読み、介護過程とケアマネジメントについて共通点や相違点について考えてみる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返り課題や演習に取り組む
11	観察から見える介護福祉実践と専門性	専門家が行う観察とは何か、自分の意見をまとめてみる	専門的な観察とは何か、講義内容を資料を活用して振り返る
12	観察から見える介護福祉実践と専門性	専門家が行う観察とは何か、自分の意見をまとめてみる	専門的な観察とは何か、講義内容を資料を活用して振り返る
13	観察・確認視点の主題と中核的構成要素の解説	様々な場面におけるP.E.I.P.を考えてみる	P.E.I.P.について学んだことを振り返り、課題に取り組む
14	観察・確認視点の主題と中核的構成要素を事例を用いて分類	様々な場面におけるP.E.I.P.を考えてみる	P.E.I.P.について学んだことを振り返り、課題に取り組む
15	P.I.P.E－Catch(ペイプキャッチ)を解説	様々な場面における観察項目をP.E.I.P.に当てはめて考えてみる。	P.I.P.E－Catchを実践して、身に付いて事柄を振り返る。自分で作った観察項目を見直す。
16	P.I.P.E－Catch(ペイプキャッチ)を体験する	様々な場面における観察項目をP.E.I.P.に当てはめて考えてみる。	P.I.P.E－Catchを実践して、身に付いて事柄を振り返る。自分で作った観察項目を見直す。
17	自立支援の考え方と介護過程の必要性(概要説明)	テキスト該当箇所を読み、理解できない語句をチェックする	テキストの該当箇所を読み、演習を行う
18	自立支援の考え方と介護過程の必要性(グループワーク)	テキスト該当箇所を読み、理解できない語句をチェックしたり、調べたりする	テキストの該当箇所を読み、演習を行う
19	ICFの視点に基づく展開の基本視点 介護福祉士養成講座「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」「障害の理解」等を参照	他の科目で学習した該当箇所を読み「ICF」について理解を深める	資料やテキストの該当箇所を読み込み、ICFの項目ごとに分類できるようにする
20	ICFの視点に基づく展開を事例を用い記録する	他の科目で学習した該当箇所を読み「ICF」について理解を深める	資料やテキストの該当箇所を読み込み、ICFの項目ごとに分類できるようにする
21	アセスメントの理解	テキスト第2章第2節から第4節を読み込み理解できない箇所や語句をチェックしておく	資料やテキストを振り返り、アセスメントの理解を深める
22	事例を用いてアセスメントを実施	テキスト第2章第2節から第4節を読み込み理解できない箇所や語句をチェックしておく	資料やテキストを振り返り、アセスメントの理解を深める
23	計画の立案 (概要説明)	テキスト第2章第5節を読み計画の立案について理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、計画が立案できるようにする
24	計画の立案 (計画書の作成)	テキスト第2章第5節を読み計画の立案について理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、計画が立案できるようにする
25	支援の実施① (概要説明)	テキスト第2章6節を読み、介護の実施における内容で分からない箇所をチェックする。	演習した内容を振り返り、支援の実施の視点や留意点を振り返る。
26	支援の実施② (事例を用いて実践)	テキスト第2章6節を読み、介護の実施における内容で分からない箇所をチェックする。	演習した内容を振り返り、支援の実施の視点や留意点を振り返る。
27	評価のプロセスと視点① (概要説明)	テキスト第2章7節を読み、評価の内容において理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、評価の意義や目的、評価が適切にできるようにする
28	評価のプロセスと視点② (事例を用いて記録)	テキスト第2章7節を読み、評価の内容において理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、評価の意義や目的、評価が適切にできるようにする
29	利用者を全人的に捉える観察・確認視点を活用した情報整理について(映像事例を活用) グループホーム利用者の生活DVDを活用	テキスト第1章、第2章、第4章1節、配布資料を読み、これまでの学習を振り返る	演習を振り返り、これまでの学習における疑問点や課題を明らかにする
30	利用者を全人的に捉える観察・確認視点を活用した情報整理について(映像事例を活用) グループホーム利用者の生活DVDを活用	テキスト第1章、第2章、第4章1節、配布資料を読み、これまでの学習を振り返る	演習を振り返り、これまでの学習における疑問点や課題を明らかにする

講義名	9050003300 介護過程Ⅱ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ			

学習目標(到達目標)

1. 観察・確認視点を用い、情報の整理や課題抽出ができる。
2. 介護過程のプロセスを理解し、事例を通して計画の立案ができる。
3. 介護過程とケアマネジメントの関係性を理解する。
4. 地域のニーズや社会資源について理解を深める

授業概要(教育目的)

介護過程Ⅰにおいて学習したP.E.I.P及びICFについてシートを活用しながら繰り返し学習し、アセスメント(情報収集と課題分析)の意義や目的の理解を深め、実践で活用できる手法を身に付ける。また、計画の立案、サービスの実施、評価までの流れを具体事例において体験的に学習していく。
更に介護過程とケアマネジメントの関係性やケアプランと個別援助計画の相違など理解を深める。ケアマネジメントについては事例や、実習での様子を振り返りながら、地域の実情(サービス種別や内容)をまとめ、介護過程Ⅲにつなげる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、介護過程を展開できるようになることを目指す。

評価方法

定期試験・グループワークの状況・レポート課題を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座9　介護過程　中央法規出版

資格との関連

介護福祉士資格取得に向けた専門科目

学生へのメッセージ

介護過程は、科学的な根拠に基づいた介護実践に向け、中核となる科目である。主体的に学ぶことを意識し、講義やワークに参加してほしい。
また、地域にあるフォーマル・インフォーマルなサービスに関心を持ち、サービス(内容)や特徴を調べ、自分なりにまとめておくようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	観察から見える介護福祉実践と専門性を振り返る	介護過程Ⅰで学習した、観察・確認視点やテキスト第1.2章、第4章第1節を読み、疑問や課題をまとめておく	テキストの該当箇所や資料を読む。
2	観察から見える介護福祉実践と専門性を振り返る	介護過程Ⅰで学習した、観察・確認視点やテキスト第1.2章、第4章第1節を読み、疑問や課題をまとめておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題に取り組む
3	P.I.P.Eシートを活用し、利用者の課題を分析する(食事の場面)	P.I.P.Eシートの使い方や記載内容、観察視点を振り返る	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題に取り組む
4	P.I.P.Eシートを活用し、利用者の課題を分析する(排泄の場面)	P.I.P.Eシートの使い方や記載内容、観察視点を振り返る	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
5	ICFシートを活用し、利用者の課題を分析する (解説)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	演習を振り返ったり、テキストの該当箇所や資料を読む。
6	ICFシートを活用し、利用者の課題を分析する (事例を活用した演習)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	演習を振り返ったり、テキストの該当箇所や資料を読む。
7	利用者ニーズから導き出す個別援助計画の短期目標と長期目標について	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	演習を振り返ったり、テキストの該当箇所や資料を読む。
8	利用者ニーズから導き出す個別援助計画の短期目標と長期目標について (事例を活用した演習)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 テキストの演習、課題に取り組む
9	利用者ニーズに基づいた介護計画の立案Ⅰ (重度の障害がある人の生活支援) ・アセスメント、ICFシートの記載	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
10	利用者ニーズに基づいた介護計画の立案Ⅰ (重度の障害がある人の生活支援) ・介護過程表、介護計画書の作成	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
11	利用者ニーズに基づいた計画の立案Ⅱ (一人暮らし高齢者の生活支援) ・アセスメント～計画書作成	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題に取り組む
12	立案した計画書をもとにケースカンファレンスを行う (カンファレンスを体感的に学習する)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
13	利用者ニーズに基づいた計画の立案Ⅲ 施設入所者の生活を理解し計画書を作成する	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
14	利用者ニーズに基づいた計画の立案Ⅲ 作成した計画書をもとにケースカンファレンス を行う	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
15	ケアマネジメントの全体像を理解する	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
16	介護過程とケアマネジメントの関係性を改めて確認する(グループワーク)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
17	ケアマネジメントの実際を映像事例を視聴し確認する	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
18	ケアマネジメントの実際を映像事例を視聴し確認する。	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
19	ケアプランと個別援助計画の関係性(解説)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
20	ケアプランと個別援助計画の関係性(事例を用いて確認する)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
21	在宅生活を支援している実際事例について(実習の振り返り)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
22	在宅生活を支援している実際事例について(実習の振り返り)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
23	在宅生活で活用できる社会資源の調査(グループワーク)	地域にある社会資源について、文献、インターネット等を活用し、調査しておく	グループ発表の準備
24	在宅生活で活用できる社会資源の調査(グループワーク)	地域にある社会資源について、文献、インターネット等を活用し、調査しておく	グループ発表の準備
25	社会資源調査の発表(グループ)	グループ発表の準備	各グループの内容を振り返り、地域における社会資源についてまとめてお
26	社会資源調査の発表(グループ)	グループ発表の準備	各グループの内容を振り返り、地域における社会資源についてまとめてお
27	個別支援計画における具体的な支援内容 家族への説明と同意と家族支援(解説)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
28	個別支援計画における具体的な支援内容 家族への説明と同意と家族支援(事例を活用し理解を深める)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組む
29	介護計画の継続性と修正 介護過程における評価のプロセスと実際	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	総合的な振り返りと、自身の課題をまとめておく
30	介護計画の継続性と修正 介護過程における評価のプロセスと実際 (事例を用いて確認する)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	総合的な振り返りと、自身の課題をまとめておく

講義名	9050003400 介護過程Ⅲ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ		

学習目標(到達目標)

1. 尊厳の保持や自立へ向けた支援を基本に，本人やその家族のニーズに照らした介護過程の展開ができ、実習施設や実践の場で活用する技能を習得する。
2. チームアプローチの必要性や介護福祉士としての役割を熟知し、利用者支援の場で多職種と連携し、チームの一員として積極的に関わることができる。

授業概要(教育目的)

終末期における介護など、様々な事例を通して、利用者の状況に応じた介護過程の展開について具体的に学習する。また多職種連携の意義や必要性を理解し、介護福祉士が関わる職種や機関などと上手に連携できる方法やポイント話し合い、グループごとにまとめていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、介護過程を展開できるようになることを目指す。

評価方法

定期試験、課題の提出状況、グループワークの状況を踏まえ総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座9　介護過程　9」第2版　中央法規出版

資格との関連

介護福祉士資格取得に向けた専門科目

学生へのメッセージ

介護過程は、科学的な根拠に基づいた介護実践に向け、中核となる科目である。主体的に学ぶことを意識し、講義やワークに参加してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	観察から見える介護福祉実践について振り返る	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	介護福祉士の専門性についてまとめる
2	事例を通して、介護過程について振り返る	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	介護過程について振り返り、自身の課題を明らかにする
3	訪問介護計画書の作成方法を学習する	訪問介護計画書について文献及びインターネットで調査しておく	配布資料を確認する
4	事例を用いて訪問介護計画書を作成する	事例と共に作成した計画書を見直す	配布資料や作成した計画書を見直す
5	通所介護計画書の作成方法を学習する	通所介護計画書について文献及びインターネットで調査しておく	配布資料を確認する
6	事例を用いて通所介護計画書を作成する	事例と共に作成した計画書を見直す	配布資料や作成した計画書を見直す
7	介護計画を作成するⅠ① (在宅でターミナルを迎える高齢者と家族の生活支援) インテークシート、ICFシートの作成	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	事例を振り返り、適切な支援につながる計画になっているか見直し、修正する。
8	介護計画を作成するⅠ② (在宅でターミナルを迎える高齢者と家族の生活支援) 課題整理表、介護計画書の作成	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	事例を振り返り、適切な支援につながる計画になっているか見直し、修正する。
9	介護計画を作成するⅡ① (片麻痺のあインテークシート、ICFシートの作成る高齢者の夢の実現に向けた支援) インテークシート、ICFシートの作成	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	事例を振り返り、適切な支援につながる計画になっているか見直し、修正する。
10	介護計画を作成するⅡ② (片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援) 課題整理表、介護計画書の作成	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	事例を振り返り、適切な支援につながる計画になっているか見直し、修正する。
11	介護計画を作成するⅢ ① (雪国における一人暮らしの高齢者の支援) インテークシート、ICFシートの作成	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	事例を振り返り、適切な支援につながる計画になっているか見直し、修正する。
12	介護計画を作成するⅢ ② (雪国における一人暮らしの高齢者の支援) 課題整理表、介護計画書の作成	介護過程Ⅰ・Ⅱで使用した資料の中で、該当箇所を振り返る。 テキストの該当箇所を熟読する。	事例を振り返り、適切な支援につながる計画になっているか見直し、修正する。
13	多職種との連携の方法とポイント (③ ～⑤までの介護計画において必要とされた専門職とサービス内容から多職種との連携の方法とポイントをまとめる)	テキスト第4章2節を熟読し、介護過程において、多職種連携の必要性や意義をまとめておく	多職種連携の方法とポイントをまとめる
14	多職種連携の方法とポイントをグループごとに発表する	グループの発表の準備	グループ発表の準備
15	介護過程全体の振り返り	配布した国家試験問題に取り組む	介護過程の資料及びテキストを見直す

講義名	9050003500	介護総合演習Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

1 介護実習の意義と方法を理解できる。
2 実習先となる施設の概要や介護サービスの内容を理解できる。
3 実習生として望ましい姿勢を理解できる。
4 職員や利用者との望ましいコミュニケーションのしかたを理解できる。
5 介護福祉士に求められる守秘義務を守り、実習で知り得る個人情報の保護に努めることができる。
6 地域における多職種との連携・協働の必要性を理解できる。
7 実習が、各領域での学習で得られた知識と技術を統合する機会であることを理解できる。
8 実習記録の方法を理解できる。

授業概要(教育目的)

実習をより効果的に行えるように、各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。そのため、ここでは実習に必要な知識・技術の習得を図るとともに、実習を振り返り、次の実習に向けた自己の課題を明確にする内容とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

レポート提出のほか、グループ討議、報告会発表の状況を踏まえ、総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

実習日誌などの記録物の指導や生活支援技術の指導には、教員が個別に行う。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座第10巻　介護総合演習・介護実習」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格

学生へのメッセージ

実習での不安を少なくするために、しっかりと実習準備に取り組んでほしい。準備に時間と手間を掛けた分だけ実習での学びも大きくなると思って取り組んで欲しい。

実務との関連

教員は、介護福祉士専門職としての経験を有しており、介護現場を意識した実践的な指導を行うことができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習Ⅰの意義と方法について	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
2	実習に向けた学習方法と実習室の使い方	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
3	実習に向けたベッドサイド技術の練習	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
4	実習となる介護サービスの特徴①	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
5	実習となる介護サービスの特徴②	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
6	知識と技術の統合:実習想定モデル①「利用者の介護ニーズの理解」	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
7	知識と技術の統合:実習想定モデル②「根拠に基づいた生活支援技術の理解」	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
8	知識と技術の統合:実習想定モデル③「地域における多職種協働・連携」	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
9	実習先での報告、連絡、相談、カンファレンスの方法	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
10	実習生に求められる倫理観と個人情報の取り扱い/実習におけるリスクマネジメントとトラブル時の対応方法	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
11	実習記録および実習関係書類の書き方①	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
12	実習Ⅰ(前半)振り返り	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
13	実習Ⅰ(後半)事前指導①	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
14	実習Ⅰ(後半)事前指導②	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
15	実習Ⅱ事前指導	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。

講義名	9050003600	介護総合演習Ⅱ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　絵美			

学習目標(到達目標)

1. 介護実習の意義と方法を理解できる。
2. 実習先となる施設の概要や介護サービスの内容を理解できる。
3. 実習生として望ましい姿勢を理解できる。
4. 職員や利用者との望ましいコミュニケーションのしかたを理解できる。
5. 介護福祉士に求められる守秘義務を守り、実習で知り得る個人情報の保護に努めることができる。
6. 地域における多職種との連携・協働の必要性を理解できる。
7. 実習が、各領域での学習で得られた知識と技術を統合する機会であることを理解できる。
8. 実習記録の方法を理解できる。
9. 受け持ち利用者の情報収集を行ない、介護過程の展開を理解する。

授業概要(教育目的)

各領域で学んだ知識・技術を統合し、ICFの視点による受け持ち利用者の情報収集を目指す学習とする。また、実習先での介護参加ができるように生活支援技術の復習を行なう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

試験のほか、報告会発表の状況を踏まえ、総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題の評価は、担当教員が個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座第10巻　介護総合演習・介護実習」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格

学生へのメッセージ

実習での不安を少なくするために、しっかりと実習準備に取り組んでほしい。準備に時間と手間を掛けた分だけ実習での学びも大きくなると思って取り組むこと。

実務との関連

教員は、介護福祉士や社会福祉士などの介護関連資格と専門職としての経験を有しており、介護現場を意識した実践的な指導を行うことができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	介護実習Ⅰ・Ⅱ振り返り 介護実習Ⅰ・Ⅱ実習報告会資料作成	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
2	介護実習Ⅰ・Ⅱ実習報告会資料作成	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
3	介護実習Ⅰ・Ⅱ実習報告会	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
4	介護実習Ⅲの意義と方法について	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
5	介護実習Ⅲ事業所調べ	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
6	介護実習Ⅲ事業所調べ 介護実習Ⅲ手引の説明	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
7	生活支援技術の振り返り①	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
8	生活支援技術の振り返り②	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
9	介護実習Ⅲ事前指導	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
10	介護実習Ⅲ振り返り 介護実習Ⅲ実習報告会資料作成	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
11	介護実習Ⅲ振り返り 介護実習Ⅲ実習報告会資料作成	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
12	介護実習Ⅲ振り返り 介護実習Ⅲ実習報告会	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
13	生活支援技術の復習①	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
14	生活支援技術の復習②	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。
15	生活支援技術の復習③	予習として、学科で学び得た知識と技術を復習しておくこと。	自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。

講義名	9050003700	介護総合演習Ⅲ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　絵美			

学習目標(到達目標)

1. 利用者の言動の意味を考えることができる。
2. 多方面から利用者のニーズを捉え、介護過程の展開ができる。
3. 実習に主体的に取り組むことができる。
4. 介護実践における根拠の必要性が理解できる。
5. 知識と技術を統合できる。

授業概要(教育目的)

介護実習Ⅱでの一連の介護過程の展開を利用者の状態に照らし合わせて評価、考察し、介護計画を修正することができる。介護実習で主体的に行動できるようにする。根拠をもって介護実践の科学的探求ができるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

・あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること
・利用者や家族のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力および介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけていること

評価方法

受講態度20点、グループ討議、発表への貢献度　40点、レポート提出　40点

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

「ワークで学ぶ介護実習」（㈱）みらい・実習体験レポート
「介護実習への挑戦」ミネルヴァ書房介護総合演習　中央法規

講義時使用テキスト

介護総合演習・介護実習　　中央法規

資格との関連

学生へのメッセージ

利用者の言動の意味するところを考えられるように振り返りが大切となります。利用者の尊厳や自立、権利や価値、生活状況等心身の状態を多方面から捉え、他科目で学習した知識・技術を統合・応用し、介護過程の展開が学べるようにしてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	介護事前指導①	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	介護事前指導②	テキストの該当箇所を読む	実習に向けた必要書類を期日までに提出する。
3	介護事前指導③	テキストの該当箇所を読む	実習に向けた必要書類を期日までに提出する。
4	介護事前指導④	テキストの該当箇所を読む	実習に向けた必要書類を期日までに提出する。
5	事例検討	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	介護過程の展開(事例)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	介護過程の展開(事例)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	事例検討	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	介護過程の展開①	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	介護過程の展開②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	介護事後指導①	テキストの該当箇所を読む	実習に向けた必要書類を期日までに提出する。
12	介護事後指導②	テキストの該当箇所を読む	実習に向けた必要書類を期日までに提出する。
13	介護事後指導③	テキストの該当箇所を読む	実習に向けた必要書類を期日までに提出する。
14	介護事後指導④	テキストの該当箇所を読む	実習に向けた必要書類を期日までに提出する。
15	実習報告会	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9050003800	介護総合演習Ⅳ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ		

学習目標(到達目標)

1. 事例研究の必要性が理解できる。
2. 根拠のある介護を実践し、論理的説明の必要性がわかる。
3. 事例研究をまとめ、発表することができる。
4. 自己研鑽の必要性を理解できる。
5. 自己の介護観を明確にできる。

授業概要(教育目的)

事例研究や発表を通して、自己の提供する介護について利用者や家族、他職種に対して論理的な説明ができる必要性を理解する。介護実践の科学的探求、介護の実践的改善につながる問題解決技法の習得の必要性についても理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

・あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること
・利用者や家族のためのコミュニケーション能力、的確な記録・記述ができる能力および介護過程を多職種協働チームにより展開できる能力を身につけていること

評価方法

レポート課題、成果発表のプレゼンテーションなどの取り組み状況を踏まえ、総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

提出したレポートなどは、評価したのち返却する。

参考文献

「基礎演習とプレゼンテーションの手引き」八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部
「ワークで学ぶ介護実習」（㈱）みらい・実習体験レポート

講義時使用テキスト

最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習　介護実習」中央法規出版

資格との関連

介護福祉士資格取得に向けた専門科目

学生へのメッセージ

最終的には、報告会の形式で学生一人ひとりが介護福祉に関するテーマで発表する。準備過程の中で、文書作成や資料検索など、パソコンを常に個人使用する状況となるため、自分用のパソコンを用意することが望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	事例研究の意義・目的	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	事例研究のテーマ設定	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	事例研究のまとめ方①	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	事例研究のまとめ方②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	事例研究のまとめ①	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	事例研究のまとめ②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	事例研究のまとめ③	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	事例研究のまとめ④	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	事例研究のまとめ⑤	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	事例研究のまとめ⑥	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	事例研究のまとめ⑦	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	事例研究のまとめ⑧	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	事例研究のまとめ⑨	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	事例研究の発表のしかた	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	事例研究発	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9050003900 介護実習Ⅰ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

1. 介護を必要とする人とのかかわりを通して、介護ニーズを総合的に理解できる。
2. 介護を必要とする人々および介護従事者との人間関係を築くことができるためのコミュニケーション技術を身につける。
3. 実習施設・事業所の機能と地域における役割を理解できる。
4. 介護福祉士の職務を理解し、チームワークおよび職種間の連携・協働について理解できる。
5. 権利擁護の視点から、介護福祉士の職業倫理を理解できる。
6. 自己を客観視し、自己の課題を明確化するとともに自己理解を深めることができる。

授業概要(教育目的)

地域での生活を支える介護サービス事業所の取り組みに参加することで、利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、これに併せて利用者や家族との関わりを通したコミュニケーションの実践、多職種協働の実践、介護技術の確認となる学習とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、根拠ある介護を展開することを目指す。

評価方法

1. 介護実習は出席次数の4／5以上を満たす時間であること。
2. 介護実習の目標に到達できた者。
3. 評価項目の合計が60点以上であること。
4. 実習施設の評価をもとに実習担当教員が総合的に判断し単位認定する。

課題に対するフィードバック

実習中は、業務見学や業務参加を通して、実習指導者や施設職員が指導や助言を行う。実習日誌などの記録物の指導には、巡回指導教員などの本学専任教員が指導や助言を行う。

参考文献

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座第10巻　介護総合演習・介護実習」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格

学生へのメッセージ

介護実習では、利用者個人の生活スペースに入ることになるため、身だしなや礼節をしっかりと日常から備えておくのが望ましい。あいさつなどの基本的な姿勢も、介護福祉士に必要な資質であるということを自覚して、学生生活のうちから身につけておくようにしてほしい。

実務との関連

実習指導者は、豊富な介護経験と実習指導者資格を有する介護福祉士が担うため、実践的な視点から指導を行う。巡回指導教員も、介護福祉士や社会福祉士、ケアマネジャーなどの介護関連資格と専門職としての経験を有しており、実習指導者と協力した実践的な指導を行うことができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	通所介護サービスを行う事業所での介護実習 期間:7日間 ＜実習内容＞ ① 施設の概要および介護サービス事業の理解 ② 利用者の地域生活に関係する社会資源の理解 ③ 介護現場で行われている生活支援の理解 ④ 職員との関わりを通じた多職種協働の理解 ⑤ 利用者のライフスタイルとケアの個別性の理解 ⑥ 権利擁護・職業倫理の理解 ⑦ 利用者や家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践	在宅型介護サービスを学ぶ本実習では、在宅の利用者の世帯ごとに違う介護ニーズを学ぶため、「こころとからだのしくみ」の科目などを振り返り基本的な心身の理解をしておくとともに、「社会の理解」の科目などを振り返り多能な生活ニーズを“家族”という視点から捉えられるようにしておくこと。また、2年次に学ぶ「レクリエーション」の科目の学習のために、通所介護サービス実習で見学するレクリエーションやアクティビティへの関心を高めておくこと。	実習後は、「こころとからだのしくみ」や「社会の理解」の振り返りだけでなく、次の「実習Ⅱ(地域密着型サービス実習)」に備えて、自分が不足している学習に取り組むこと。実習後は、介護総合演習Ⅰで行われる実習報告会で報告できるように、実習での学びを振り返っておくこと。
2	訪問介護サービスを行う事業所での介護実習 期間:5日間 ＜実習内容＞ ① 施設の概要および介護サービス事業の理解 ② 利用者の地域生活に関係する社会資源の理解 ③ 介護現場で行われている生活支援の理解 ④ 職員との関わりを通じた多職種協働の理解 ⑤ 利用者のライフスタイルとケアの個別性の理解 ⑥ 権利擁護・職業倫理の理解 ⑦ 利用者や家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践	在宅型介護サービスを学ぶ本実習では、在宅の利用者の世帯ごとに違う介護ニーズを学ぶため、「こころとからだのしくみ」の科目などを振り返り基本的な心身の理解をしておくとともに、「社会の理解」の科目などを振り返り多能な生活ニーズを“家族”という視点から捉えられるようにしておくこと。また、2年次に学ぶ「レクリエーション」の科目の学習のために、通所介護サービス実習で見学するレクリエーションやアクティビティへの関心を高めておくこと。	実習後は、「こころとからだのしくみ」や「社会の理解」の振り返りだけでなく、次の「実習Ⅱ(地域密着型サービス実習)」に備えて、自分が不足している学習に取り組むこと。実習後は、介護総合演習Ⅰで行われる実習報告会で報告できるように、実習での学びを振り返っておくこと。

講義名	9050004000 介護実習Ⅱ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

1. 介護を必要とする人とのかかわりを通して、介護ニーズを総合的に理解できる。
2. 介護を必要とする人々および介護従事者との人間関係を築くことができるためのコミュニケーション技術を身につける。
3. 実習施設・事業所の機能と地域における役割を理解できる。
4. 介護福祉士の職務を理解し、チームワークおよび職種間の連携・協働について理解できる。
5. 権利擁護の視点から、介護福祉士の職業倫理を理解できる。
6. 自己を客観視し、自己の課題を明確化するとともに自己理解を深めることができる。
7. 介護ニーズを把握し、根拠に基づいた生活支援を実践できる。

授業概要(教育目的)

地域での生活を支える介護サービス事業所の取り組みに参加することで、利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、これに併せて利用者や家族との関わりを通したコミュニケーションの実践、多職種協働の実践、介護技術の確認となる学習とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、根拠ある介護を展開することを目指す。

評価方法

1. 介護実習は出席次数の4／5以上を満たす時間であること。
2. 介護実習の目標に到達できた者。
3. 評価項目の合計が60点以上であること。
4. 実習施設の評価をもとに実習担当教員が総合的に判断し単位認定する。

課題に対するフィードバック

実習中は、業務見学や業務参加を通して、実習指導者や施設職員が指導や助言を行う。実習日誌などの記録物の指導には、巡回指導教員などの本学専任教員が指導や助言を行う。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座第10巻　介護総合演習・介護実習」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格

学生へのメッセージ

実習Ⅰの実習内容に加えて、生活支援技術の実践が含まれてくるため、生活支援技術を習得しておくことが望まれる。そのため、授業の時間のみにかかわらず、日常的に生活支援技術を学生同士で練習してほしい。

実務との関連

実習指導者は、豊富な介護経験と実習指導者資格を有する介護福祉士が担うため、実践的な視点から指導を行う。巡回指導教員も、介護福祉士や社会福祉士、ケアマネジャーなどの介護関連資格と専門職としての経験を有しており、実習指導者と協力した実践的な指導を行うことができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域に密着した介護事業所での介護実習 期間:12日間 ＜実習内容＞ ① 施設の概要および介護サービス事業の理解 ② 利用者の地域生活に関係する社会資源の理解 ③ 介護現場で行われている生活支援の理解 ④ 職員との関わりを通じた多職種協働の理解 ⑤ 利用者のライフスタイルとケアの個別性の理解 ⑥ 権利擁護・職業倫理の理解 ⑦ 利用者や家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践 ⑧ 根拠に基づいた生活支援技術の実践	地域密着型サービスを学ぶ本実習では、利用者の地域生活の継続を果たすべく施設が行っている取り組みを学ぶため、「こころとからだのしくみ」の科目などを振り返り基本的な心身の理解をしておくとともに、「社会の理解」の科目などを振り返り“地域”という視点から介護サービスを捉えられるようにしておくこと。特に本実習は、実習Ⅰよりも利用者の身体介護ニーズが高くなり、生活支援技術の見学や体験が含まれてくるため、「生活支援技術」での知識と技術を、介護実習室などで学生相互の演習を通し、確認しておくことが望ましい。また、2年次に学ぶ「レクリエーション」の科目の学習のために、実習施設内で行われるレクリエーションやアクティビティへの関心を高めておくこと。	実習後は、「こころとからだのしくみ」「生活支援技術」などの自分が不足している知識・技術の習得に取り組むこと。実習後は、介護総合演習で行われる実習報告会で報告できるように、実習での学びを振り返っておくこと。

講義名	9050004100 介護実習Ⅲ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　絵美			

学習目標(到達目標)

1. 介護を必要とする人とのかかわりを通して、介護ニーズを総合的に理解できる。
2. 介護を必要とする人々および介護従事者との人間関係を築くことができるためのコミュニケーション技術を身につける。
3. 実習施設・事業所の機能と地域における役割を理解できる。
4. 介護福祉士の職務を理解し、チームワークおよび職種間の連携・協働について理解できる。
5. 権利擁護の視点から、介護福祉士の職業倫理を理解できる。
6. 自己を客観視し、自己の課題を明確化するとともに自己理解を深めることができる。
7. 介護ニーズを把握し、根拠に基づいた生活支援を実践できる。
8. 全人的な視点から受け持ち利用者の情報収集を行い、ICFに基づいて情報を整理することができる。

授業概要(教育目的)

地域での生活を支える介護サービス事業所の取り組みに参加することで、利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、これに併せて利用者や家族との関わりを通したコミュニケーションの実践、多職種協働の実践、介護技術の確認となる学習とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、根拠ある介護を展開することを目指す。

評価方法

1. 介護実習は出席次数の4／5以上を満たす時間であること。
2. 介護実習の目標に到達できた者。
3. 評価項目の合計が60点以上であること。
4. 実習施設の評価をもとに実習担当教員が総合的に判断し単位認定する。

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

「新・介護福祉士養成講座第10巻　介護総合演習・介護実習第3版」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

学生へのメッセージ

本実習では、利用者を学生ごとに受け持ち、情報収集として心身や環境などの状態把握を行うことになるため、既習の知識をすべて活用できるよう復習をしておくことが望まれる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	9050004200 介護実習Ⅳ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分		対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ			

学習目標(到達目標)

1. 介護を必要とする人とのかかわりを通して、介護ニーズを総合的に理解できる。
2. 介護を必要とする人々および介護従事者との人間関係を築くことができるためのコミュニケーション技術を身につける。
3. 実習施設・事業所の機能と地域における役割を理解できる。
4. 介護福祉士の職務を理解し、チームワークおよび職種間の連携・協働について理解できる。
5. 権利擁護の視点から、介護福祉士の職業倫理を理解できる。
6. 自己を客観視し、自己の課題を明確化するとともに自己理解を深めることができる。
7. 介護ニーズを把握し、根拠に基づいた生活支援を実践できる。
8. 全人的な視点から受け持ち利用者の情報収集を行い、ICFに基づいて情報を整理することができる。

授業概要(教育目的)

地域での生活を支える介護サービス事業所の取り組みに参加することで、利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、これに併せて利用者や家族との関わりを通したコミュニケーションの実践、多職種協働の実践、介護技術の確認となる学習とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、根拠ある介護を展開することを目指す。

評価方法

1. 介護実習は出席次数の4／5以上を満たす時間であること。
2. 介護実習の目標に到達できた者。
3. 評価項目の合計が60点以上であること。
4. 実習施設の評価をもとに実習担当教員が総合的に判断し単位認定する。

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

「新・介護福祉士養成講座第10巻　介護総合演習・介護実習第3版」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

介護福祉士資格取得のための専門科目

学生へのメッセージ

本実習は、受け持ち利用者の介護計画の実施を行うため、生活支援技術など知識と技術を総合的に必要とする。よって、すべての学習を実習前までに復習しておくことが望まれる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	入所型の介護施設を実習施設として、そこに勤務する実習指導者をはじめとした職員や本学の巡回指導教員から指導を受けながら、介護福祉士に必要な知識と技術の習得に励み、介護過程の展開を行う。(介護計画の実施) ① 施設の概要および介護サービス事業の理解 ② 利用者の地域生活に関係する社会資源の理解 ③ 介護現場で行われている生活支援の理解(夜間を含む) ④ 職員との関わりを通じた多職種協働の理解 ⑤ 利用者のライフスタイルとケアの個別性の理解 ⑥ 権利擁護・職業倫理の理解 ⑦ 利用者や家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践 ⑧ 根拠に基づいた生活支援技術の実践 ⑨ 介護計画立案を中心とした介護過程の展開の実践		

講義名	9050004300	発達と老化の理解Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	柏葉　英美			

学習目標(到達目標)

1. 人間の成長と発達が理解できる。
2. 老年期の発達と成熟が理解できる。
3. 老化に伴うこころとからだの変化と日常生活が理解できる。

授業概要(教育目的)

人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクル(乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、老年期)の各期における身体的、心理的、社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病など、生活に必要な支援をするために必要な知識を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。
個人の尊厳を重んじ、倫理観のある行動をとれる。。

評価方法

定期試験70%、課題学習への取り組み20%、グループワークの参加状況10%により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(小テスト)は模範解答を示す。
授業のなかで解説する。

参考文献

コミュニティケア;日本看護協会出版会(定期出版雑誌)

講義時使用テキスト

新・介護福祉士養成講座11;発達と老化の理解;中央法規

資格との関連

介護福祉士資格取得の必修科目である。

学生へのメッセージ

【予習】予習テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておくこと。
【復習】授業の内容を整理し、疑問点はそのままにせず、調べておくこと。

実務との関連

看護師および専任看護教員、大学教員(社会福祉学部)として、臨床と教育に携わった経験を活かし、理論に基づいた実践について、具体的に講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	人間の成長と発達1:発達とは	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
2	人間の成長と発達2:人間の発達段階と発達課題①	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
3	人間の成長と発達3:人間の発達段階と発達課題②	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
4	人間の成長と発達4:発達と個人差①	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
5	人間の成長と発達5:発達と個人差②	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
6	老年期の発達と成熟1:老化とは	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
7	老年期の発達と成熟2:老年期の発達課題の留意点	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
8	老化に伴うこころの変化と日常生活1:老化が及ぼす心理的影響	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
9	老化に伴うこころの変化と日常生活2:老いの価値観・受容①	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
10	老化に伴うこころの変化と日常生活3:老いの価値観・受容②	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
11	老化に伴うこころの変化と日常生活4:高齢者のこころの問題と精神障害	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
12	老化に伴うからだの変化と日常生活1:からだの変化と日常生活へ影響①	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
13	老化に伴うからだの変化と日常生活2:からだの変化と日常生活へ影響②	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
14	老化に伴うからだの変化と日常生活3:知的機能の変化と日常生活へ影響①	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。
15	老化に伴うからだの変化と日常生活4:知的機能の変化と日常生活へ影響②	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテストで知識の確認をする。

講義名	9050004400	発達と老化の理解Ⅱ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	柏葉　英美			

学習目標(到達目標)

1. 高齢者と健康が理解できる。
2. 保健医療職との連携が理解できる。

授業概要(教育目的)

1. 老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や高齢者に多くみられる疾患とその症状、生活への影響、健康の維持・増進、予防を含め、生活を支援するために必要な基礎的な知識を理解する。
2. 高齢社会における保健医療職とのチームケアの必要性と連携のポイントを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。
個人の尊厳を重んじ、倫理観のある行動をとれる。

評価方法

定期試験70%、課題学習への取り組み20%、グループワークの参加状況10%により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(小テスト)は模範解答を示す。
授業のなかで解説をする。

参考文献

発達と老化の理解;メジカルフレンド社　・国民衛生の動向;厚生統計協会編

講義時使用テキスト

新・介護福祉士養成講座12;発達と老化の理解;中央法規

資格との関連

介護福祉士資格取得の必修科目である。

学生へのメッセージ

【予習】予習テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておくこと。
【復習】授業の内容を整理し、疑問点はそのままにせず、調べておくこと。
振り返りテストを行い知識の確認をすること。

実務との関連

看護師および専任看護教員、大学教員(社会福祉学部)として、臨床と教育に携わった経験を活かし、理論に基づいた実践について、具体的に講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 健康長寿にむけての健康	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
2	2. 高齢者に多い症状・疾患の特徴	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
3	3. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ①骨格系・筋系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
4	4. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ②脳・神経系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
5	5. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ③皮膚・感覚系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
6	6. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ④循環器系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
7	7. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑤呼吸器系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
8	8. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑥消化器系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
9	9. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑦腎・泌尿器系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
10	10. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑧内分泌・代謝系	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
11	11. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑨歯・口腔疾患	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
12	12. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑩悪性新生物(がん)	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
13	13. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑪感染症	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
14	14. 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ⑫精神疾患等	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。
15	15. 保健医療職との連携	テキストの熟読	講義内容の確認、疑問点は調べる。 振り返りテスト知識の確認をする。

講義名	9050004500	認知症の理解Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	大塚　基永			

学習目標(到達目標)

1. 認知症対応の変遷や認知症ケアの理念などを通し、認知症を取り巻く状況を理解できる。
2. 医学的側面から、認知症の原因となる疾患を理解できる。
3. 認知症によって起こる心身の変化や心理症状の出現傾向が人によって違い、個別ケアの必要性を理解できる。
4. 認知症によって起こる心身の変化によって、人間関係や生活環境、社会との関連に支障がでることを理解できる。
5. 認知症の人の不安やストレスなどの心理面について理解できる。

授業概要(教育目的)

医学的な視点から、認知症についての基礎知識を習得するとともに、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けていくための支援や地域のありかたについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、レポート課題、グループワークの取り組み状況を踏まえ総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

「新・介護福祉士養成講座第12巻　認知症の理解第3版」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

学生へのメッセージ

認知症ケアに必要なのは、認知症を理解することと、その人を嫌わないことです。認知症の人への合理的配慮を理解し、認知症の人のパートナーとなれるよう、学びを深めていって欲しいと思います。

実務との関連

作業療法士としての日々の経験を活かし、認知症の人に対する包括的な支援について講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	認知症に関する話題・最新情報の紹介	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	認知症の基礎的理解(認知症とは何か)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	認知症の基礎的理解(脳のしくみ)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	認知症の基礎的理解(認知症の人の心理)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	医学的側面から見た認知症の基礎①中核症状の理解②行動心理症状の理解③生活障害の理解	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	医学的側面から見た認知症の基礎④認知症原因疾患と症状【その1】(アルツハイマー型認知症)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	医学的側面から見た認知症の基礎④認知症原因疾患と症状【その2】(レビー小体型認知症・血管性認知症)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	医学的側面から見た認知症の基礎④認知症原因疾患と症状【その3】(前頭側頭型認知症・若年性認知症・その他)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	認知症の診断と治療法	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	認知症の人とのコミュニケーション	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	認知症の人の環境づくり、認知症予防	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	認知症ケアの実際①	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	認知症ケアの実際②、認知症の理解①(演習)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	認知症の理解②(演習)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	障害を抱えて生きることへの支援(認知症高齢者の現状と今後)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9050004600 認知症の理解Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	高橋　英成			

学習目標(到達目標)

1. 認知症の人の生活を環境面から捉え、家族や社会との関わりによる認知症への影響を理解できる。
2. 多職種が連携・協働する支援のありかたを理解する。
3. 認知症の人の家族が抱える生活の大変さと、求められる支援について理解する。

授業概要(教育目的)

1. 本人主体の認知症ケアの実践ができるよう、その人の特性を踏まえたアセスメントの視点を学習する。
2. 認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制を学習する。
3. 家族の受容段階や介護力に応じた支援を学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、レポート課題、グループワークの取り組み状況を踏まえ総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

「最新・介護福祉士養成講座第13巻　認知症の理解(第2版)」
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

資格との関連

学生へのメッセージ

「認知症の理解Ⅰ」での学びを生かす授業となるため、前期での既習内容を確認して、授業に臨んでほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	パーソンセンタードケア	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
2	認知症の人の理解とアセスメント①	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
3	認知症の人の理解とアセスメント②	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
4	認知症の人とのコミュニケーション①	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
5	認知症の人とのコミュニケーション②	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
6	認知症の人へのケア(ADL、BPSDなどへの対応)	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
7	ユマニチュード	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
8	認知症の人へのアプローチ方法	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
9	バリデーション	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
10	認知症の人の終末期医療と介護	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
11	認知症の人のための環境づくり	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
12	介護者支援①(家族への支援)	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
13	介護者支援②(介護福祉職への支援)	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
14	地域包括ケアシステムにおける認知症ケア	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
15	他職種連携と協働	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関係する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。

講義名	9050004700 障害の理解Ⅰ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦		

学習目標(到達目標)

本科目では、障がいの概念や障害者福祉の基本理念を学習し、肢体不自由、内部障がい、視・聴覚障がい、言語障がい、発達障がい、精神障がいなどの障がいの定義や原因のほか、障がいを持つ人の心身機能と生活に関する基礎的知識を習得する。
・障がいの概念や障がい者福祉の基本理念について説明できる。
・各障がいの定義や原因について説明できる。
・障がい種別ごとに介護上の留意点について説明できる。

授業概要(教育目的)

障がい者福祉の基本理念となるノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンについて学ぶ。また、身体面に障がいのある人や精神面に障がいのある人、および重症心身障がいのある人について、医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点について学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験、レポート、受講態度などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義の進行にあわせて紹介する。

講義時使用テキスト

介護福祉士養成講座編集委員会「障害の理解」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験受験資格取得希望者は必ず受講すること。

学生へのメッセージ

・介護福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目であることから、教科書を読んでから受講するなど、必ず事前準備を行うこと。
・相互授業を目指しているので、担当教員から学生に問いかける形式で講義を展開する予定である。また、質問はいつでも受け付ける。
・講義の進行に併せてレポート課題を課すことがり、提出されたレポートは評価の対象とする。
・欠席回数が一定以上の学生には、期末試験の受験を認めない。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	障害の概念	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	障害者福祉の基本理念	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	障害者福祉に関連する制度	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	障害者福祉制度と介護保険制度	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	障害のある人の心理	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(肢体不自由)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(視覚障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(聴覚・言語障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(重複障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(心臓機能障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(呼吸器機能障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(腎臓機能障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(膀胱・直腸・小腸機能障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	障害別基礎的理解と特性に応じた支援(肝臓機能障害)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	重症心身障害(ゲストティーチャー招聘)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する

講義名	9050004800 障害の理解Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小山田　啓子		

学習目標(到達目標)

1. それぞれの障害別ごとの身体的、心理的基礎的理解と特性に応じた支援を、自分の言葉で説明することができる。
2. 本人や家族への様々な支援体制を理解し、サービスに繋げることができる。また、課題を抽出することができる。
3. 上記を学ぶことで、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョンの理念が浸透し、その理想とする社会を目指していくという高い意識を持つことができる。

授業概要(教育目的)

様々な障害がある人の心理や身体機能に関する基礎的知識と、特性に伴う生活の理解を習得する。さらに、障害のある人の自立に向けた生活支援や社会資源、関係機関との連携、課題などをテキスト、参考資料、DVD鑑賞を用いて体験的にも理解を深め、今後の障害福祉を考えていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験・グループワークの状況・レポート課題を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

随時、情報提供していく

講義時使用テキスト

「新・介護福祉士養成講座13　障害の理解」中央法規出版

資格との関連

学生へのメッセージ

皆さんは、「障害」をどう捉えているのでしょうか。この科目を学ぶことで、様々な視点から考えていきましょう。また、障害のあるなしに関わらず、ともにいきいきと人間らしく、その人らしく暮らしていける社会を実現するために、障害のある方を理解することが最も重要です。専門用語も多く、覚えることはたくさんありますが、一緒に頑張りましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	肢体不自由のある人の基礎的理解と特性に応じた支援	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
2	視覚障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
3	聴覚・言語障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援 重複障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
4	内部障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援1(心臓機能障害、肺機能障害、腎機能障害)	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
5	内部障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援2(膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害)	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
6	重症心身障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
7	知的障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
8	精神障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援1	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
9	精神障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援2(DVD鑑賞とグループワーク)	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	DVD鑑賞とグループワークを通して、感じた事、今後の課題などを記載する。
10	高次脳機能障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援1	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
11	高次脳機能障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援2(DVD鑑賞とグループワーク)	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	DVD鑑賞とグループワークを通して、感じた事、今後の課題などを記載する。
12	発達障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援1	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	テキスト、配布資料、WebClassに載せた資料などを使って、論点を整理し、自分の言葉で説明する。
13	発達障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援2(DVD鑑賞とグループワーク)	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	DVD鑑賞とグループワークを通して、感じた事、今後の課題などを記載する。
14	発達障害のある人の基礎的理解と特性に応じた支援3(DVD鑑賞)	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	発達障害別の特性の再確認をしておく
15	難病のある人の基礎的理解と特性に応じた支援	事前に示した論点を、テキスト、資料を使って予習してくる。	この科目で学んだ障害別の基礎的理解、特性に応じた支援のポイントを復習する。

講義名	9050004900	こころとからだのしくみⅠ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小山田　啓子			

学習目標(到達目標)

①脳の持つしくみの概要(大脳皮質の機能局在、大脳辺縁系、大脳基底核の機能)を理解し、この知識を使い、事例のメカニズムを他者に説明出来る。
②認知、学習・記憶、思考、感情、意欲・動議づけ、適応、パーソナリティーなどこころの心理学的側面の基礎的しくみについて理解し、事例を用いて他者に説明出来る。

授業概要(教育目的)

対象者の思いを知ることは、介護実践における根拠の1つとして重要な位置づけとなる。そのため、心理学的側面からのこころのしくみの諸理論を理解し、それを基盤として対象者のこころの状態を推論、的確に判断し、適切な生活支援を実施できるようになる。また、多職種との協働のため、介護の専門職として、対象者のこころの状態を説明できる力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験80%　提出物や授業での発言など学習への取り組み　20%
まとめ問題は提出物として評価し、随時行う小テストは、評価の対象に入れない。

課題に対するフィードバック

各授業の終了時にまとめ問題を渡すので、2日後の10時までに提出する事。間違えた部分のみチェックをして返却するので、もう一度調べ直すこと。また、各授業時間冒頭に、まとめ問題に準じた小テストを行う。正解はWebClassに掲載するので、自己採点する事。質問は、随時受け付ける。

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　11 「こころとからだのしくみ」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。

学生へのメッセージ

こころのしくみを理解するとは、脳の機能を理解することといえる。脳の理解というと難しいと思いがちだが、自分のこころの動きの不思議「なぜ？」「どうして？」から「へえー。そうなんだ」と知ることができるのは、とても楽しいことである。さらに、理解したことを日々の行動変容に結びつける本物の学びは、あなたたちの人生を豊かにしてくれる。私も、授業研究を深め、皆さんと共に学んでいきたい。また、解剖生理学など科学は、日々目覚ましいスピードで発達している。新たな知見によって、これまでの常識が覆されることもあるかもしれないを理解し、知識を更新していくためにも、好奇心を持って学んでほしい。
各授業の教員資料を、WebClassに資料添付するので、復習に活用してほしい。

実務との関連

看護師として、大学付属病院、特別養護老人ホーム、さらに介護福祉士養成学校に勤務。患者、利用者、家族、学生、そして自己と向き合ってきた実務経験をもとに、こころの状態について具体的に話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	こころとからだのしくみを学ぶ意義 授業での留意点(科目オリエンテーション) 「脳とこころ」DVD鑑賞	テキストの「はじめに」と目次をチェックし、この科目の概要を把握しておく。	DVD鑑賞の感想記載
2	健康について(健康の定義、健康観、病気の概念、介護福祉職の役割)グループワーク	自分の健康感を考えてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
3	人間の欲求について(人間の基本的欲求と社会的欲求)	マズローの欲求階層説を予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
4	自己実現と尊厳(自己概念とライフステージ、自己概念と自立への意欲の関係、自己実現と尊厳、高齢者のための国連原則)	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
5	脳のしくみ1(脳の構造について①)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
6	脳のしくみ(脳の構造について②)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
7	認知のしくみ(感覚と知覚と統合)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
8	学習のしくみ(条件づけと観察学習)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
9	記憶のしくみ(記憶の段階と分類)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
10	思考のしくみ(思考とは何か、思考の異常)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
11	感情・情動のしくみ(感情とは、感情の異常)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
12	意欲・動機づけのしくみ(動機づけの過程、意欲(欲動・意志)のかかわり、動機づけ、意欲の障害)　プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
13	適応のしくみ1(適応とは、適応機制)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
14	適応のしくみ2(適応の異常、高齢者の人格と適応)プレゼンテーション	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認をする。
15	これまで学んできた「こころの心理学的諸理論」を用いて各自が今後の生活に役立てていきたいことを発表する。	課題に取り組む。	ここまで学んできた「こころの心理学的諸理論」の理解が不十分な個所を整理する

講義名	9050004901 こころとからだのしくみⅠ　留学生クラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	柏葉　英美		

学習目標(到達目標)

①脳の持つしくみの概要(大脳皮質の機能局在、大脳辺縁系、大脳基底核の機能)を理解し、この知識を使い、事例のメカニズムを他者に説明出来る。
②認知、学習・記憶、思考、感情、意欲・動議づけ、適応、パーソナリティーなどこころの心理学的側面の基礎的しくみについて理解し、事例を用いて他者に説明出来る。

授業概要(教育目的)

対象者の思いを知ることは、介護実践における根拠の1つとして重要な位置づけとなる。そのため、心理学的側面からのこころのしくみの諸理論を理解し、それを基盤として対象者のこころの状態を推論、的確に判断し、適切な生活支援を実施できるようになる。また、多職種との協働のため、介護の専門職として、対象者のこころの状態を説明できる力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験70%　課題学習への取り組み　20%　　グループワークの参加状況　10%
随時行う小テストと小レポートは、評価の対象に入れない。

課題に対するフィードバック

課題のフードバックは、次の授業の最初に行います。

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　11 「こころとからだのしくみ」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。

学生へのメッセージ

留学生の皆さんにとって、専門用語を理解することは、大きな課題だと思います。テキストに出てくる専門用語については丁寧に説明しながら授業を進めていきます。専門用語の理解を深めるためには、予習として事前に、わからない言葉をチェックして授業に参加することが前提となります。授業では、学生の皆さんの理解が進むよう、グループワークやバズセッション、小テスト等を用い、知識の定着をはかっていきます。わからいことは、そのままにせず、その都度、解決をして、「わかった」を多くしていきましょう。
また、レスポンスカード(小レポート)を毎回書いてもらいます。その目的は、授業のふりかえりと整理、文章を書くトレーニングです。記入する時間を設けます。前向きに取り組んでください。

実務との関連

看護師および専任看護教員、大学教員(社会福祉学部)として、臨床と教育に携わった経験を活かし、理論に基づいた実践について、具体的に講義をします。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	こころとからだのしくみを学ぶ意義 こころとからだのしくみⅠ～Ⅳの構成について 授業での進め方 授業の留意点 ワールドカフェによる科目オリエンテーションの共有	テキストの「はじめに」と目次をチェックし、この科目の概要を把握しておく。	こころとからだのしくみの位置づけ、意義について確認する
2	健康について(健康の定義、健康観、病気の概念、介護福祉職の役割)グループワーク	テキスト「健康」とは何かを読み、わからない言葉をチェックする	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
3	人間の欲求について(人間の基本的欲求と社会的欲求)	テキスト「人間の欲求について」読み、わからない言葉をチェックする	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
4	自己実現と尊厳(自己概念とライフステージ、自己概念と自立への意欲の関係、自己実現と尊厳、高齢者のための国連原則)	テキスト「自己実現と尊厳」読み、わからない言葉をチェックする	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
5	脳のしくみ1(脳の構造について①)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
6	脳のしくみ(脳の構造について②)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
7	認知のしくみ(感覚と知覚と統合)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
8	学習のしくみ(条件づけと観察学習)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
9	記憶のしくみ(記憶の段階と分類)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
10	思考のしくみ(思考とは何か、思考の異常)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
11	感情・情動のしくみ(感情とは、感情の異常)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
12	意欲・動機づけのしくみ(動機づけの過程、意欲(欲動・意志)のかかわり、動機づけ、意欲の障害)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
13	適応のしくみ1(適応とは、適応機制)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
14	適応のしくみ2(適応の異常、高齢者の人格と適応)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしてくる。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
15	こころとからだのしくみⅠのまとめ グループワーク	今まで配布された資料の内容を確認する	授業のまとめ、グループワークの内容を整理する。

講義名	9050005000 こころとからだのしくみⅡ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小山田　啓子		

学習目標(到達目標)

①人体各部の名称や脳・神経、感覚器、呼吸器、循環器、消化器、泌尿器などの基本的な解剖や生理を理解し、他者に説明出来る。
②骨・関節などからだの動きのメカニズムを理解し、他者に説明出来る。
③生命の維持、恒常性のしくみを理解し、例を用いて他者に説明出来る。

授業概要(教育目的)

この科目は、領域「介護」をバックアップする位置づけとなっている。対象者の生活を支援するという観点から、介護実践に必要な根拠となる人体の構造や機能について理解し、対象者を総合的に捉えるための知識を身につける。また、その知識を基盤にして、多職種と連携し支援を行うために、適宜対象者の状況に応じた説明ができるようになる。これらは、今後の学習や実習、及び資格取得後により深く学んでいくための基盤となる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験80%　提出物や授業での発言など学習への取り組み　20%
まとめ問題は、提出物として評価する。毎時間冒頭の小テストは、評価の対象にしない。

課題に対するフィードバック

各授業時間の終了時、その時間の学習内容のまとめ問題を配布するので、2日後の10時までに提出する。
間違えた個所のみチェックするので、各自調べ直すこと。また、次の授業時間冒頭に、まとめ問題に準じた小テストを行う。正解答は、WebClassに掲載しておくので、各自が自己採点すること。

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　11 「こころとからだのしくみ」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。

学生へのメッセージ

私たちは、意外と自分の身体のことを知らない。人間は、様々な環境の中で生きていくために、進化してきた不思議で緻密なからだのしくみを持っている。自身の体感、体験を具体的な知識と結びつけていき、学びの楽しさを知ろう。
この授業は、専門的用語が多く、理解を継続して行くためには復習が必須である。その点も含め、学生自身の積極的能動的な学習への姿勢を期待する。各授業の教員資料を、WebClassに資料添付するので、復習に活用してほしい。

実務との関連

看護師として、大学付属病院、養護学校、特別養護老人ホームに勤務。医療職としての実務経験をもとに、実際の対象者のからだのしくみを様々な観点から具体的に話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	からだのしくみの学習の概要と流れなどの科目オリエンテーション からだの成り立ち 身体各部の名称 (プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
2	細胞・遺伝のしくみ 脳・神経の解剖・生理1 (プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
3	脳・神経の解剖・生理2 (プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
4	感覚器の解剖(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
5	呼吸器の解剖・生理(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
6	循環器の解剖・生理(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
7	消化器の解剖・生理(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
8	泌尿器の解剖(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
9	生殖器・内分泌の解剖・生理1(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
10	生殖器・内分泌の解剖・生理2(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
11	骨の解剖・生理、骨と関節の動きのメカニズム(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
12	筋肉の解剖・生理、筋肉と関節のかかわり(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
13	血液・体液・リンパのしくみ(プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
14	生命の維持と恒常性のしくみ(グループワーク)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。
15	バイタルサインとは何か 介護福祉職に必要な薬の知識 (プレゼンテーション)	テキストと資料を用いて、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、まとめ問題に取り組み、論点を整理する。また、専門用語の確認を行う。

講義名	9050005001 こころとからだのしくみⅡ　留学生クラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	柏葉　英美		

学習目標(到達目標)

①人体各部の名称や脳・神経、感覚器、呼吸器、循環器、消化器、泌尿器などの基本的な解剖や生理を理解し、他者に説明出来る。
②骨・関節などからだの動きのメカニズムを理解し、他者に説明出来る。
③生命の維持、恒常性のしくみを理解し、例を用いて他者に説明出来る。

授業概要(教育目的)

この科目は、領域「介護」をバックアップする位置づけとなっている。対象者の生活を支援するという観点から、介護実践に必要な根拠となる人体の構造や機能について理解し、対象者を総合的に捉えるための知識を身につける。また、その知識を基盤にして、多職種と連携し支援を行うために、適宜対象者の状況に応じた説明ができるようになる。これらは、今後の学習や実習、及び資格取得後により深く学んでいくための基盤となる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験80%　課題学習への取り組み10%　グループワークへの参加状況10%
授業内の小テストは評価対象としない。

課題に対するフィードバック

課題のフードバックは、次の授業の最初に行います。

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　11 「こころとからだのしくみ」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。

学生へのメッセージ

生活支援の場面において、身体のしくみを知り、その人にあった方法でケアすることはとても大切なことです。介護福祉職として最低限知っておくべき知識となります。人体の解剖部分においては、ひたすら覚える(暗記する)項目となります。こつこつと積み重ねる必要があります。グループワーク、バズセッションを取り入れながら、知識の定着をはかっていきます。

実務との関連

看護師および専任看護教員、大学教員(社会福祉学部)として、臨床と教育に携わった経験を活かし、理論に基づいた実践について具体的に講義をします。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	からだのしくみの学習の概要と流れなどの科目オリエンテーション からだの成り立ち 身体各部の名称	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
2	細胞・遺伝のしくみ 脳・神経の解剖・生理1	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
3	脳・神経の解剖・生理2	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
4	感覚器の解剖	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
5	呼吸器の解剖・生理	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
6	循環器の解剖・生理	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
7	消化器の解剖・生理	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
8	泌尿器の解剖	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
9	生殖器・内分泌の解剖・生理1	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
10	生殖器・内分泌の解剖・生理2	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
11	骨の解剖・生理、骨と関節の動きのメカニズム	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
12	筋肉の解剖・生理、筋肉と関節のかかわり	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
13	血液・体液・リンパのしくみ	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
14	生命の維持と恒常性のしくみ	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。
15	バイタルサインとは何か 介護福祉職に必要な薬の知識	テキストと資料を用いて、予習してくる。	配布された課題への取り組み。 配布資料を参考に、専門用語の確認をする。

講義名	9050005100 こころとからだのしくみⅢ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小山田　啓子		

学習目標(到達目標)

1. 対象者の食事・移動・身じたく等の生活・自立支援に必要な介護実践に関連するこころとからだのしくみを他者に説明できる。
2. こころとからだの機能低下・障害が、食事・移動・身じたくに及ぼす影響について事例を用いて他者に説明できる。
3. 食事・移動・身じたくを支援する際の観察ポイントを他者に説明することができる。

授業概要(教育目的)

こころとからだのしくみⅠ、Ⅱで学んだ知識を基礎として、食事・移動・身じたく関連の生活・自立支援の根拠となる基礎的知識を習得する。さらに、加齢や疾患などにより、これらの生活障害がどのようなメカニズムで生じるのか理解し、多様な対象理解のために、観察力、思考力、想像力を深め、適切な支援を判断できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的な支援だけではなく、心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験80%　提出物や授業での発言など学習への取り組み　20%
まとめ問題は、提出物として評価する。随時行う小テストは評価に含まない。

課題に対するフィードバック

各授業終了後、まとめ問題を配布するので、2日後の10時までに提出する事。間違いだけをチェックし返却するので、各自調べ直すこと。
それに準じた小テストは、WebClassに正解を掲載するので、自己採点する事。
質問は、随時受け付ける。

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　11 「こころとからだのしくみ」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるための必須科目である。

学生へのメッセージ

この科目は、こころとからだのしくみⅠ、Ⅱで修得した基礎的知識を基盤に、それぞれの生活場面に応じた具体的な実践力の向上を目指しており、応用編といえる。習得するには、Ⅰ・Ⅱの確実な理解が必要であり、曖昧なときは必ず復習すること。さらに、一人ひとりの生活困難を観察、思考し、創造的に支援を判断する力を深めていく科目なので、授業毎に内容を整理し、要点を確認することは勿論であるが、この知識を活かすには、個々の対象者があわせと感じる生活とは、人生とは何なのか、読書や映画、経験などで感性を深め考え続ける習慣を持ってほしい。

各授業の教員資料を、WebClassに資料添付するので復習に活用してほしい。

実務との関連

看護師として、大学付属病院、養護学校、特別養護老人ホームに勤務。医療職としての実務経験をもとに、実際の対象者の機能低下が及ぼす影響や観察点について、具体的に話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	食事に関連したこころとからだのしくみ1(消化器系のしくみ) (プレゼンテーション)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
2	食事に関連したこころとからだのしくみ2(嚥下のしくみ) (プレゼンテーション)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
3	心身の機能低下が食事に及ぼす影響 (プレゼンテーション)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
4	食事に関連した変化の気づきと対応 (グループワーク)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
5	移動に関連したこころとからだのしくみ1(基本的な姿勢) (プレゼンテーション)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
6	移動に関連したこころとからだのしくみ2(ボディメカニズム、移動に関連したこころのしくみ) (プレゼンテーション)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
7	移動に関連したこころとからだのしくみ3(姿勢変化のメカニズム) (プレゼンテーションと実体験)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
8	心身の機能低下が移動に及ぼす影響 (プレゼンテーションとグループワーク)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
9	移動に関連する変化の気づきと対応 (グループワーク)	事前に示した論点をテキストと資料で、まとめてくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
10	身じたくに関連したこころとからだのしくみ1(グループで各組織の構造と機能、心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響を調べ、それを他グループに教えるための資料つくり)	該当箇所を読んでくる。	テキストと配布資料で、論点を整理し、自分の言葉で説明できるようにする。
11	身じたくに関連したこころとからだのしくみ1(グループで各組織の構造と機能、心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響を調べ、それを他グループに教えるための資料つくり)	資料調べ	資料確認
12	身じたくに関連したこころとからだのしくみ1(グループで各組織の構造と機能、心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響を調べ、それを他グループに教えるための資料つくり)	資料調べ	資料確認
13	身じたくに関連したこころとからだのしくみ1(グループで各組織の構造と機能、心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響を調べ、それを他グループに教えるための資料つくり) ※資料が完成したら、教員が確認	資料調べ	資料確認
14	身じたくに関連したこころとからだのしくみ2 (各グループで作成した資料を用いて、プレゼンテーションを行う)	発表シュミレーション	他グループが発表した内容の論点を整理して。自分の言葉で説明できるようにする。
15	身じたくに関連したこころとからだのしくみ2 (各グループで作成した資料を用いて、プレゼンテーションを行う) 身じたくに関連したこころとからだのしくみ3 (教員から、該当内容の補足、まとめ)	発表シュミレーション	他グループが発表した内容の論点を整理して。自分の言葉で説明できるようにする。

講義名	9050005200 こころとからだのしくみⅣ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小山田　啓子			

学習目標(到達目標)

1. 入浴・清潔保持、排泄、睡眠、人生の最終段階のケア等利用者の生活・自立支援に必要な介護実践に関連するこころとからだのしくみの基礎的知識、機能低下・障害が及ぼす影響を他者に説明できる。
2. 入浴・清潔保持、排泄、睡眠、人生の最終段階のケアなど利用者の生活・自立支援に必要な介護実践において、医療職をはじめとする多職種との連携を理解する。
3. 事例演習を通して、状況に応じた観察点を具体的に述べることができる

授業概要(教育目的)

こころとからだのしくみⅠ、Ⅱで学んだ知識を基盤として、利用者の入浴・清潔保持、排泄、睡眠などの生活を支える介護実践との関係を学ぶ。さらに、機能低下・障害が、利用者の生活・自立支援に及ぼす影響を理解し、状況に応じた支援を説明することができる。また、人生の最終段階のこころとからだのしくみを理解し、利用者の尊厳ある最終段階のケアを学び、継続して考えていく基盤とすることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的な支援だけではなく、心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験80%、学習への取り組み20%
随時行われる小テストは、評価に含まない。

課題に対するフィードバック

各授業時間終了時にまとめ問題をを配布するので、2日後に提出すること。間違いのみをチェックし返却するので、調べ直すこと。また、次回の授業時間冒頭に小テストを行うが、その正解答はWebClassに掲載してあるので、自己採点する事。質問は、随時受け付ける。

参考文献

医学一般／メヂカルフレンド社、得意になる解剖生理／照林社
人体の構造と機能／メディカ出版、体の地図帳／講談社

講義時使用テキスト

最新介護福祉士11　こころとからだのしくみ／中央法規出版

資格との関連

介護福祉士国家試験を受験するための必須科目である。

学生へのメッセージ

自分の「こころとからだ」と関連させながら学ぶこと。他領域科目と関連して学びを深めること。

利用者の生活・自立支援に必要な介護実践の根拠をしっかり理解し、介護に関して、堂々と多職種にも自分の意見を表出できる専門職に育つことを期待している。各授業の教員資料を、WebClassに資料添付するので、復習に活用してほしい。

実務との関連

看護職として、大学付属病院、養護学校、特別養護老人ホームに勤務。患者、利用者、障害を持つ生徒たちと向き合ってきた実務経験を活かし、多くの具体的事例を用いて講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ1(入浴と作用、入浴・清潔保持に関連したこころのしくみ、皮膚のしくみ) (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
2	入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ2(発汗のしくみ、皮膚の汚れのしくみ、陰部の清潔) (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
3	心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 (プレゼンテーションとグループワーク)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
4	入浴・清潔保持に関連した変化の気づきと対応 (グループワーク)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
5	排泄に関連したこころとからだのしくみ1(排泄に関連したこころのしくみ、尿排泄のしくみ) (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
6	排泄に関連したこころとからだのしくみ2(便排泄のしくみ、人工膀胱、人工肛門のしくみ) (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
7	身の機能低下が排泄に及ぼす影響 (プレゼンテーションとグループワーク)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
8	排泄に関連する変化の気づきと対応 (グループワーク)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
9	睡眠に関連したこころとからだのしくみ(睡眠の必要性、睡眠のしくみ、睡眠の質を高める) (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
10	機能低下が睡眠に及ぼす影響 (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
11	睡眠に関連した変化の気づきと対応 (グループワーク)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
12	人生の最終段階のケアに関連する「死」のとらえ方 (DVD視聴とグループワーク)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
13	「死」に対するこころの理解 (プレゼンテーションとグループワーク)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
14	終末期から危篤状態、死後のからだの理解 (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストや資料で予習してくる。	テキストと配布資料,WebClassを用いて、論点を整理する。(自分の言葉で説明してみる)また、専門用語を確認する。
15	終末期における医療職との連携　(ゲストテーチャー)	テキストの該当箇所を読み、質問を考えてくる	課題のレポートを作成する

講義名	9050005300 医療的ケアⅠ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小山田　啓子			

学習目標(到達目標)

1. 介護職が実施する医療的ケアの法的根拠・目的・範囲を述べることができる。
2. 医療の倫理を遵守し、チーム医療を担う一員であることを自覚して実践にあたる重要性を理解できる。
3. 呼吸器系のしくみとはたらき、異常の兆候について説明できる。
4. 喀痰吸引を必要とする利用者の特徴を述べることができる。
5. 喀痰吸引を受ける利用者・家族の気持ちを考えることができる。
6. 喀痰吸引による危険、感染について説明できる。

授業概要(教育目的)

医療的ケアの実施に関する制度の概要及び医療的ケアと関連づけた「個人の尊厳と自立」、「医療的ケアの倫理上の留意点」、「医療的ケアを実施するための感染予防」、「安全管理体制」等についての基礎的知識を理解する。
喀痰吸引について根拠に基づく主義が実施できるよう、基礎的知識、実施手順方法を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的な支援だけではなく、心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験の結果　100%で評価する。
尚、定期試験結果が80点未満(100点を満点として)は、医療的ケアⅢの演習に進めない。

課題に対するフィードバック

小テストなどは、WebClassに解答を掲載するので、自己採点すること。
質問は、随時受け付ける。

参考文献

随時紹介します。

講義時使用テキスト

最新介護福祉士養成講座15　医療的ケア／中央法規出版株式会社

資格との関連

介護福祉士資格取得の国家試験を受けるための必須科目であり、喀痰吸引、経管栄養の医療的ケアを、一定の条件下で行うための基礎研修を修了することになる。

学生へのメッセージ

医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養)は原則医行為の範囲に含まれており、人体に危害を及ぼすおそれのある行為である。そのため、医療的ケアの安全な提供のためには、技術の根拠となる知識と技術の確実な習得が必須である。介護福祉士を目指す皆さんは、このことをしっかり心に留め、この科目に取り組んでほしい。

実務との関連

看護職として、大学附属病院、養護施設、特別養護老人ホームで、喀痰吸引、経管栄養の経験を重ねてきた。また、岩手県が行う喀痰吸引等の研修の講師を長年務めてきている。これらの経験を基に、根拠に基づいた医療的ケアと対象者への理解を確実に具体的に伝えていく。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	医療的ケア実施の基礎　なぜ医療的ケアを学ぶのか(プレゼンテーション)	テキストの「はじめに」と目次を把握してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
2	人間と社会(プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
3	保健医療制度とチーム医療(プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
4	安全な療養生活　喀痰吸引や経管栄養の安全な実施①(プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
5	安全な療養生活　喀痰吸引や経管栄養の安全な実施②(プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
6	インシデントとアクシデント(グループワーク)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	それぞれの事例をフォーマットに記載してくる。
7	感染予防と清潔保持① 感染予防、介護職員の感染予防、療養環境の清潔、消毒法、滅菌と消毒(プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
8	健康状態の把握① 身体・精神の健康、健康状態を知る項目(バイタルサイン)急変について(プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
9	喀痰吸引(基礎知識・実施手順)① 高齢者および障碍児・者の喀痰吸引 　呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
10	喀痰吸引(基礎知識・実施手順)② 高齢者および障碍児・者の喀痰吸引 　清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 (プレゼンテーション)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
11	喀痰吸引(基礎知識・実施手順)③ 高齢者および障碍児・者の喀痰吸引 　喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告および記録点(グループワーク)	事前に示した論点を、テキストを読み、予習してくる。	テキストと配布資料を参考に、論点を整理し、自分の言葉で説明してみる。
12	喀痰吸引(基礎知識・実施手順)④ 　喀痰吸引の実施手順と留意点(演習)	配布資料を読み、内容を理解してくる。	一つひとつの行為の根拠を確認する。配布資料を使って、手順をシミュレーションする。
13	喀痰吸引(基礎知識・実施手順)⑤ 　喀痰吸引の実施手順と留意点(演習)	配布資料を読み、内容を理解してくる。	一つひとつの行為の根拠を確認する。配布資料を使って、手順をシミュレーションする。
14	喀痰吸引(基礎知識・実施手順)⑥ 　喀痰吸引の実施手順と留意点(演習)	配布資料を読み、内容を理解してくる。	一つひとつの行為の根拠を確認する。配布資料を使って、手順をシミュレーションする。
15	喀痰吸引(基礎知識・実施手順)⑦ 　喀痰吸引の実施手順と留意点(演習)	配布資料を読み、内容を理解してくる。	一つひとつの行為の根拠を確認する。配布資料を使って、手順をシミュレーションする。

講義名	9050005400 医療的ケアⅡ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小山田　啓子		

学習目標(到達目標)

1. 清潔保持や感染のメカニズムと予防について説明できる。
2. ヒヤリハット・アクシデント事例から、安全管理体制について述べることができる。
3. 消化器のしくみとはたらきを理解し、経管栄養のメカニズムを説明できる。
4. 経管栄誉による危険と対応を説明できる。

授業概要(教育目的)

経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう、基礎的知識、実施手順方法を理解する。
経管栄養は医行為であることを理解し、医療提供上の危機管理(救急蘇生法など)をふまえて安心、安全に提供できるよう基礎的知識、実施手順とその留意点について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的な支援だけではなく、心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

筆記試験正解率8割以上がこの科目の修得基準です。この試験に合格できなければ、医療的ケアⅢの演習に進むことはできません。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　15 「医療的ケア」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。
医療的Ⅰ、Ⅲと合わせて、この科目を修得すれば医療的ケアの基本研修を修了したと見なされる。

学生へのメッセージ

様々な背景により、介護福祉職が医行為の一部を行うことが条件付きで法律で認められました。医行為ですから、法律上認められている範囲や条件を熟知して、自分の行為の正当性をしっかり理解しておくことが第1歩です。その上で、手技の根拠となる知識、技術を確実に習得しましょう。また、どうしても、医療的技術の習得に意識が行きがちですが、あくまで介護職が行うのは、対象者の生活を支援する観点であることも、忘れないでください。
出席率が100％必須の授業です。

実務との関連

看護職として、大学付属病院の集中治療部、養護学校、特別養護老人ホームに勤務。さらに、岩手県の喀痰吸引等研修の講師を務めてきた経験を生かして、対象者の経管栄養の実施や本人と家族の気持ちについて具体的に話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	救急蘇生法(講義)1	テキストを読み、手順とその根拠を確認しておく。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
2	救急蘇生法(実技)	テキストと配布資料を使って、救急蘇生の手順を覚えてくる。	テキストと配布資料を使って、救急蘇生のシミュレーションを行う。
3	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 1. 消化器系のしくみとはたらき (プレゼンテーション)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
4	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 2. 消化・吸収とよくある消化器症状 3. 経管栄養とは (プレゼンテーション)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
5	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 4. 注入する栄養剤に関する知識 5. 経管栄養実施上の留意点 (プレゼンテーション)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
6	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 6. 子どもの経管栄養について 7. 経管栄養に関係する感染と予防 (プレゼンテーション)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
7	高齢者および障碍児・者の経管栄養概論 8. 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応 9. 説明と同意、 (グループワーク)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
8	高齢者および障碍児・者の経管栄養概論 10. 経管栄養より生じる危険 11. 注入後の安全確認 (プレゼンテーション)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
9	高齢者および障碍児・者の経管栄養概論 12. 急変・事故発生時の対応と事前対策 (グループワーク)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
10	高齢者および障碍児・者の経管栄養実施手順解説 1. 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔保持 (プレゼンテーション)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
11	高齢者および障碍児・者の経管栄養実施手順解説 2. 経管栄養お技術と留意点① (プレゼンテーション)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
12	高齢者および障碍児・者の経管栄養実施手順解説 2. 経管栄養の技術と留意点② (実技とグループワーク)	事前に指示した論点を、テキスト、資料などで確認してくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。
13	高齢者および障碍児・者の経管栄養実施手順解説 2. 経管栄養の技術と留意点③ (実技)	資料を読み、手順とその根拠を確認しておく。	作成した資料を読み、手順を整理する。
14	高齢者および障碍児・者の経管栄養実施手順解説 2. 経管栄養の技術と留意点④ (実技)	資料を読み、手順とその根拠を確認しておく。	手順のシュミレーションを行ってくる。
15	高齢者および障碍児・者の経管栄養実施手順解説 3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録	テキストと配布資料を読み、疑問点を挙げてくる。	テキストと配布資料を読み、論点を整理する。

講義名	9050005500	医療的ケアⅢ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小山田　啓子			

学習目標(到達目標)

1. 口腔内の喀痰吸引を手順通りに実施することができる。
2. 鼻腔内の喀痰吸引を手順通りに実施することができる。
3. 気管カニューレ内部の喀痰吸引を手順通りに実施することができる。
4. 胃ろうによる経管栄養を手順通りに実施することができる。
5. 経鼻経管栄養を手順通りに実施することができる。

授業概要(教育目的)

介護福祉士が、医療的ケアを安心・安全に実施できるために、シュミレーターを使用した口腔内の喀痰吸引、鼻腔内の喀痰吸引、気管カニューレ内部の喀痰吸引、胃ろうによる経管栄養、経鼻経管栄養の厚労省通知で定められた回数の演習と評価を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的な支援だけではなく、心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

評価方法

口腔内の喀痰吸引、鼻腔内の喀痰吸引、気管カニューレ内の喀痰吸引、胃ろうによる経管栄養、経鼻経管栄養をそれぞれ5回以上行い、演習指導者(担当教員)が下記の3段階で評価する。5回目以降に評価表項目すべて「ア」になった場合を合格とする。演習の修了が認められなかった学生は、再度演習の全課程を受講しなければならない。(厚労省通知による評価基準)
ア:評価項目について手順通りに実施できている。
イ:評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。
ウ:評価項目を抜かした。(手順通りに実施できなかった。)

課題に対するフィードバック

演習の評価は、その都度口頭で伝える

参考文献

随時、紹介する。

講義時使用テキスト

最新　介護福祉士養成講座　15 「医療的ケア」中央法規

資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。喀痰吸引などの医療的ケアの行為を行うための認定には、登録施設における実地研修が必要だが、大学において、この科目を修得すれば医療的ケアの基本研修は修了したと見なされる。

学生へのメッセージ

すべて、演習とその評価を行う授業である。直接、命に関わることなので、演習評価は厳しいですが、一緒に頑張りましょう。

実務との関連

看護職として、大学付属病院の集中治療部、養護学校、特別養護老人ホームに勤務。さらに岩手県の喀痰吸引等の研修講師としての経験を活かし、演習の的確な指導と評価を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	喀痰吸引演習1　口腔内吸引①	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
2	喀痰吸引演習1　口腔内吸引②	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
3	喀痰吸引演習1　口腔内吸引③	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
4	喀痰吸引演習1　口腔内吸引④	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
5	喀痰吸引演習1　鼻腔内吸引①	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
6	喀痰吸引演習1　鼻腔内吸引②	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
7	喀痰吸引演習1　気管内カニューレ内の吸引①	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
8	喀痰吸引演習1　気管内カニューレ内の吸引②	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
9	喀痰吸引演習1　気管内カニューレ内の吸引③	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
10	経管栄養演習1　胃ろうによる経管栄養①	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
11	経管栄養演習1　胃ろうによる経管栄養②	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
12	経管栄養演習1　胃ろうによる経管栄養③(半固形化も含む)	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
13	経管栄養演習1　経鼻経管栄養①	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
14	経管栄養演習1　経鼻経管栄養②	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。
15	経管栄養演習1　経鼻経管栄養③	配布資料を読み、手順を覚えてくる。	配布資料で手順の確認を行い、シミュレーションを行う。

講義名	9050006402 研究演習Ⅰ　小川ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

本科目では、誰もが安心して暮らせるまちづくり(共生社会)を視点に人と人が築く「社会」に関心を持ち、多様な社会問題を理解し、問題解決に向け考え、自ら実践していく力を養うこと、また実践を通して将来自分が福祉専門職として社会貢献できることは何かを見出していくことを目的とする。

授業概要(教育目的)

資料や文献を活用し、地域で生活する高齢者、障害者の地域課題を見出す。更に車椅子で地域にでかけたり、介護サービス事業所など福祉現場の見学を通し、改めて地域課題の提起、解決策の提案、実践につなげるまでのプロセスを体験的に学習する。なお、本科目は研究演習Ⅲと連動して取り組むものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

研究演習に取り組む姿勢、レポート課題を総合的に評価する

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

自身が専門職者として地域とどのように関わっていくことができるか能動的に考える時間としてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション テーマの設定	シラバスの内容を確認する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	「介護」について考える	自分の研究テーマを設定し、関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	「介護予防」の概要を理解する	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	「体操の効果」について学習する	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	「ヒーロー」体操の考案	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
6	「ヒーロー」体操の考案	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
7	レクリエーションの考案	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
8	レクリエーションの考案	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
9	体操教室の開催	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
10	体操教室の開催	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
11	介護予防教室への参加	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
12	介護予防教室への参加	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
13	体操教室と介護予防教室への参加振り返り	前回の内容を再確認する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	デイサービス見学	関連する書籍をリサーチする	演習の内容を整理する。
15	デイサービス見学の振り返り まとめ	前回の内容を再確認する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	9050006403 研究演習Ⅰ　高橋ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)			

学習目標(到達目標)

①知り得た得た情報をノートなどに整理することができる。
②必要な情報を適切な方法で検索することができる。
③目的に応じた文献を見つけ、その内容が理解できる。
④研究した内容を取りまとめ、発表することができる。

授業概要(教育目的)

レクリエーションの多様性を理解するために、いくつかの特徴的なレクリエーションを体験しながら、参加者としてレクリエーションの意義を考察していく。
また、最終的な到達として、地域で交流促進を図るレクリエーション活動のあり方を理解する。
日本レクリエーション協会などの、地域で活動を行なっている団体の取り組みにも目を向けていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを評価するとともに、内容について助言をする。

参考文献

授業中に随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。資料を随時配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に必要な科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

レクリエーションを学びながら、介護に必要なコミュニケーションスキルを確認していく。また、基本的なレポート作成の技術も磨いてほしい。

実務との関連

介護福祉の専門職としての経験を踏まえ、介護現場でのレクリエーションの有効性に触れていきたい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レクリエーションを学ぶことの意義と目的 (介護とレクリエーションの関係)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
2	レクリエーション体験の準備	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
3	レクリエーション体験1	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
4	レクリエーション体験2	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
5	レクリエーション体験3	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
6	レクリエーション体験4	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
7	レクリエーションの振り返り	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
8	レクリエーション体験5	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
9	レクリエーション体験6	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
10	レクリエーション体験7	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
11	レクリエーションの振り返り	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
12	研究レポートの作成オリエンテーション	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
13	研究レポート作成	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
14	研究レポート作成	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
15	研究レポート発表	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること

講義名	9050006404	研究演習Ⅰ　三浦ゼミ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析研究することにより、業務改善するとともに自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポート、発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

授業中に課題について議論、フィードバックするとともに、提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

テーマに沿って授業中に随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接必要な科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より家族や友人などとの人間関係におけるコミュニケーションに関心をもち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマと進め方についての議論	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめてテーマ設定の判断材料とすること
2	研究テーマの設定	テーマについての自分の考えをまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめること
3	リサーチの進め方についての議論	リサーチをどう進めるかについて自分の計画をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、リサーチの方向性をつかんでおくこと
4	リサーチ①	リサーチについて段階を決め、レポート全体の構成をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートの構成案を作成すること
5	リサーチ②	テーマに沿い、リサーチの導入部分についてどうするか自分なりの考えをまとめておくこと	リサーチ及びレポートの導入部についてまとめること
6	リサーチ③	テーマに沿い、主要部についてリサーチを進め考えをまとめておくこと	リサーチで収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
7	リサーチ④	テーマに沿い、主要部についてリサーチを進め考えをまとめておくこと	リサーチで収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
8	リサーチ⑤	テーマに沿い、主要部についてリサーチを進め考えをまとめておくこと	リサーチで収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
9	リサーチ⑥	リサーチを終え、テーマについて総括し自分なりにまとめておくこと	リサーチで収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
10	レポートについての検証	各レポートについてテーマとの整合性や構成案通りにまとめたかを検証すること	作成したレポートの内容を検証し、修正があれば修正しておくこと
11	グループディスカッション	ゼミでレポートを検証するために、最終的に修正が必要な部分を洗い出しておく	各レポートについて意見交換を行った他者の意見を参考に、修正すべき点は修正する
12	レポート最終まとめ	ゼミでのレポート検証をもとに、レポートの修正部分を最終的に確認しておく	ゼミでのレポート検証をもとに、提出するレポートを最終的に確認し修正する
13	発表用まとめ	作成したレポートを発表用にまとめておく	まとめた発表用レポートの内容を確認しておく
14	発表準備	作成したレポートを発表用にまとめ準備しておく	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
15	研究レポート発表	作成したレポートをそれぞれ発表できるようにしておく	レポートの発表に対する評価を受け、反省点と改善点をまとめる

印刷日：2023年09月26日

講義名	9050006405 研究演習Ⅰ　鳴海ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)			

学習目標(到達目標)

①研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。
②研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
③研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
④研究した内容を取りまとめ、発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析研究することにより、業務改善するとともに自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業中に随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。
資料を随時配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に必要な科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

資料をよく読み、課題を抽出し、解決策を検討するという基本的な筋道を習得してほしい。
マスコミ報道などにも関心を持ち、介護保険制度を取り巻く課題等について、日々、注目しながら生活してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究計画について	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
2	文献講読(介護保険制度について1)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
3	文献講読(介護保険制度について2)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
4	文献購読(介護保険制度について3)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
5	文献購読(介護保険制度について4)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
6	文献購読(介護サービス利用支援の仕組み1)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
7	文献購読(介護サービス利用支援の仕組み2)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
8	文献購読(介護事業所・施設について1)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
9	文献購読(介護事業所・施設について2)	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
10	研究レポート作成1(テーマの検討)	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートのテーマを設定して提出すること
11	研究レポート作成2(レポートの構成検討)	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートの構成及び要旨を作成して提出すること
12	研究レポート作成3	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを作成し、完成した部分について提出すること
13	研究レポート作成4	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを作成し、完成した部分について提出すること
14	研究レポート作成5	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを作成し、完成した部分について提出すること
15	研究レポート発表(合同)	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを提出すること

講義名	9050006406	研究演習Ⅰ　岩舘ゼミ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

「認知症に関する予防と支援」についてテーマを各自設定し、テーマに沿った文献調査、考察、発表ができる。
①研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。
②研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
③研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
④研究した内容を取りまとめ、発表することができる。

授業概要(教育目的)

「認知症」は、65歳以上の5人に1人が発症すると言われている。
「認知症」は、記憶や思考などの認知機能低下が低下し日常生活に支障をきたす病気である。その変化に対して早めに気づき、早めの対応が重要とされています。専門職としての介護福祉職には、認知症を正しく知り、確かな知識と技術で支援の質の向上を図ること、さらには認知症に関する予防と支援の視点が求められる。
「認知症」に関する予防と支援についての地域の取り組みや実情を知ることによって課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業中に随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。
資料を随時配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に必要な科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

資料をよく読み、課題を抽出し、解決策を検討するという基本的な筋道を習得してほしい。
マスコミ報道などにも関心を持ち、介護保険制度を取り巻く課題等について、日々、注目しながら生活してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション （研究の進め方について）	シラバス内容を確認して出席すること	授業内容と進行スケジュールの確認
2	認知症の人の体験 （行動症状・心理症状について）	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
3	認知症サポーター養成講座について	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
4	認知症の人を抱える家族のつどいについて	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
5	認知症カフェ「はちのへ」について	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
6	はちのへ認知症フォーラム （本人のつどい聴講）	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
7	文献検索（認知症予防と支援について）	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
8	八戸市介護予防センター訪問 （八戸市の認知症に関する予防と支援の実態インタビュー）	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
9	認知症に関する予防と支援について （八戸市の実態についてディスカッション）	配布資料を熟読して出席すること	配布資料を読み返すとともに、課題レポートを作成すること
10	研究レポート作成1（テーマの検討）	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートのテーマを設定して提出すること
11	研究レポート作成2（レポートの構成検討）	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートの構成及び要旨を作成して提出すること
12	研究レポート作成3	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを作成し、完成した部分について提出すること
13	研究レポート作成4	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを作成し、完成した部分について提出すること
14	研究レポート作成5	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを作成し、完成した部分について提出すること
15	研究レポート発表（合同）	配布資料を熟読して出席すること	研究レポートを提出すること

講義名	9050006407	研究演習Ⅰ　鈴木ゼミ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

「SDGs」に関するテーマを各自設定し、テーマに沿った調査、考察、発表ができる。
①研究を行うために得た情報を整理し、研究計画をたてることができる。
②研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
③研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解し説明できる。
④研究した内容を取りまとめ、発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析研究することにより、業務改善するとともに自らの能力を向上させることが求められる。
この研究演習では、SDGsについて考えながら、エコキャップ運動に取り組み福祉、環境、資源について考え社会貢献、奉仕の心を養うことを目的とし、様々な課題・発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

レポート、発表により評価

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する

参考文献

授業中に随時紹介する

講義時使用テキスト

資料を随時配布

資格との関連

介護福祉士資格取得には必要な科目ではないが、自らの課題を発見し、設定し、資料の収集や分析、考察する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

研究演習を通し、SDGsについて考え発展途上国の貧困、健康、社会貢献活動について一緒に考え、自らの疑問を明らかにし、課題を解決していく面白さを体験していきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション	シラバスに目を通してくること	授業内容の確認
2	研究テーマと計画を立てる	テーマに沿った情報について調べてくること	配布資料を読み返す
3	「SDGs」について考える	テーマに沿った情報を収集してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
4	エコキャップ活動の取り組みについて考える	エコキャップ活動について情報を収集してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
5	エコキャップ活動①	前回の授業内容を確認してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
6	エコキャップ活動②	活動内容を確認してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
7	エコキャップ活動③	活動内容を確認してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
8	エコキャップ活動④	活動内容を確認してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
9	エコキャップ活動⑤	活動内容を確認してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
10	エコキャップ活動⑥	活動内容を確認してくること	次回の授業につなげるため書き残しておく
11	研究レポート作成①	これまでの活動内容を通して自身の考えをまとめてくること	研究レポート作成し、完成した部分について提出する。
12	研究レポート作成②(文献検索)	レポート作成に必要な文献検索	研究レポート作成し、完成した部分について提出する。
13	研究レポート作成③(文献検索)	レポート作成に必要な文献検索	研究レポート作成し、完成した部分について提出する。
14	研究レポート作成④(文献検索)	レポート作成に必要な文献検索	研究レポート作成し、完成した部分について提出する。
15	研究レポート発表	レポート作成に必要な文献検索	研究レポート提出

講義名	9050006408	研究演習Ⅰ　小山田ゼミ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

「脳の機能と日常生活」に関するテーマを各自設定し、テーマに沿った文献調査、考察、発表ができる。
①研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。
②研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
③研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
④研究した内容を取りまとめ、考察を加えて発表することができる。

授業概要(教育目的)

私たちは、「こころ」を使って日々生きている。現代の心理学では、こころとは「さまざまな状況や環境に対して、感情を伴いながら認識し、記憶されている経験と照らして複雑な行動を生み出す一連の脳の機能である」としている。そうであるならば、私たちは、脳の機能を知ることにより、ある程度こころをコーディネートしたり、育て、自己の可能性を広げることができると考える。今回は、脳の機能のうち、特に認知、感情、記憶、発達、再生に焦点を当て、その機能と関係を学び、日常における活用を目指す方法を一緒に探求していきたい。これは、介護福祉職として、自己覚知、他者理解にも繋がり、こころへの効果的なアプローチを考え実践できるように学びを深めていく。
こうした日常的な事柄においても、課題の発見、解決の仕方など体系的に学ぶことにより、受講者の思考力、研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

レポート、発表により評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業中に随時紹介する。

講義時使用テキスト

資料を随時配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得には必要な科目ではないが、自ら課題を発見、設定し、資料の収集や分析、考察する能力を高めることは、専門職として必要不可欠な能力である。

学生へのメッセージ

新しいことを覚えることや発見は、脳が最も喜ぶことであり、日頃、疑問に思っていることや気になっていることを文章化、意識化し、焦点を絞り研究していく、その知的過程を楽しんでいきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション(研究の進め方など)	シラバスに目を通してくる	授業内容と進行スケジュールの確認
2	脳の基本的構造について教員のプレゼンテーション	こころとからだのしくみで学んだ脳の基本的構造を復習してくる。	授業内容の論点を整理する。
3	脳と心の発達や日常生活への関連について、自分がどのようなことに興味・関心があるか考える。	前回の授業に生じた疑問を考えておく	興味・関心について考える。
4	脳と認知のメカニズムについて ・教員プレゼンテーション ・DVD視聴	こころとからだのしくみで学んだ認知のしくみを復習してくる。	授業内容の論点を整理する。
5	脳と認知に関連した文献検索とディスカッション	前回の授業における感想・疑問をまとめる。	認知に関して、学習したこと、考察をレポートにまとめる。
6	脳の記憶のメカニズムについて ・教員のプレゼンテーション ・DVD視聴	こころとからだのしくみで学んだ記憶のしくみを復習してくる。	授業内容の論点を整理する。
7	脳の記憶に関連した文献検索とディスカッション	前回の授業における感想・疑問をまとめる。	記憶に関して、学習したこと、考察をレポートにまとめる。
8	脳と感情のメカニズムについて ・教員のプレゼンテーション ・DVD視聴	こころとからだのしくみで学んだ感情のしくみを復習してくる。	授業内容の論点を整理する
9	脳の感情に関連した文献検索とディスカッション	前回の授業における感想・疑問をまとめる。	感情に関して、学習したこと、考察をレポートにまとめる。
10	脳の発達と再生について ・教員のプレゼンテーション ・DVD視聴	配布した資料を読んでくる。	授業内容の論点を整理する
11	脳の発達と再生に関連した文献検索とディスカッション	前回の授業における感想・疑問をまとめる。	脳の発達と再生に関して、学習したこと、考察をレポートにまとめる。
12	脳と心の発達について① ・教員のプレゼンテーション ・関連した文献検索、書籍検索	配布した資料を読んでくる。	脳と心の発達について、学習したことの論点を整理する。
13	脳と心の発達について② ・関連した文献検索、書籍検索	脳と心と発達に関して、調べたいことを考えてくる。	脳と心の発達について、学習したこと、考察をレポートにまとめる。
14	この科目で学習した中で、印象が深かった内容について、さらに知識を深めながら、選択した理由、調べた内容、考察、今後の展望を研究レポートにまとめる。(各回で作成したレポートも参考)	この科目で学習した中から、印象が深かった内容を選択してくる。	研究レポートを作成
15	研究レポート作成 ゼミ内発表	研究レポート作成	研究レポートを提出する。

講義名	9050006503 研究演習Ⅱ　三浦ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より家族や友人などとの人間関係におけるコミュニケーションに関心をもち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマと進め方についての議論	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめてテーマ設定の判断材料とすること
2	自己表現についての効果的な表現法を考え、状況に応じた選択・活用法を議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	音声表現についての特徴を踏まえ、現代のコミュニケーションにおける活用法をさぐる。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	現代社会におけるメディアの特徴と活用法について学習する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	メディアの中でも電子媒体についての特徴を探り出し、その活用法について議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	電子媒体を実際に活用してみての感想を述べ合い、効果的な活用法について検証を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	活字媒体を実際に活用してみての感想を述べ合い、効果的な活用法について検証を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	メディア全般における不適切表現とその問題点について議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	メディアやコミュニケーションについて個々に研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	テーマ用の情報・資料収集を行いリサーチを始める。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
11	テーマに応じてリサーチやフィールドワーク①を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
12	テーマを更に深めるフィールドワーク②を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
13	リサーチとフィールドワークで得た内容をまとめ、発表用レポートとして仕上げる。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
14	各自が選定したテーマに基づき、レポートを発表する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	自分の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる
15	レポートの発表内容について相互に検証を行い、課題を話し合う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	他者の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる

講義名	9050006504 研究演習Ⅱ　小川ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ			

学習目標(到達目標)

本科目では、誰もが安心して暮らせるまちづくり(共生社会)を視点に人と人が築く「社会」に関心を持ち、多様な社会問題を理解し、問題解決に向け考え、自ら実践していく力を養うこと、また実践を通して将来自分が福祉専門職として社会貢献できることは何かを見出していくことを目的とする。

授業概要(教育目的)

資料や文献を活用し、地域で生活する高齢者、障害者の地域課題を見出す。更に車椅子で地域にでかけたり、介護サービス事業所など福祉現場の見学を通し、改めて地域課題の提起、解決策の提案、実践につなげるまでのプロセスを体験的に学習する。なお、本科目は研究演習Ⅲと連動して取り組むものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域における介護の実践場面を見学させていただくことで、地域や介護を深く理解し、あらゆる場面で汎用できる身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付けることができる。

評価方法

研究演習に取り組む姿勢、レポート課題を総合的に評価する

課題に対するフィードバック

課題に関しては、発表の場を設け、相互理解を深める時間を設ける。提出課題(レポートなど)は、個別に評価し対応する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

自身が専門職者として地域とどのように関わっていくことができるか能動的に考え、実践する時間としてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	①オリエンテーション、高齢者・障害者の現状と課題、研究演習のテーマ策定(個人)	障害者、高齢者の生活をこれまで学習してきたテキストを参照し復習する	個人の研究テーマの策定
2	②テーマの確認、テーマに関連する文献調査(個別)	テーマに応じた文献、資料を収集しする	テーマに沿い調査内容をまとめる
3	③中間報告とグループで実施するテーマの選定	中間報告の内容確認、発表練習	他のメンバーの発表内容を確認
4	④問題提起と調査方法の確認	地域課題の理解を深めるための方法を探る	調査方法の確認
5	⑤調査の準備	準備物、資料の作成	関連資料を確認
6	⑥障害者福祉の現状と課題	障害者福祉について、事前に関連テキストを熟読する	配布資料、関連テキストを改めて読み返す
7	⑦車椅子に乗車して市街地まででかけよう1（バス乗車）	バス乗車のための物品の準備、バスの時刻表の確認をする	実施内容と課題をまとめる
8	⑧車椅子に乗車して市街地まででかけよう2（飲食店、デパート）	訪問する商店への事前連絡、準備物の確認	実施内容と課題をまとめる
9	⑨振り返り（障害者の生活と課題のまとめ）	実施内容と課題をまとめる	グループで話し合ったことをもとに自身でも再度考察する
10	⑩デイサービスの見学1	デイサービスの機能と役割を学習しておく	見学した内容をまとめる
11	⑪デイサービスの見学2(リハビリ特化型)	デイサービスの機能と役割を学習しておく	見学した内容をまとめる
12	⑫振り返り(高齢者の生活課題のまとめ)	高齢者の生活と見学してきた内容を確認する	グループワークで気づいたことを表改めてまとめてみる
13	⑬障害者・高齢者のためのマップ制作	これまでの学習を振り返る	マップ制作
14	⑭介護予防事業への参加	介護予防事業について学習する	見学したことをまとめる
15	⑮全体のまとめ、研究演習Ⅲに向けての課題	障害者、高齢者が地域で生活するために必要なことや今後の課題をまとめる	研究演習Ⅲで実施することがらを検討する

講義名	9050006505 研究演習Ⅱ　鳴海ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より家族や友人などとの人間関係におけるコミュニケーションに関心をもち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマと進め方についての議論	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめてテーマ設定の判断材料とすること
2	自己表現についての効果的な表現法を考え、状況に応じた選択・活用法を議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	音声表現についての特徴を踏まえ、現代のコミュニケーションにおける活用法をさぐる。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	現代社会におけるメディアの特徴と活用法について学習する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	メディアの中でも電子媒体についての特徴を探り出し、その活用法について議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	電子媒体を実際に活用してみての感想を述べ合い、効果的な活用法について検証を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	活字媒体を実際に活用してみての感想を述べ合い、効果的な活用法について検証を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	メディア全般における不適切表現とその問題点について議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	メディアやコミュニケーションについて個々に研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	テーマ用の情報・資料収集を行いリサーチを始める。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
11	テーマに応じてリサーチやフィールドワーク①を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
12	テーマを更に深めるフィールドワーク②を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
13	リサーチとフィールドワークで得た内容をまとめ、発表用レポートとして仕上げる。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
14	各自が選定したテーマに基づき、レポートを発表する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	自分の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる
15	レポートの発表内容について相互に検証を行い、課題を話し合う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	他者の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる

講義名	9050006506 研究演習Ⅱ　高橋ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	高橋　英成		

学習目標(到達目標)

①フィールドワークや、実践的な取り組みを通して、研究課題を見つけることができる。
②研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
③研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも関連する。

学生へのメッセージ

基本的には、レクリエーション支援の観点から研究テーマを模索していくため、「レクリエーション」の科目の履修をすることが望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマ選定のための社会課題の検討	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめてテーマ設定の判断材料とすること
2	研究テーマに関する先行研究の整理①	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	研究テーマに関する先行研究の整理①	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	研究テーマおよび研究方法の設定	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	実践(生活とレクリエーション)① ※研究演習Ⅲで行う調査のためのプレリサーチ	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	実践(生活とレクリエーション)② ※研究演習Ⅲで行う調査のためのプレリサーチ	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	実践(生活とレクリエーション)③ ※研究演習Ⅲで行う調査のためのプレリサーチ	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	実践(生活とレクリエーション)④ ※研究演習Ⅲで行う調査のためのプレリサーチ	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	情報の整理① ※実践で得られた知見を言語化し、情報として整理する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	情報の整理② ※整理された情報をもとに、研究テーマを再検討する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
11	情報の整理③ ※研究テーマに基づき、レポートの構成を検討する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
12	レポート作成① (リサーチとフィールドワークで得た内容をまとめ、発表用レポートとして仕上げる。)	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
13	レポート作成② (リサーチとフィールドワークで得た内容をまとめ、発表用レポートとして仕上げる。)	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
14	レポート発表 各自が選定したテーマに基づき、レポートを発表する。また、レポートの発表内容について相互に検証を行い、課題を確認する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	自分の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる
15	パワーポイント作成 レポート発表の反省を踏まえ、成果物としてパワーポイントにまとめる。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	成果物として、パワーポイントにまとめる。

講義名	9050006507 研究演習Ⅱ　小山田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小山田　啓子		

学習目標(到達目標)

脳と思考に関して、疑問に思った事や関心事を研究テーマとして絞り込み、研究方法を考えデータ収集の準備ができる。

①脳と思考の関係に関する様々な知見を理解する。
②質的研修、量的研究、混合研究を理解できる。
③自分の言葉で考え、意見や感想を表現することができる。
④研究テーマを設定し、文献検索、講読してその内容を要約できる。
⑤研究の仮説が実証できる研究の方法を考え、データを収集する準備ができる。

授業概要(教育目的)

研究演習Ⅰで、こころが「様々な状況や環境に対して、感情を伴いながら認識し、記憶されている経験と照らし合わせて複雑な行動を生み出す一連の脳の機能である」ということから、人間の判断、行動の基盤となる認知、感情、記憶を主に学んできた。これらの機能が、前頭前野で統合され、私たち人間の個々の判断、行動の基盤となる思考を生み出している言われる。この授業において、思考と感情、記憶、認知が、私たちの思考にどう関与しているのか、関係性はどうかを考えていきたい。これらを知り、考えていくことは、対人援助職である介護福祉士にとって、自己覚知、他者理解に繋がり、こころへの効果的なアプローチを考え実践する力をなりうる。また、課題発見、データ分析、考察、解決の仕方など体系的に学ぶことにより、受講者の思考力の育成を図りたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より「何故？」「どうして？」と疑問を持ち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。シンキング、アクションが人生を開いていく。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 自分が関心を持っているテーマについて、いくつか文章化して、仲間内に伝える。 ゼミ内で文脈や領域などディスカッションする。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業内で話し合った内容をまとめておく。 脳と思考について、図書館で本を借りておく。
2	脳と思考について、いくつかの知見を知る① ・配布資料といくつかの文献を検索し、その内容を要約する。 更に仲間内で持参した本の概説を紹介し、文献と合わせてディスカッションする。 (文献検索レビューに記載する)	図書館で借りた本を読んでくる。	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと。 さらに、関連した本を、図書館で借りておく。
3	脳と思考について、いくつかの知見を知る② ・配布資料といくつかの文献を検索し、その内容を要約する。 更に仲間内で持参した本の概説を紹介し、文献と合わせてディスカッションする。(文献検索レビューに記載する)	図書館で借りた本を読んでくる。	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと。 質的研究のステップに関する本を、図書館で借りておく
4	研究方法を理解する ①質的研究のステップに関する学習をする。 ・配布資料と照らし合わせながら、質的研究のステップを確認し、まとめてみる。	借りてきた質的研究の本を読んでくる。	授業での議論や収集した情報を基にまとめておく
5	研究方法を理解する　①質的研究のステップに関する学習をする。 ・質的研究についてまとめたものを、発表する。 ・教員が補足する。	質的研究についてまとめたものの発表準備をする。	量的研究のステップに関する本を、図書館で借りておく
6	研究方法を理解する ②量的研究のステップに関する学習をする。 ・配布資料と照らし合わせながら、量的研究のステップを確認し、まとめてみる。	借りてきた量的研究の本を読んでくる。	授業での議論や収集した情報を基にまとめておく
7	研究方法を理解する　②量的研究のステップに関する学習をする。 ・量的研究についてまとめたものを、発表する。 ・教員が補足する。	量的研究についてまとめたものの発表準備をする。	研究方法について、今までの授業を通して学んだことを振り返る。
8	研究を始める。 ①研究テーマを決める。 自分が関心を持っていることの概念を洗い出し、明確化にし、再度テーマを設定する。 (語彙の意味や文脈などを調べたり、仲間内でディスカッションする。)	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	関連する論文、書籍に目を通す。
9	研究を始める。 ①研究テーマを決める。 自分の研究に関連する文献、本を探し出して、要約する。文献検索レビューに記載する。	関連する論文、書籍に目を通しておく。	関連する論文、書籍に目を通す。
10	研究を始める。 ①研究テーマを決める。 読んだ資料の内容を整理し他者に伝えあい、理解を深め、テーマを熟考する。さらに、文献検索、書籍を講読を進める。 文献検索レビューに記載する	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	関連する論文、書籍に目を通す。
11	研究を始める。 ①研究テーマを決める。 もう一度研究テーマを立て、他者に伝えあい、ディスカッションした後、必要ならば修正し、最終的なテーマを設定する。目的も確認する。	テーマについて自分なりに意見をまとめておくこと	研究テーマ、目的を再確認しておく。
12	研究を進める。 ①研究方法を選択する。 ・自分の研究課題(リサーチクエッション)に対応した方法を考える。 以前に学習した研究方法を確認しながら、検討していく。	研究方法の種類を確認しておく	授業での議論や収集した情報を参考に.研究方法をさらに熟考する。
13	研究を進める。 ①研究方法を選択する。 ・研究期間、研究参加者、データ収集方法、分析方法、倫理的配慮について考える。	授業での議論や収集した情報を参考に、研究方法をさらに熟考する。	授業での議論や収集した情報を参考に、研究方法をさらに熟考する。
14	研究を進める ②研究計画書を作成する。 ・必要な情報収集や仲間内で議論しながら、進める。	研究計画書に必要な情報を収集しておく。	研究計画書を仕上げる。
15	研究を進める ③研究計画を発表する。 仲間内で、ディスカッションする。	研究計画の発表準備をしておく	授業での議論を踏まえ、研究計画を検証する。

講義名	9050006508 研究演習Ⅱ　岩舘ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より家族や友人などとの人間関係におけるコミュニケーションに関心をもち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマと進め方についての議論	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめてテーマ設定の判断材料とすること
2	自己表現についての効果的な表現法を考え、状況に応じた選択・活用法を議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	音声表現についての特徴を踏まえ、現代のコミュニケーションにおける活用法をさぐる。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	現代社会におけるメディアの特徴と活用法について学習する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	メディアの中でも電子媒体についての特徴を探り出し、その活用法について議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	電子媒体を実際に活用してみての感想を述べ合い、効果的な活用法について検証を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	活字媒体を実際に活用してみての感想を述べ合い、効果的な活用法について検証を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	メディア全般における不適切表現とその問題点について議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	メディアやコミュニケーションについて個々に研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	テーマ用の情報・資料収集を行いリサーチを始める。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
11	テーマに応じてリサーチやフィールドワーク①を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
12	テーマを更に深めるフィールドワーク②を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
13	リサーチとフィールドワークで得た内容をまとめ、発表用レポートとして仕上げる。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
14	各自が選定したテーマに基づき、レポートを発表する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	自分の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる
15	レポートの発表内容について相互に検証を行い、課題を話し合う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	他者の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる

講義名	9050006509 研究演習Ⅱ　鈴木ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　絵美			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

自身が専門職者として、福祉についてどのように関わっていくことができるか能動的に考える時間としてほしい

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 研究テーマと進め方についての議論	研究演習で出てきた課題を再度確認しておくこと。	授業での議論や収集した情報をまとめてテーマ設定の判断材料とすること
2	計画を立てる 研究テーマの確認、テーマに関連する文献調査	今後のエコキャップ運動の展開について考えてくる。	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	中間報告とグループで実施するテーマの選定	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	エコキャップ活動① （ポスター作成、呼びかけ等） グループテーマ実施の準備①	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	エコキャップ活動② グループテーマ実施の準備②	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	エコキャップ活動③ グループテーマ実施①	実施し自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	エコキャップ活動④ グループテーマ実施②	実施し自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	振り返り	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	次回の授業に向けて準備を行うこと
9	エコキャップ活動⑤ キャップアート制作準備①	実践にむけて円滑に進行する方法について検討してくること	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	エコキャップ活動⑦ キャップアート制作準備②	実践にむけて円滑に進行する方法について検討してくること	授業での議論や収集した情報をまとめ、レポートを作成すること
11	キャップアート(地域での活動)実践①	実践して感じたことをまとめておくこと	実践した内容をまとめておくこと
12	キャップアート(地域での活動)実践②	実践して感じたことをまとめておくこと	実践した内容をまとめておくこと
13	振り返り	実践してのまとめ、次回の課題について考えてくること	グループで話し合ったことをもとに自身で再度考察すること
14	レポート作成	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	自分の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる
15	レポートの発表内容について相互に検証を行い、課題を話し合う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	他者の発表内容を検証し、反省点と改善点をまとめる

講義名	9050006603 研究演習Ⅲ　三浦ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より家族や友人などとの人間関係におけるコミュニケーションに関心をもち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅱで研究した表現方法や各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、自己表現について現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
2	研究演習Ⅱで研究した音声表現についての各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、音声表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	研究演習Ⅱで研究した各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、メディア全般の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	研究演習Ⅱで研究した映像表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の問題表現について、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	各メディアにおける差別用語と不適切表現についての問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
11	メディア全般における表現の課題を、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
12	メディア全般における表現やコミュニケーションの課題を洗い出し、ゼミの研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
13	個々の研究テーマに即したリサーチ・フィールドワーク等を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
14	個々の研究テーマに即したリサーチやフィールドワーク等から得たデータを、発表用にまとめる。	テーマについて発表用に内容をまとめておくこと	発表内容を精査し発表用にまとめておくこと
15	ゼミの研究テーマとしてプレゼンテーション用にデータ化した内容を検証する。	自分や他のゼミ生の発表内容について意見をまとめておくこと	自分や他のゼミ生の発表内容についてのポイントをまとめ、必要に応じて修正する

講義名	9050006604 研究演習Ⅲ　小川ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員(単位認定者)	小川　あゆみ		

学習目標(到達目標)

①研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。
②研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
③研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
④研究いた内容を取りまとめ、発表することができる。

授業概要(教育目的)

①1年次の研究演習で設定した研究テーマを、多角的な視点で検討を加え、新たなテーマに繋げるなどして、さらに発展させ高齢者の体操・レクリエーションについて考え、個々に応じた支援の在り方について考えを深める
②介護現場での実習体験を通し、自らの課題に向き合い、実践、考察する力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域における介護の実践場面を見学させていただくことで、地域や介護を深く理解し、あらゆる場面で汎用できる身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付けることができる。

評価方法

・活動への貢献度(自主性、積極性、出席状況等)
・提出物や発表の内容
以上のことを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

研修した内容は、発表の機会を設け、学生同士の理解を深める。レポート課題などは個別に添削し、振り返りの時間を設ける。

参考文献

適宜配布する

講義時使用テキスト

教科書は使用しない
資料を随時配布する

資格との関連

卒業必須科目である。また自ら課題を設定し資料の収集や分析研究をする能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにもつながる。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究の進め方について	シラバスに目を通しておくこと	配布資料を読み返すとともに、研究テーマについて検討を行うこと。
2	研究テーマと計画を立てる	研究テーマについて情報を収集・整理しまとめておく	次回につなげるために記録しておくこと
3	計画に沿った進め方について具体的に決める	研究テーマについて情報を収集・整理しまとめておく	次回につなげるために記録しておくこと
4	グループワーク	テーマに沿った情報を収集・整理し、まとめておくこと	次回につなげるために記録しておくこと
5	グループワーク	テーマに沿った情報を収集・整理し、まとめておくこと	次回につなげるために記録しておくこと
6	グループワーク	テーマに沿った情報を収集・整理し、まとめておくこと	次回につなげるために記録しておくこと
7	文献購読	テーマに沿った情報を収集・整理し、まとめておくこと	配布資料、収集した情報を整理する
8	高齢者体操に向けた準備	テーマに沿った情報を収集・整理し、まとめておくこと	配布資料を読み返す
9	高齢者体操に向けた準備	テーマに沿った情報を収集・整理し、まとめておくこと	配布資料を読み返す
10	研究レポート作成について	これまでの活動内容についてまとめておくこと	配布資料を読み返すとともに、研究テーマについて検討を行うこと
11	高齢者体操に向けた研究	配布資料を読んでくること	次回につなげるために書き残しておくこと
12	高齢者体操に向けた研究	配布資料を読んでくること	次回につなげるために書き残しておくこと
13	高齢者体操に向けた研究	配布資料を読んでくること	次回につなげるために書き残しておくこと
14	高齢者体操に向けた研究	配布資料を読んでくること	次回につなげるために書き残しておくこと
15	研究レポート発表	発表内容について確認する	研究レポートを提出すること

講義名	9050006605 研究演習Ⅲ　鳴海ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鳴海　孝彦			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より家族や友人などとの人間関係におけるコミュニケーションに関心をもち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅱで研究した表現方法や各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、自己表現について現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
2	研究演習Ⅱで研究した音声表現についての各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、音声表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	研究演習Ⅱで研究した各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、メディア全般の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	研究演習Ⅱで研究した映像表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の問題表現について、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	各メディアにおける差別用語と不適切表現についての問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
11	メディア全般における表現の課題を、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
12	メディア全般における表現やコミュニケーションの課題を洗い出し、ゼミの研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
13	個々の研究テーマに即したリサーチ・フィールドワーク等を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
14	個々の研究テーマに即したリサーチやフィールドワーク等から得たデータを、発表用にまとめる。	テーマについて発表用に内容をまとめておくこと	発表内容を精査し発表用にまとめておくこと
15	ゼミの研究テーマとしてプレゼンテーション用にデータ化した内容を検証する。	自分や他のゼミ生の発表内容について意見をまとめておくこと	自分や他のゼミ生の発表内容についてのポイントをまとめ、必要に応じて修正する

講義名	9050006606 研究演習Ⅲ　高橋ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	高橋　英成			

学習目標(到達目標)

①研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
②研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも関連する。

学生へのメッセージ

日本レクリエーション協会が提唱する「レクリエーションは心を元気にする」という視点から、生活の中にあるレクリエーションの要素に着目してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅱで研究した表現方法や各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、自己表現について現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
2	研究演習Ⅱで研究した音声表現についての各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、音声表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	研究演習Ⅱで研究した各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、メディア全般の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	研究演習Ⅱで研究した映像表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の問題表現について、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	各メディアにおける差別用語と不適切表現についての問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
11	メディア全般における表現の課題を、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
12	メディア全般における表現やコミュニケーションの課題を洗い出し、ゼミの研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
13	個々の研究テーマに即したリサーチ・フィールドワーク等を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
14	個々の研究テーマに即したリサーチやフィールドワーク等から得たデータを、発表用にまとめる。	テーマについて発表用に内容をまとめておくこと	発表内容を精査し発表用にまとめておくこと
15	ゼミの研究テーマとしてプレゼンテーション用にデータ化した内容を検証する。	自分や他のゼミ生の発表内容について意見をまとめておくこと	自分や他のゼミ生の発表内容についてのポイントをまとめ、必要に応じて修正する

講義名	9050006607 研究演習Ⅲ　小山田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	小山田　啓子			

学習目標(到達目標)

脳と思考に関連する研究テーマをデータ収集し、結果、分析し考察できる。

①脳と思考の関係に関する様々な知見を理解し、実践に活用できる。
②研究方法をを理解し、今後の研究活動に役立てることができる。
③データを収集する際など、他者とのコミュニケーションにおける自己覚知、他者理解を深める。
④得られたデータを分析し、論理的に考察することができる。
④自分の言葉で論理的に話し、他者にわかりやすく伝えることができる。

授業概要(教育目的)

研究を進めていく上で、倫理的配慮をしながら、研究演習Ⅱで立てた具体的な研究計画をを基に、実施、調査する。その後、研究目的に沿ったデータの分析・考察の仕方を学びながら実践する。また、その成果を発表し、今回行った研究が、自己、他者へのこころ(思考、判断、行動)への理解や効果的なアプローチを考えるための知見として、仲間と共有しあう。
また、課題発見、データ分析、考察、解決の仕方など体系的に学ぶことにより、受講者の思考力、研究力のの育成を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より、「何故？」「どうして」と思ったことを大事にして、探求する力をつけてほしい。人生を開いていく一助になってほしいと願っている。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究を進める ①研究演習Ⅱで立てた研究計画書を見直す。 （研究期間、研究参加者、データ収集方法、データ分析法など） 倫理的配慮を確認する。 研究データ収集方法を確認する	研究計画書を確認しておく。	授業での議論やアドバイス、収集した情報を参照に、研究計画書を修正する。
2	研究を進める。 ②研究データを収集する準備を行う。	研究データの収集方法を考えてくる。	研究データ収集の準備に必要なことをまとめておく。
3	研究を進める。 ②研究データを収集する準備を行う。	研究データ収集に必要なものを確認しておく。	研究データ収集の手順をまとめておく。
4	研究を進める ③研究データを収集する。	研究データ収集の手順を確認しておく。	データを整理しておく。
5	研究を進める ③研究データを収集する。	研究データ収集の手順を確認しておく。	データを整理しておく。
6	研究を進める ④研究データの分析方法の確認。 収集した研究データを分析し、結果をまとめる。	研究データの分析方法に関する配布した資料を確認しておく。	授業での議論やアドバイスを参照し、結果をまとめる。
7	研究を進める。 ④収集した研究データを分析し、結果をまとめる。	授業での議論やアドバイスを参照し、結果をまとめる。	考察に関する配布資料を読んでくる。
8	研究を進める。 ⑤結果に対して、考察を書く。 考察がどんなものかを確認する。 結果が、テーマに関して、どういう意味や　価値を持つか考え、文章化してみる。	考察に関する配布資料を理解しておく。	考察に関連する先行研究や文献、書籍を講読する。
9	研究を進める。 ⑤結果に対して、考察を書く。 文章化した考察を、先行研究や文献、書籍と照らし合わせ吟味する。	考察に関連する先行研究や文献、書籍を講読する。	文章化した考察を、先行研究や文献、書籍と照らし合わせ吟味する。
10	研究を進める。 ⑤結果に対して、考察を書く。 吟味した内容を考察として、文章化する。	文章化した考察を、先行研究や文献、書籍と照らし合わせ吟味する。	文章化した考察を、授業での議論やアドバイスを参照し、まとめる。
11	研究を進める。 ⑥研究論文を作成する。	研究論文の書き方を確認してくる。	授業での議論やアドバイスを参照に、論文を作成する。
12	研究を進める。 ⑥研究論文を作成する。	授業での議論やアドバイスを参照に、論文を作成する。	研究論文を完成させる。
13	研究発表の準備 ①プレゼンテーション資料をつくる。	どんなプレゼンテーション資料にするか考えておく。	授業での議論やアドバイスを参考に、プレゼンテーション資料を見直す。
14	研究発表の準備 ①プレゼンテーション資料を作成する。 ②発表原稿をつくる。	プレゼンテーション資料を作成する。	発表原稿を仕上げておく。
15	研究論文を発表する。 質疑応答 感想を話し合う。 総括	発表のシュミレーションをしておく。	研究論文、発表を振り返り、まとめておく。

講義名	9050006608 研究演習Ⅲ　岩舘ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	岩舘　亜沙美			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

日頃より家族や友人などとの人間関係におけるコミュニケーションに関心をもち、状況分析や解決方法について考えるようにしてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅱで研究した表現方法や各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、自己表現について現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
2	研究演習Ⅱで研究した音声表現についての各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、音声表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	研究演習Ⅱで研究した各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、メディア全般の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	研究演習Ⅱで研究した映像表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の問題表現について、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	各メディアにおける差別用語と不適切表現についての問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
11	メディア全般における表現の課題を、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
12	メディア全般における表現やコミュニケーションの課題を洗い出し、ゼミの研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
13	個々の研究テーマに即したリサーチ・フィールドワーク等を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
14	個々の研究テーマに即したリサーチやフィールドワーク等から得たデータを、発表用にまとめる。	テーマについて発表用に内容をまとめておくこと	発表内容を精査し発表用にまとめておくこと
15	ゼミの研究テーマとしてプレゼンテーション用にデータ化した内容を検証する。	自分や他のゼミ生の発表内容について意見をまとめておくこと	自分や他のゼミ生の発表内容についてのポイントをまとめ、必要に応じて修正する

講義名	9050006609 研究演習Ⅲ　鈴木ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　絵美			

学習目標(到達目標)

①研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることができる。
②研究を行うための基本的な文献を読み、その内容が理解できる。
③研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
④研究を行った内容を取りまとめ、自分の言葉で発表することができる。

授業概要(教育目的)

専門職としての介護福祉職には、介護に関する確かな技術や知識とともに、業務において直面する課題を分析・研究することにより業務改善するとともに、自らの能力を向上させることが求められる。
介護福祉分野における課題とその発見・解決方法について体系的に学ぶことにより、受講者の研究力の育成を図ることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、レポートにより評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートを添削して返却する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

介護福祉士資格取得に直接関係する科目ではないが、自ら課題を設定し資料の収集や分析・研究する能力を高めることは、福祉援助職として必要不可欠な能力であり、他の科目の学びを深めることにも貢献する。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅱでの課題について今後の活動内容を検討する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
2	研究演習Ⅱで研究した音声表現についての各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、音声表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
3	研究演習Ⅱで研究した各種メディアの特徴・効果的な活用方法を用い、メディア全般の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
4	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
5	研究演習Ⅱで研究した電子媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
6	研究演習Ⅱで研究した映像表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
7	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の特徴を活かした表現法を考察する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
8	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の表現についての現代社会の問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
9	研究演習Ⅱで研究した活字媒体の問題表現について、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
10	各メディアにおける差別用語と不適切表現についての問題点を検証する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
11	メディア全般における表現の課題を、実際の資料をもとに議論する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
12	メディア全般における表現やコミュニケーションの課題を洗い出し、ゼミの研究テーマを設定する。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
13	個々の研究テーマに即したリサーチ・フィールドワーク等を行う。	テーマについての自分なりの意見をまとめておくこと	授業での議論や収集した情報をまとめておくこと
14	個々の研究テーマに即したリサーチやフィールドワーク等から得たデータを、発表用にまとめる。	テーマについて発表用に内容をまとめておくこと	発表内容を精査し発表用にまとめておくこと
15	ゼミの研究テーマとしてプレゼンテーション用にデータ化した内容を検証する。	自分や他のゼミ生の発表内容について意見をまとめておくこと	自分や他のゼミ生の発表内容についてのポイントをまとめ、必要に応じて修正する